

令和7年度 岡山市灘崎納骨堂耐震改修ほか工事

[illegible]

一級建築士事務所
(株) A D O 建築設計事務所

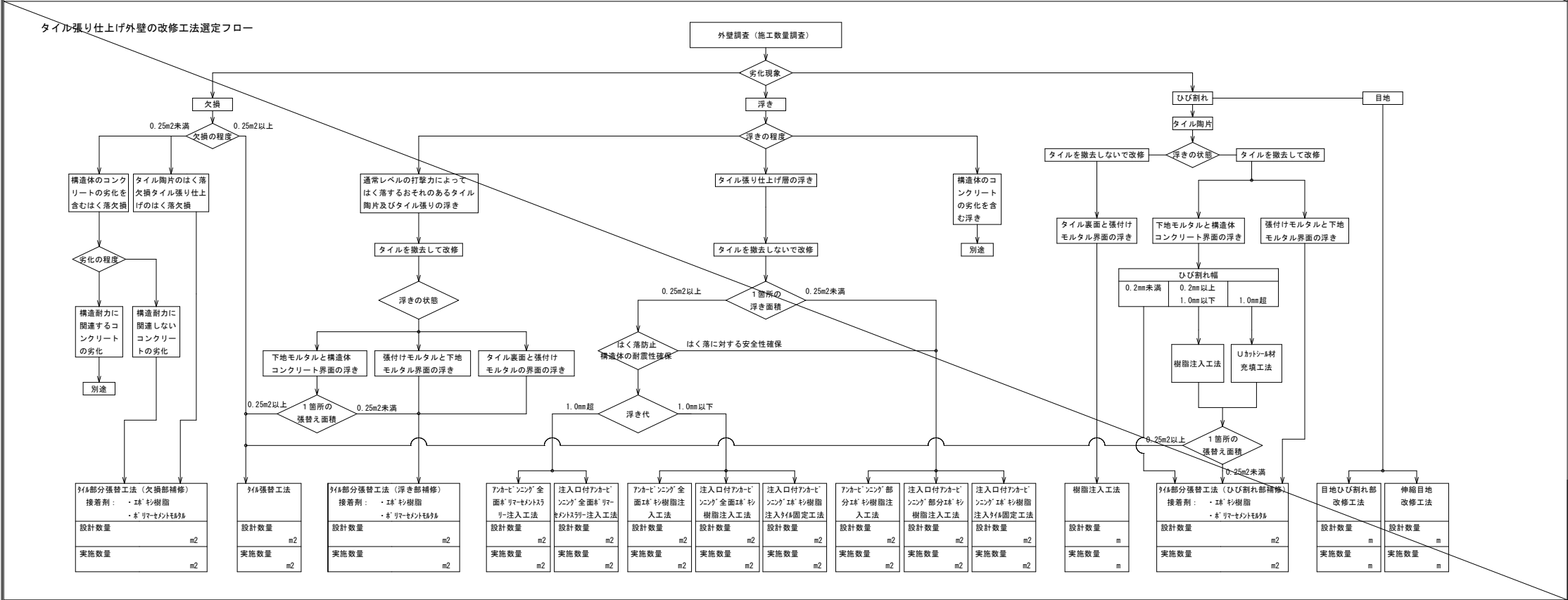
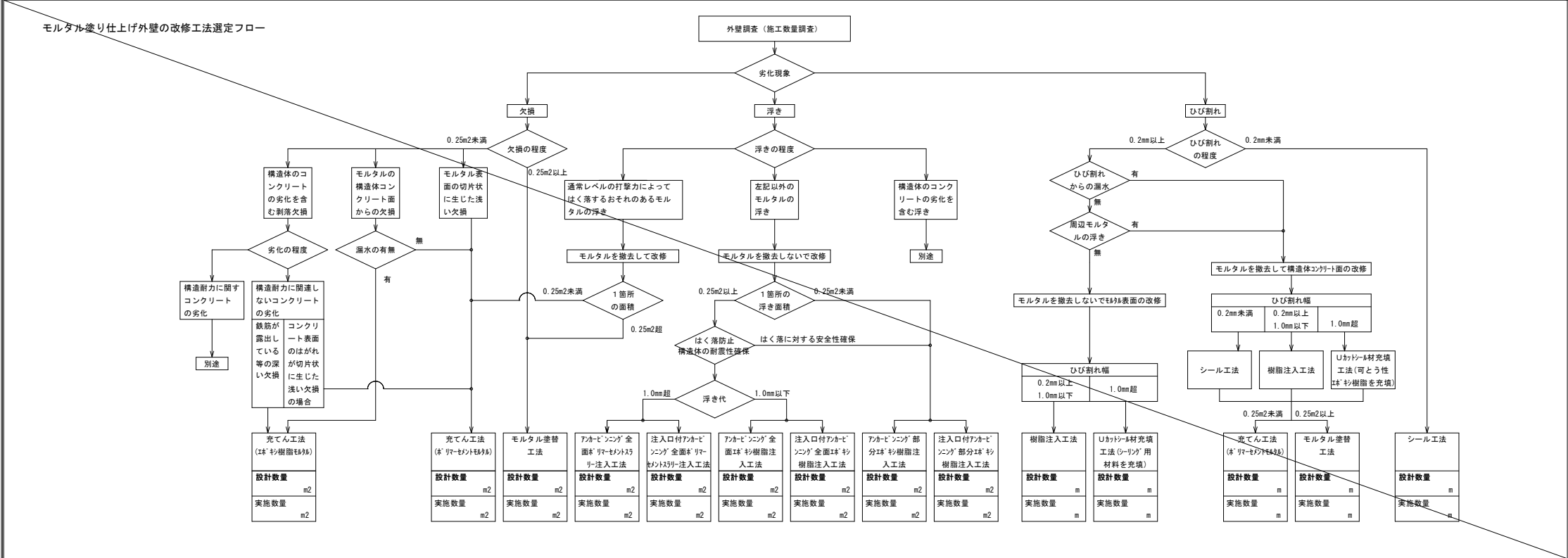
工事名	岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事				N.○	(株) ADO建築設計事務所 1級建築士事務所 (県) 第10509号 1級建築士事務所 第119226号 大分県 〒700-0920 岡山市北北区西宮西町5番6号 TEL 098-244-9173	
図面名	表紙・図面リスト				A-00		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和6年12月	A-22	
	課長	課長補佐	係長	課員	担当書	承認	
						捺印	捺印

[illegible]

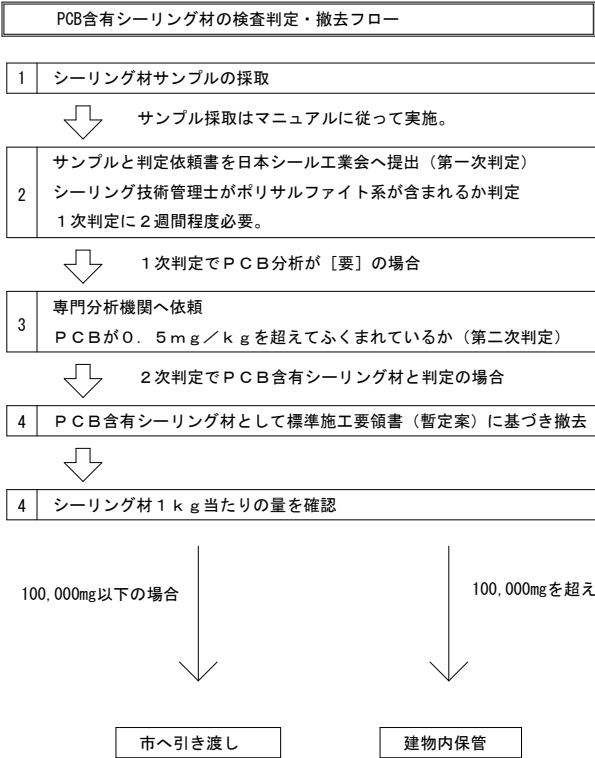
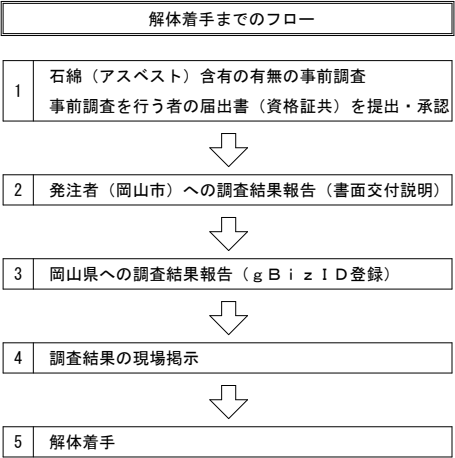
[illegible]

[illegible]

3	セメントの種類 [8.2.5]	表8.2.3																	
		セメントの種類	使用箇所																
		※普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種(D) ・フライアッシュセメントB種(D)																	
		普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他の、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く																	
		水和熱	7日目 28日目																
		4	骨材の種類 [8.2.5]	アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B〔※コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3.0kg/m ² 以下〕															
				・混和剤 種類 ※改修標準仕様書8.2.5(4)(a)による ・混和材 種類 ※改修標準仕様書8.2.5(4)(b)による															
				5	混和材料 [8.2.5]														
						6	構造体用モルタル [8.2.6]	圧縮強度 () フロー値 ()											
								7	無筋コンクリート [6.14.1-3][8.11.1-3]	適用箇所 標準仕様書6.14.1(4)による 図示 設計基準強度 F _c (N/mm ²) ※18 スランプ ※15又は18 セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント									
8	ひび割れ誘発目地 打継目地 [6.6.4][6.8.1]									目地寸法 ※標準仕様書9.7.3による 間隔 ※図示による 位置 ※図示による ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、打増し厚さ部で処理する									
										9	コンクリートの仕上り [8.1.4][8.2.7]	合板せき板を用いたコンクリートの打直し仕上げ 表8.1.4 種類 適用箇所 ・A種 ・B種 ・C種 コンクリートの仕上がり平たみさ 表8.1.5 種類 適用箇所 ・A種 ・B種 ・C種							
												10	打増し厚さ [6.8.1][8.7.8]	・打直し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る） ・20mm ・打直し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る） ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm ・床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面部の打増し処理 プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う ・10mm ・20mm					
														11	型枠 [6.8.2][8.2.7]	せき板の材料及び厚さ ※合板（※12mm） ・メッシュ型枠（使用部位 ※構造図による） ・床型枠用鋼製デッキプレート（施工範囲 ※構造図による） スリーブ材 ※標準仕様書6.8.2(9)（イ）による 構造図による 断熱材兼用型枠 ・使用しない ・使用する（※25mm以下かつ熱抵抗値1m ² h/℃/kCal以上） MCR工法用シートの仕様 ・使用しない ・使用する（使用部位 ※図示による）			
																12	型枠の加工及び部位 [8.7.8]	シアコネクタをセパレータとして使用 適用箇所 ※構造図による	
		13	コンクリートの 打込み工法等 [8.21.8][8.23.5]															部位毎のコンクリート打設工法の指定 補強工法 現場打ちコンクリート壁の増設工事 ・流込み工法（・全て） ・圧入工法（・全て） 鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法 ・流込み工法（・全て） ・圧入工法（・全て）	
																		8 1 3 鉄骨工事	鉄骨の製作工場 [8.1.6] [7.1.1][7.1.3] 鉄骨製作工場における 施工管理技術者 [8.1.6] 鋼材 [8.2.8] 高力ボルト [8.2.9][8.13.2] [8.14.2] 溶融亜鉛めっき高力 ボルト [8.2.9][8.13.2] [8.20.5] [7.12.5] 製作精度 [8.13.3] 仮組 [8.13.10] 高力ボルト接合 [8.14.2] 溶接接合 [8.15.4][8.15.7] 鋼材の材質 表8.2.7 鋼材の品質及び試験方法 コンシステンシー ブリージング 凝結開始時間 終結時間 無収縮性 圧縮強度 塩化物量 試験方法 1) NEXCO試験方法 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理 試験方法」による。プレミックス形と現場攪拌形で混和材が同一の 場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の 塩化物イオン濃度試験方法」による。 連続繊維シート [8.4.13][8.24.6] 連続繊維補強シート [8.24.7] 連続繊維の材料 ・炭素繊維 ・アラミド繊維 連続繊維の材質 引張強度（含浸硬化後） ヤング係数（含浸硬化後） 繊維目付量 シート厚さ シート貼り方向 定着方法 含浸接着樹脂 プライマー 下地処理 仕上げモルタルの除去 下地処理の範囲 下地処理の程度 柱及び梁の隅角部の面取り 下地調整



工事名	岡山市避難給食堂耐震改修ほか工事				No.		(株) ADO建築設計事務所	
図面名	建築改修工事特記仕様書7				図尺	A-07		1級建築士事務所 (特) 第1005号 1級建築士会誌 第118236号 大石雅弘 7102-0026 岡山平尾東理恵松野町5番6号 TEL. 086-244-0173
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和6年12月	承認		A-22	
	課長	課長補佐	係長	課員	担当書	承認		検印 製図



含まれていない
回答の場合は
石綿含有シーリング材
として解体撤去

※1次判定でPCB分析が【要】の場合は、変更協議の対象とする。

特記事項

1. 下記表を元に工事受注者は、各窓口と工事内容と各届出について協議を行うこと。
各窓口との協議記録簿を作成し、石綿含有の有無調査報告（書面交付説明）時に提出し承認を得ること。
2. 各窓口について
労働安全衛生法（労安法）：岡山労働基準監督署 TEL 086-225-0591
大気汚染防止法（大防法）：岡山市環境保全課 TEL 086-803-1280
建設リサイクル法（建リ法）：岡山市建築指導課 TEL 086-803-1445
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）：岡山市産業廃棄物対策課 TEL 086-803-1303

対象 建 材	内部床：ビニル床シート接着剤	区 分	石綿含有みなし建材レベル3
建築物・工作物に使用されているアスベスト含有仕上塗材の電動工具を使用した除去作業			

規 模 要 件 等		労安法 すべての作業	大防法 すべての作業	建り法 一定規模以上の工事	廃掃法 すべての作業
届出義務	届出義務			◎	
	届出先			特定行政庁	
	届出義務者			発注者・自主施工者	
	届出期日			作業開始7日前	
事前計画	事前調査実施	◎	◎	◎	
	事前調査結果の説明	×	◎（3年間保存）	×	
	事前調査結果の報告	◎	◎	×	
	事前調査記録	◎（3年間保存）	◎（3年間保存）	×	
	記録の写しの備え付け	◎	◎	×	
	事前調査結果の掲示	◎	◎	×	
	作業計画作成	◎	◎	◎	
作業環境	作業場所隔離	◎	◎	×	
	出入口に前室設置	×	×	×	
	集塵装置設置	□	×	×	
作業方法等	関係者向掲示板設置	◎	×	×	
	住民向掲示板設置	□	◎	×	
	湿潤化等措置	◎	◎	×	
	部外者の立入禁止	◎	×	×	
	保護具の着用	◎	□	×	
	装置の点検等	□	×	×	
	喫煙飲食禁止	◎	×	×	
	取り残し等の確認	◎	◎	×	
	使用器具の洗浄	◎	×	×	
	除去等石綿の梱包	◎	×	×	
	作業完了時報告	×	◎	×	
	記録	作業実施状況の記録	◎（3年間保存）	◎（3年間保存）	×
作業者の記録		◎（40年間保存）	×	×	
粉じん濃度の測定		□	×	×	
濃度測定	測定結果の保存	◎（40年間保存）	×	×	
	規制基準設定	◎（0.15 本／cm ³ ）	×	×	
その他	石綿健診の実施	△（40年間保存）	×	×	
	特別教育の実施	◎	×	×	
	発注者等の配慮	◎	◎	◎	
	アスベスト廃棄物の 処理方法	×	×	×	石綿含有産業廃 棄物として処理
資格	事前調査者	◎	◎	×	×
	作業◎	（石綿作業主任者）	×	×	×
参 考 資 料		建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及 び石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル			石綿含有廃棄物等 処理マニュアル
凡例	◎ □	法令による義務づけあり 指導事項 △ 法令義務となる場合あり × 規定なし			

対象 建 材	外部軒天：ケイカル板（1種） 屋内天井：石膏ボード 屋内 壁：ビニルクロス 屋内 床：ビニル床シート	区 分	石綿含有みなし建材レベル3
建築物・工作物に使用されているアスベスト含有成形板等の石綿の切断等を伴わない除去作業			

規 模 要 件 等		労安法 すべての作業	大防法 すべての作業	建り法 一定規模以上の工事	廃掃法 すべての作業
届出義務	届出義務			◎	
	届出先			特定行政庁	
	届出義務者			発注者・自主施工者	
	届出期日			作業開始7日前	
事前計画	事前調査実施	◎	◎	◎	
	事前調査結果の説明	×	◎（3年間保存）	×	
	事前調査結果の報告	◎	◎	×	
	事前調査記録	◎（3年間保存）	◎（3年間保存）	×	
	記録の写しの備え付け	◎	◎	×	
	事前調査結果の掲示	◎	◎	×	
	作業計画作成	◎	◎	◎	
作業環境	作業場所隔離	◎※1	◎※1	×	
	出入口に前室設置	×	×	×	
	集塵装置設置	×	×	×	
作業方法等	関係者向掲示板設置	◎	×	×	
	住民向掲示板設置	□	◎	×	
	湿潤化等措置	□	□	×	
	部外者の立入禁止	◎	×	×	
	保護具の着用	◎	□	×	
	装置の点検等	×	×	×	
	喫煙飲食禁止	◎	×	×	
	取り残し等の確認	◎	◎	×	
	使用器具の洗浄	◎	×	×	
	除去等石綿の梱包	◎	×	×	
	作業完了時報告	×	◎	×	
	記録	作業実施状況の記録	◎（3年間保存）	◎（3年間保存）	×
	作業者の記録	◎（40年間保存）	×	×	
濃度測定	粉じん濃度の測定	□	×	×	
	測定結果の保存	◎（40年間保存）	×	×	
	規制基準設定	◎（0.15 本／cm ³ ）	×	×	
	その他	石綿健診の実施	△（40年間保存）	×	×
特別教育の実施		◎	×	×	
発注者等の配慮		◎	◎	◎	
アスベスト廃棄物の 処理方法		×	×	×	石綿含有産業廃 棄物として処理
資格	事前調査者	◎	◎	×	×
	作業◎	（石綿作業主任者）	×	×	×
参 考 資 料		建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及 び石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル			石綿含有廃棄物等 処理マニュアル
凡例	◎ □	法令による義務づけあり 指導事項 △ 法令義務となる場合あり × 規定なし			

※1 外部軒天ケイカル板（1種）の撤去のみ作業場隔離を必要とする。

工事名					岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事		No.		(株) ADO建築設計事務所	
図面名					石綿含有建材解体撤去フロー		A-09		1級建築士事務所（専）第12025号	
					縮尺		(A1) NON (A2) NON		1級建築士登録 第118226号 大石雅弘 〒760-0368 岡山県北区内宮西町5番6号 TEL 086-244-0173	
岡山市					都市整備局		住宅・建築部		公共建築課	
					令和6年12月		承認		検印	
					担当者		承認		検印	
					課長		課長補佐		係長	
					課員		課員		製図	

外 部 仕 上 表

		既設仕上		撤去処分		改修仕上		備考	
屋根	仕上	銅板葺き（横葺き）		――		――			
	下地	合板t12.0、アスファルトルーフィング		――		――			
外壁	仕上	グラスファイバーパネル、フレキシブルボード OP塗		――		フレキシブルボード：水洗いの上、EP-G塗 壁見切（鉄部）：下地調整RB種の上、DP塗（1級）		パネル周囲シール 20x20 撤去・新設	
	下地	軽量鉄骨下地 C-60×30		――		――			
軒天・鼻隠し	仕上	ケイ酸カルシウム板t6.0の上、OP塗		軒天：ケイ酸カルシウム板t6.0 撤去処分		軒天：ケイ酸カルシウム板t6.0貼の上、EP-G塗、一部 有孔ケイ酸カルシウム板t6.0貼の上、EP-G塗			
	下地	木天井下地（野縁40x45@450、野縁受40x45@900、吊木30x36@900）		木天井下地 撤去処分		鼻隠し：水洗いの上、EP-G塗 屋外用軽量鉄骨天井下地（吊りボルト新設共）			
縦樋	仕上	鉄製鎖樋		――		――			
	下地	――		――		――			
軒樋	仕上	鋼製角谷樋		――		樋内部 清掃			
	下地	――		――		――			
柱 梁	仕上	鉄部：SOP塗 束石：モルタル金ゴテ押えの上、AEP塗		――		既設鉄部：下地調整RB種の上、DP塗（1級）、新設鉄部（見え掛り）：DP塗（1級）			
	下地	――		――		束石：下地調整RB種の上、EP-G塗			
基礎	仕上	モルタル塗		――		――			
	下地	鉄筋コンクリート布基礎		――		――			
回廊	床	仕上	コンクリート金コテ押え	――		――			
		下地	コンクリート	――		――			
	立上り	仕上	コンクリート打放し仕上	――		――			
		下地	コンクリート	――		――			

内 部 仕 上 表

階	室名 (改修前)	室名 (改修後)	既設仕上		撤去処分		改修仕上		備考	
1階	納骨堂(1) (CH=2,200 吹抜:5,050)	同左	床	仕上	長尺塩ビシートt2.0貼		長尺塩ビシートt2.0貼 一部撤去処分（祭壇柱まわり・出入口） 〔既設下地接着剤ケレン処理〕		長尺塩ビシートt2.0貼	
				下地	モルタル塗		――		下地調整 モルタル塗	
			巾木	仕上	外壁：スチール製 雑巾ずり 木製間仕切壁面：木製巾木 H=120 SOP塗		――		――	
				下地	――		――		――	
			壁	仕上	グラスファイバーパネル 表し フレキシブルボード EP塗		――		――	
				下地	軽量鉄骨下地 C-60×30		――		――	
			天井	仕上	石膏ボードt9.5の上、EP塗	廻縁：金属製	――	――	――	――
				下地	軽量鉄骨天井下地		――		――	
			備考		棚・仏壇、 木製床見切縁 (W80xH30)		木製床見切縁 (W80xH30) 撤去処分		ステンレス製床見切縁 (W30xt2.7) 7ｼｽﾄ20-204同等品	
	祭壇 (CH=2,680)	――	床	仕上	畳敷きt50		畳敷きt50 撤去処分		長尺塩ビシートt2.0貼	
				下地	ラワン合板t9.0 木床組下地（根太45x30@303、大引105x50@910）		ラワン合板t9.0（木床組共） 撤去処分		下地調整 モルタル塗	
			巾木	仕上	――		――		一部（既設壁面）：木製巾木（米栴）H=200 SOP塗	
				下地	――		――		――	
			壁	仕上	壁：ラワン合板t9.0の上 クロス貼 垂れ壁：布クロス貼		壁：ラワン合板t9.0の上 クロス貼 垂れ壁（木下地共）撤去処分		石膏ボードt12.5貼の上、ビニルクロス貼（不燃）	
				下地	木製下地組		――		――	
			天井	仕上	ラワン合板t4.0の上、EP塗（格子天井 30x45@500）	廻縁：木製	ラワン合板t4.0の上、EP塗（格子天井 30x45@500）撤去処分	廻縁：木製撤去処分	――	――
				下地	木天井下地（野縁45x45@455、野縁受45x45@910、吊木30x36@910）		木天井下地 撤去処分		――	
			備考		化粧木製丸柱・化粧木製梁、上り框 (200x115)		化粧木製丸柱・化粧木製梁 撤去処分、 上り框 (200x115)撤去処分		――	
	前室 (CH=2,430)	――	床	仕上	長尺塩ビシートt2.0貼		長尺塩ビシートt2.0貼 撤去処分 〔既設下地接着剤ケレン処理〕		長尺塩ビシートt2.0貼	
				下地	モルタル塗		――		――	
			巾木	仕上	木製巾木（杉）H110xt15		木製巾木（杉）H110xt15 一部（敷居下部）撤去処分		――	
				下地	木製下地組		――		――	
			壁	仕上	漆喰塗仕上		――		――	
				下地	木製下地組 ラスボード下地 モルタル塗		――		――	
			天井	仕上	杉桎板t6.0 表し	廻縁：木製	――	――	――	――
				下地	木天井下地（野縁45x45@455、野縁受45x45@910、吊木30x36@910）		――		――	
			備考		――		――		――	

特記事項	
1. 既設床 長尺塩ビシートは石綿含有みなし建材（レベル3）として撤去処分すること。	1. 既設躯体から設備図に記載のない設備配線・配管等が出てきた場合は、監督職員と協議の上、適切に処置すること。
2. 既設床 長尺塩ビシート下地接着剤は石綿含有みなし建材（レベル3）として湿潤し、集じん機付きサンダーにてケレン処理とする。	2. 使用材料は特記無き限り、全てF☆☆☆☆以上を使用すること。
3. 既設壁 クロスは石綿含有みなし建材（レベル3）として撤去処分すること。	3. 木工用接着剤に含まれる可塑剤は難揮発性のものとする。
4. 既設天井 石膏ボードは石綿含有みなし建材（レベル3）として撤去処分すること。	4. 木材保存剤は非有機リン系を使用すること。
5. 既設軒天 ケイカル板は石綿含有みなし建材（レベル3）として撤去処分すること。	5. 内装工事接着剤はホルマリン不検出のもので、水性系のものとする。
6. 既設シールは石綿含有みなし建材（レベル3）として撤去処分すること。	6. 内装工事接着剤について、壁紙、ビニル床タイル、巾木に使用する可塑剤は難揮発性のものとする。
6. 既設シールのPCB含有調査を行うこと。	

塗料記号		
DP	耐候性塗料塗	
EP-G	つや有り合成樹脂エマルションペイント	
SOP	合成樹脂調合ペイント	

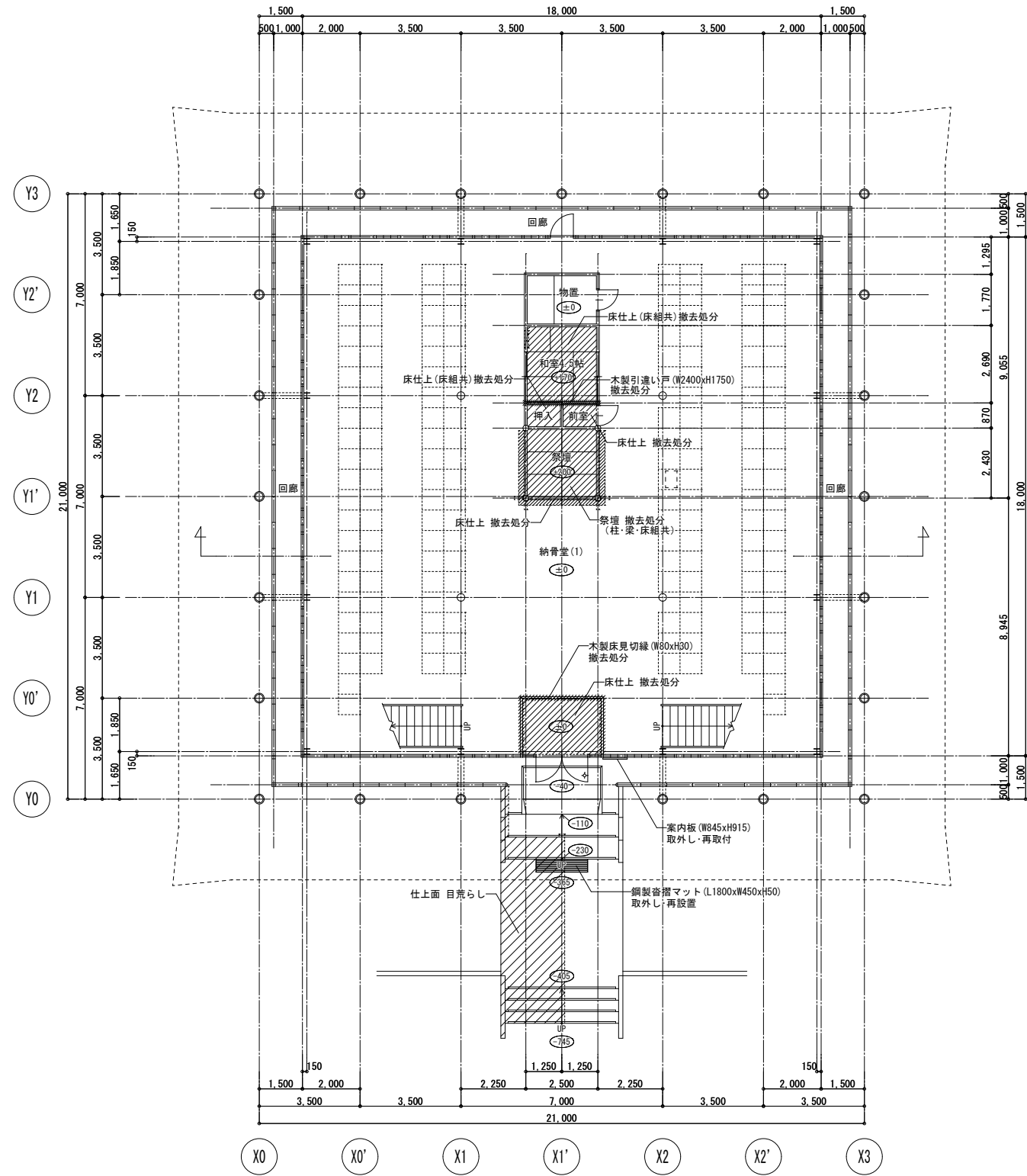
工事名 岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事					No.		(株) ADO 建築設計事務所	
図面名 外部仕上表・内部仕上表1					A-11		1級建築士事務所（県）第12055号 1級建築士登録 第118236号 大分県 〒700-0505 岡山市北区南宮西町5番6号 TEL. 098-244-0173	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和6年12月		A-22	
	課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検印	製図

内 部 仕 上 表										
階	室 名 (改修前)	室 名 (改修後)			既設仕上	撤去処分		改修仕上	備考	
1 階	和室4.5帖 (CH=2,330)	更衣室 (CH=2,500)	床	仕上	畳敷きt50	畳敷きt50 撤去処分		長尺塩ビシートt2.0貼		
				下地	ラワン合板t9.0 木床組下地（根太45x30@303、大引65x30@910）	ラワン合板t9.0（木床組共） 撤去処分		下地調整 モルタル塗		
			巾木	仕上	畳寄せ	畳寄せ 撤去処分		木製巾木（米桐）H=170 SOP塗		
				下地	木製下地組	――		――		
			壁	仕上	漆喰塗仕上	――		――		
				下地	木製下地組 ラスボード下地 モルタル塗	――		――		
			天井	仕上	数目・竿縁天井	廻縁：木製	――	――	――	
				下地	木天井下地（野縁45x45@455、野縁受45x45@910、吊木30x36@910）			――		――
			備考		分電盤（電気設備工事）			――		――
	押入 (CH=2,330)	――	床	仕上	ラワン合板t9.0 表し	ラワン合板t9.0 撤去処分		長尺塩ビシートt2.0貼		
				下地	木床組下地（根太45x30@303、大引65x30@910）	木床組下地 撤去処分		下地調整 モルタル塗		
			巾木	仕上	雑巾ずり	雑巾ずり 撤去処分		木製巾木（米桐）H=170 SOP塗		
				下地	木製下地組	――		――		
			壁	仕上	ラワン合板t9.0 表し	ラワン合板t9.0 撤去処分		石膏ボードt9.5貼の上、EP-G塗		
				下地	木製下地組	――		――		
			天井	仕上	ラワン合板t4.0 表し	廻縁：木製	――	――	――	
				下地	木天井下地（野縁45x45@455、野縁受45x45@910、吊木30x36@910）			――		――
			備考		中棚・枕棚			中棚・枕棚 撤去処分		――
	物置 (CH=3,135)	同左	床	仕上	モルタル金ゴテ押え	――		――		
				下地	土間コンクリート	――		――		
			巾木	仕上	――	――		――		
				下地	――	――		――		
			壁	仕上	ラワン合板t9.0 表し	――		――		
				下地	木製下地組	――		――		
			天井	仕上	ラワン合板t4.0 表し	廻縁：木製	――	――	――	
				下地	木天井下地（野縁45x45@455、野縁受45x45@910、吊木30x36@910）			――		――
			備考		造付棚			――		――
2 階	納骨堂(2) (CH=2,280)	同左	床	仕上	長尺塩ビシートt2.0貼	――		――		
				下地	木製下地組	――		――		
			巾木	仕上	スチール製 雑巾ずり	――		――		
				下地	――	――		――		
			壁	仕上	グラスファイバーパネル、フレキシブルボード EP塗	――		――		
				下地	軽量鉄骨下地 C-60×30	――		――		
			天井	仕上	石膏ボードt9.5の上、EP塗	廻縁：金属製	石膏ボードt9.5 一部撤去処分	――	石膏ボードt9.5貼（不燃）の上、EP-G塗	――
				下地	軽量鉄骨天井下地			軽量鉄骨天井下地 一部撤去処分		軽量鉄骨天井下地
			備考		棚・仏壇			――		――
	納骨堂(3) (CH=2,280)	同左	床	仕上	長尺塩ビシートt2.0貼	――		――		
				下地	木製下地組	――		――		
			巾木	仕上	スチール製 雑巾ずり	――		――		
				下地	――	――		――		
			壁	仕上	グラスファイバーパネル、フレキシブルボード EP塗	――		――		
				下地	軽量鉄骨下地 C-60×30	――		――		
			天井	仕上	石膏ボードt9.5の上、EP塗	廻縁：金属製	石膏ボードt9.5 一部撤去処分	――	石膏ボードt9.5貼（不燃）の上、EP-G塗	――
				下地	軽量鉄骨天井下地			軽量鉄骨天井下地 一部撤去処分		軽量鉄骨天井下地
			備考		棚・仏壇			――		――
共通	階段 (CH=――)	同左	床	仕上	踏面：カーペット敷	――		――		
				下地	鉄骨階段	――		――		
			巾木	仕上	ササラ桁：OP塗	――		――		
				下地	鉄骨階段	――		――		
			壁	仕上	――	――		――		
				下地	――	――		――		
			天井	仕上	――	――	――	――	――	
				下地	――	――		――		
			備考		鋼製手摺φ50、鋼製手摺子φ30、段鼻：ノンスリップ金物			――		――

新設鉄鋼面塗装フロー	
1	工場塗装 素地ごしらえB種
↓	
2	工場塗装（1回目）C種 JIS K 5552 ジンクリッチ TM ライマー2種（錆止め塗装1回目）
↓	
3	現場塗装（1回目）D種 JIS K 5551 構造物用錆止めペイントA種（錆止め塗装2回目）
↓	
4	現場塗装（2回目）D種 JIS K 5551 構造物用錆止めペイントA種（錆止め塗装3回目）
↓	
5	耐候性塗料塗（DP-1級）フッ素樹脂

既設鉄鋼面塗装フロー	
1	既存塗膜除去後、下地調整RB種
↓	
2	現場錆止め塗装 E種 JASS 18 M-109 DP用変性E TM キ樹脂 TM ライマー
↓	
3	耐候性塗料塗（DP-1級）フッ素樹脂

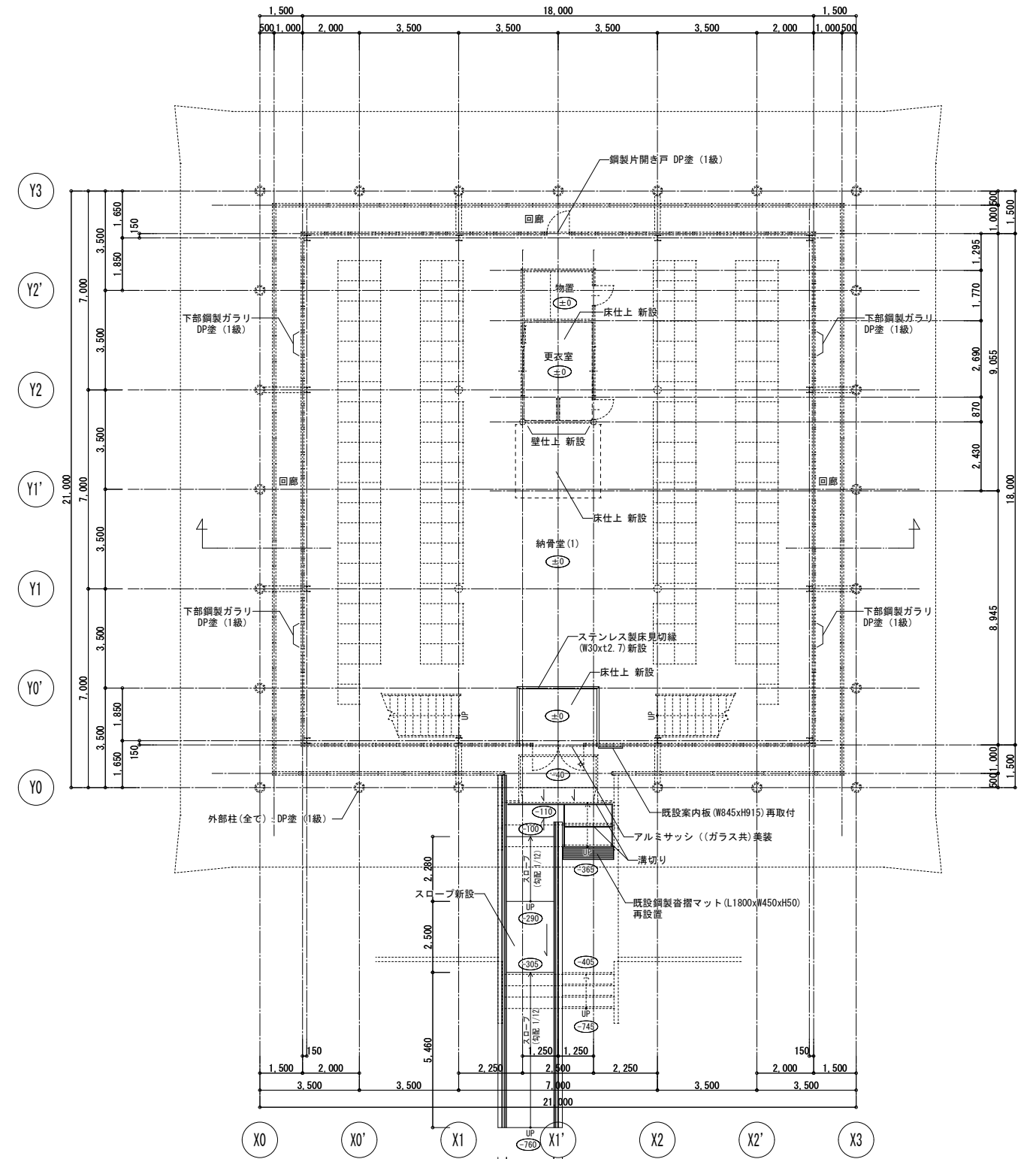
工事名	岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事					No.	(株)ADO建築設計事務所		
図面名	内部仕上表2				縮尺	(A1) NON (A3) NON	1級建築士事務所（県）第12055号 1級建築士登録 第118236号 大石啓弘 〒760-0809 岡山市北区有吉松西町5番6号 TEL. 086-244-0173		
	課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図	



1階平面図 (改修前) S=1/100

±0 : 1FLからのレベルを示す

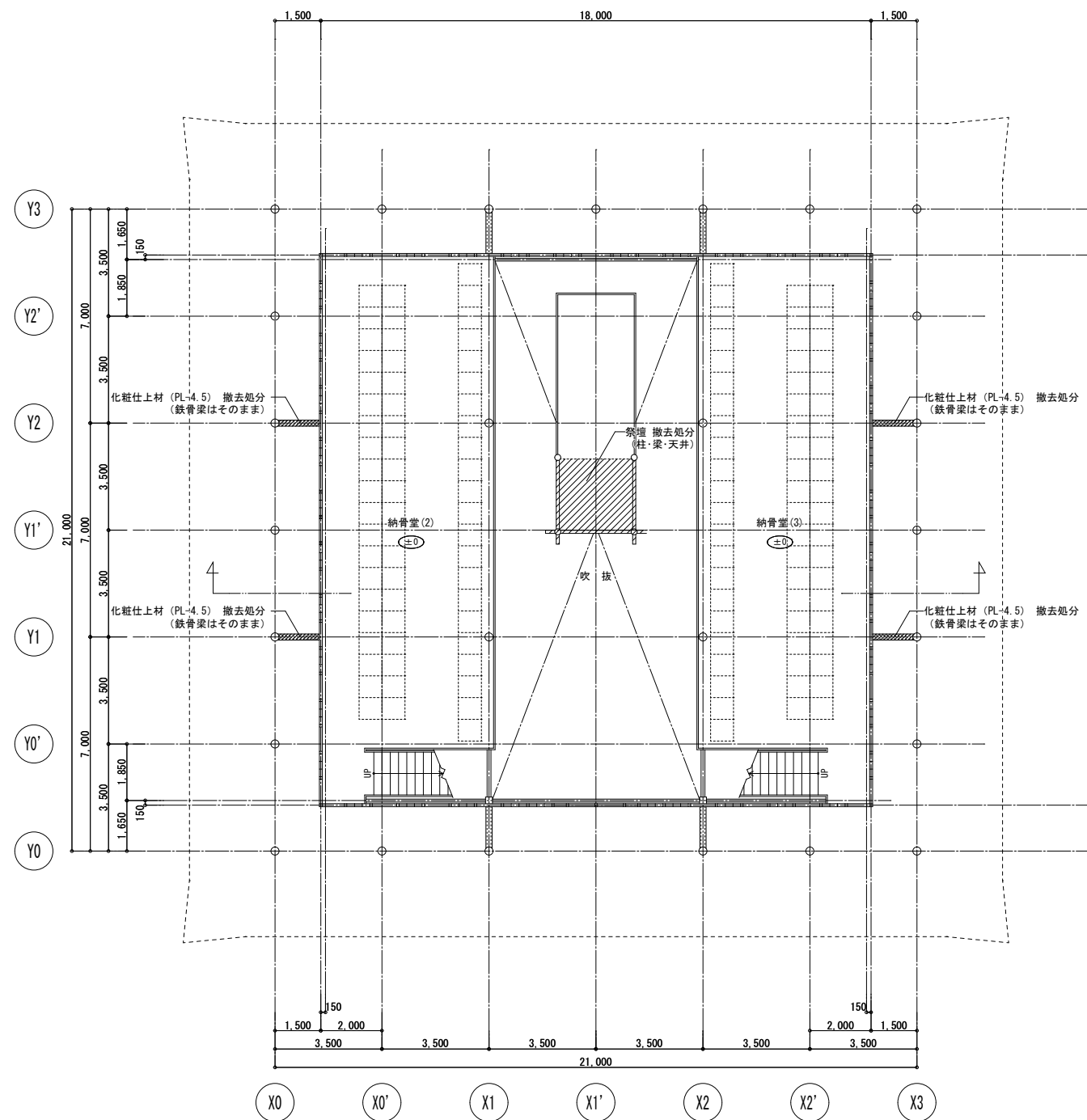
凡例
撤去範囲を示す



1階平面図 (改修後) S=1/100

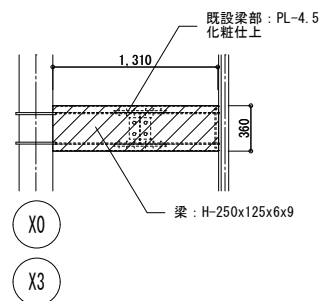
±0 : 1FLからのレベルを示す

工事名				岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事		No.		(株)ADO建築設計事務所	
図面名				1階平面図 (改修前、改修後)		A-13		1級建築士事務所 (東) 第12055号	
図面番号				岡山市 都市整備局 住宅・建設部 公共建築課		A-22		1級建築士事務所 第18228号 大分県	
				令和6年12月				〒700-0826	
								岡山県北条市吉松町西番6番6号	
								TEL. 098-244-0173	
課長		課長補佐		係長		課員		担当者	
								承認	
								検印	
								製図	



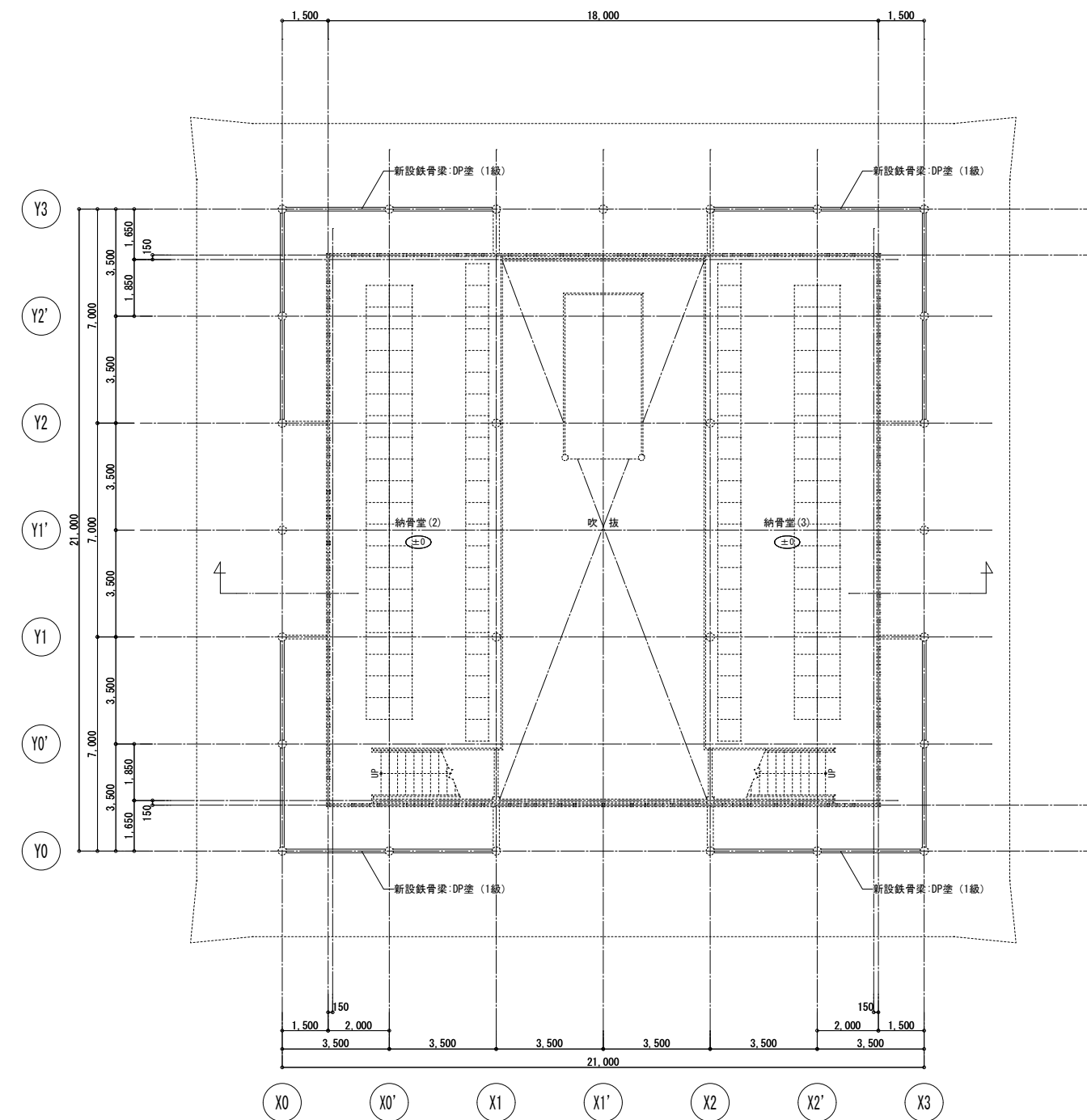
2階平面図（改修前） S=1/100

±0 : 2FLからのレベルを示す



屋外既設梁部改修（改修前） S=1/30

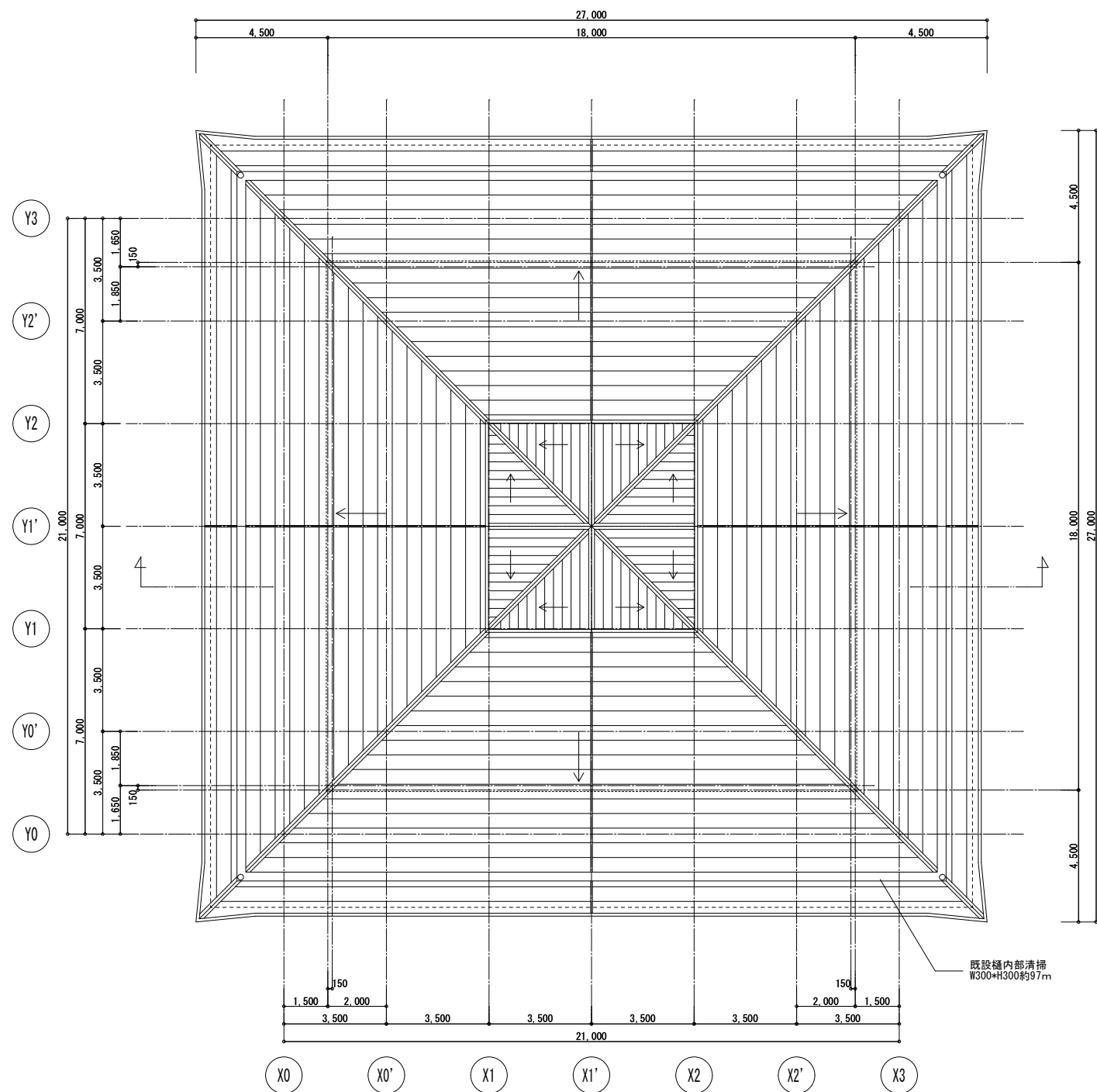
凡例
撤去範囲を示す



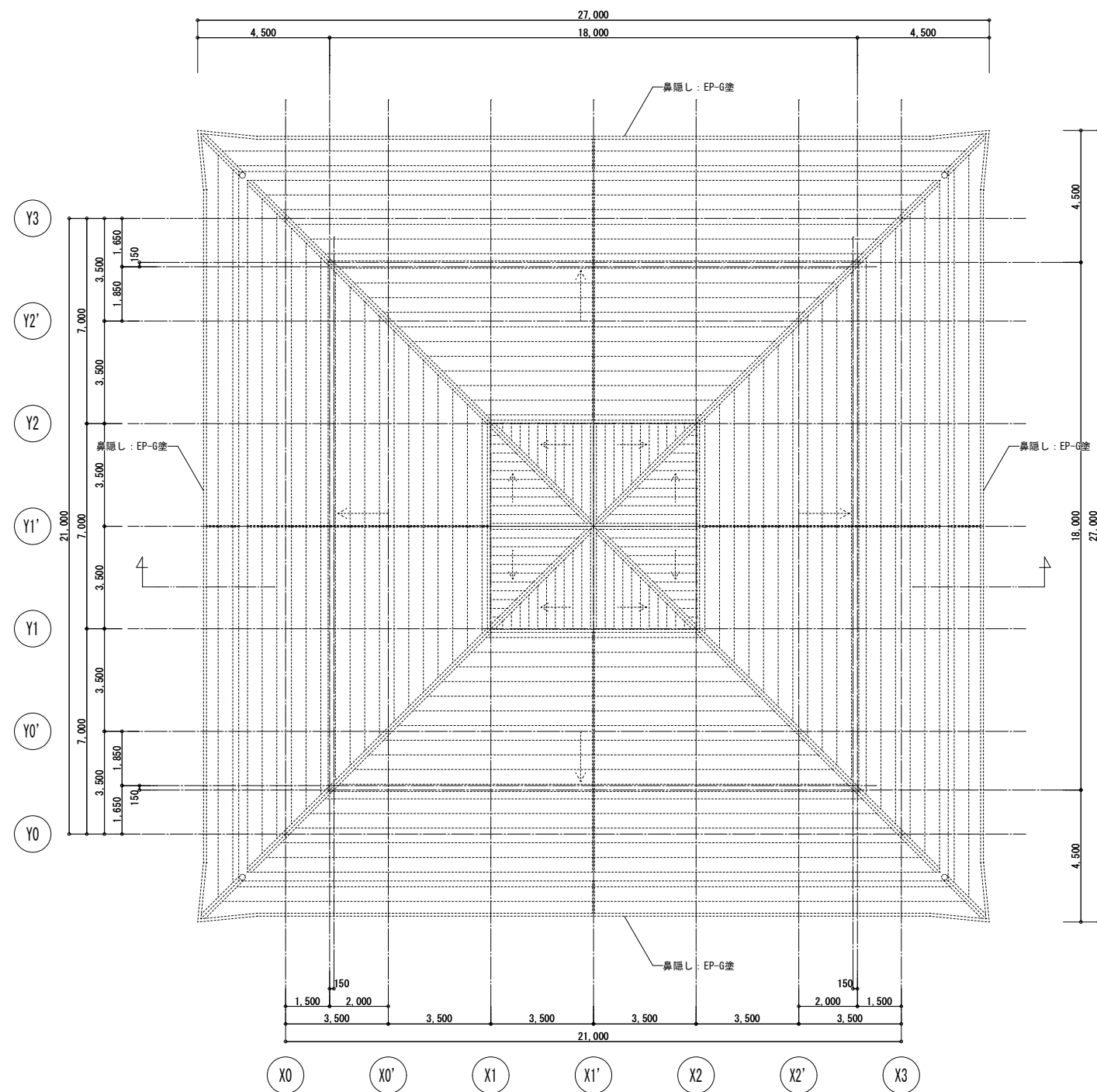
2階平面図（改修後） S=1/100

±0 : 2FLからのレベルを示す

工事名					岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事		No.		(株) ADO建築設計事務所		
図面名					2階平面図（改修前、改修後）		A-14		1級建築士事務所（ 概）第12055号 1級建築士事務所 第18228号 大石浩弘 〒750-0508		
岡山市					都市整備局 住宅・建築部		公共建築課		岡山市北区南河津町5番6号 TEL 086-244-0173		
課長		課長補佐		係長		課員		担当者		承認	
										検図	
										製図	

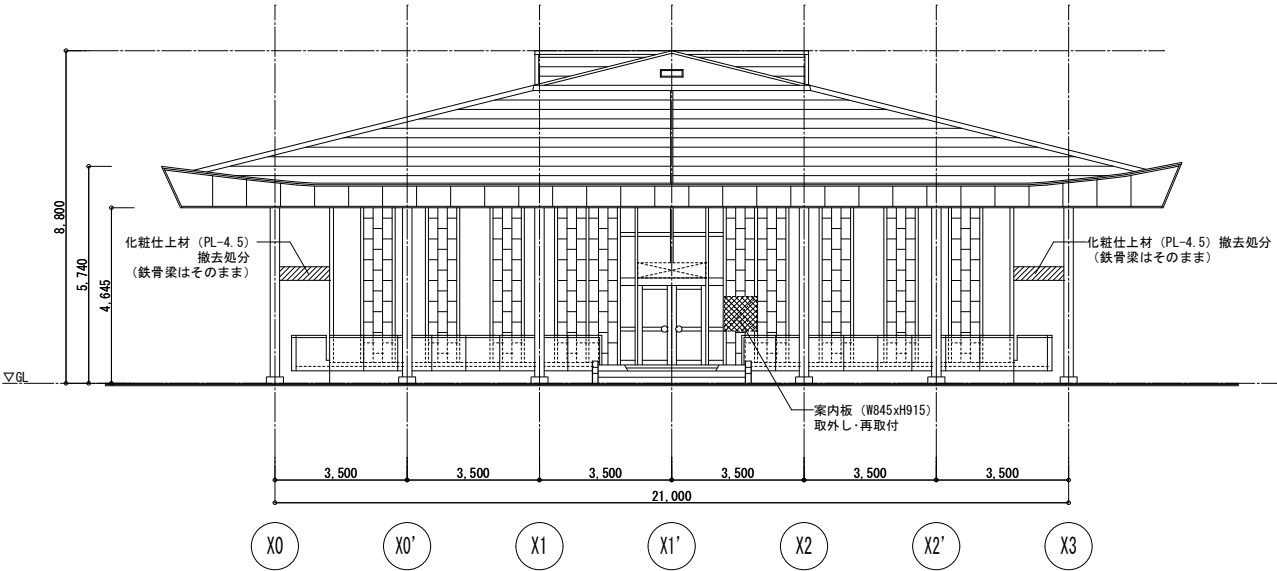


屋根伏図（改修前） S=1/100

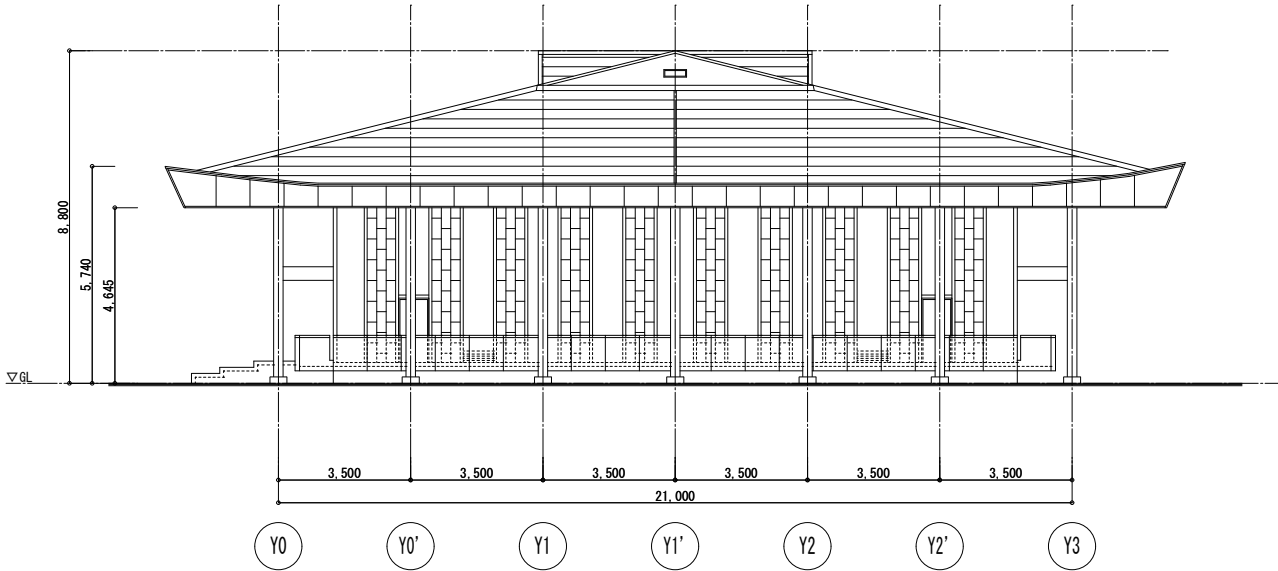


屋根伏図（改修後） S=1/100

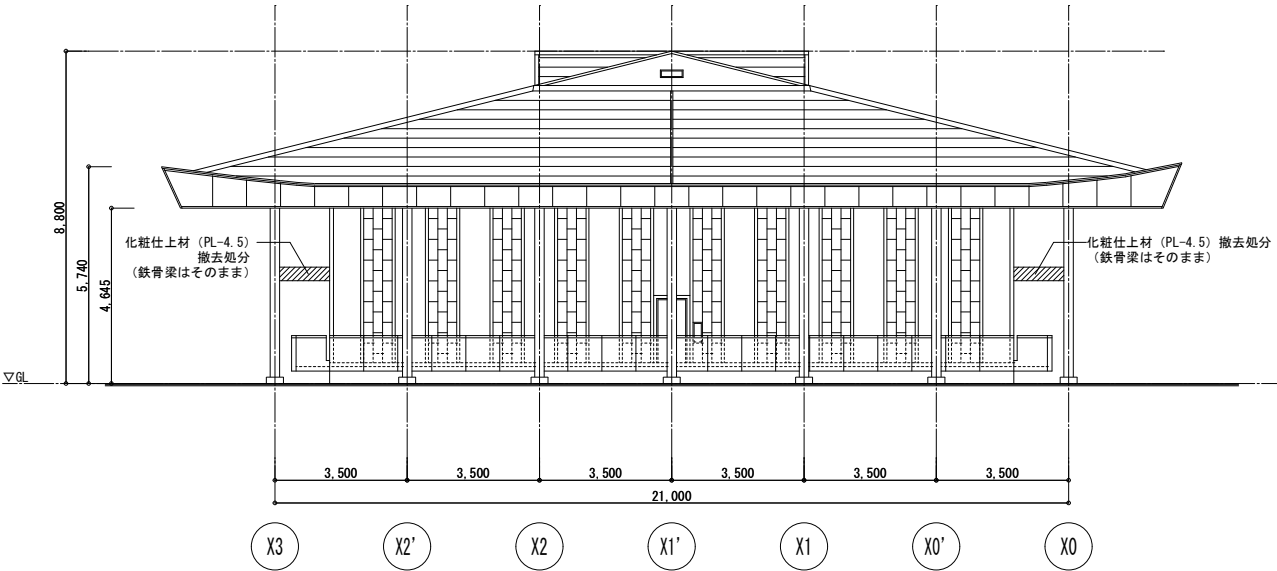
工事名	岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事					No.		(株) ADO 建築設計事務所	
図面名	屋根伏図（改修前、改修後）					縮尺	(A1) 1/100 (A3) 1/200	A-15 A-22	1級建築士事務所（角）第12055号 1級建築士登録 第18228号 大宅博弘 〒750-0508 岡山県北北区西宮西町5番6号 TEL. 086-244-0173
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課						令和6年12月			承認
	課長	課長補佐	係長	課員	担当者				



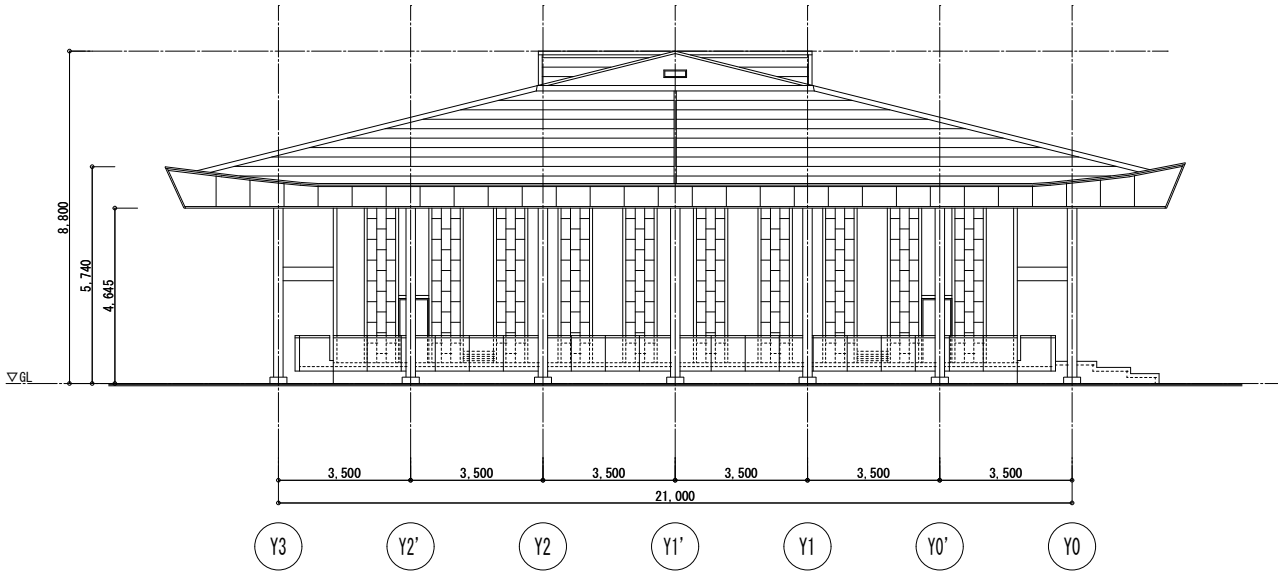
南立面図（改修前） S=1/100



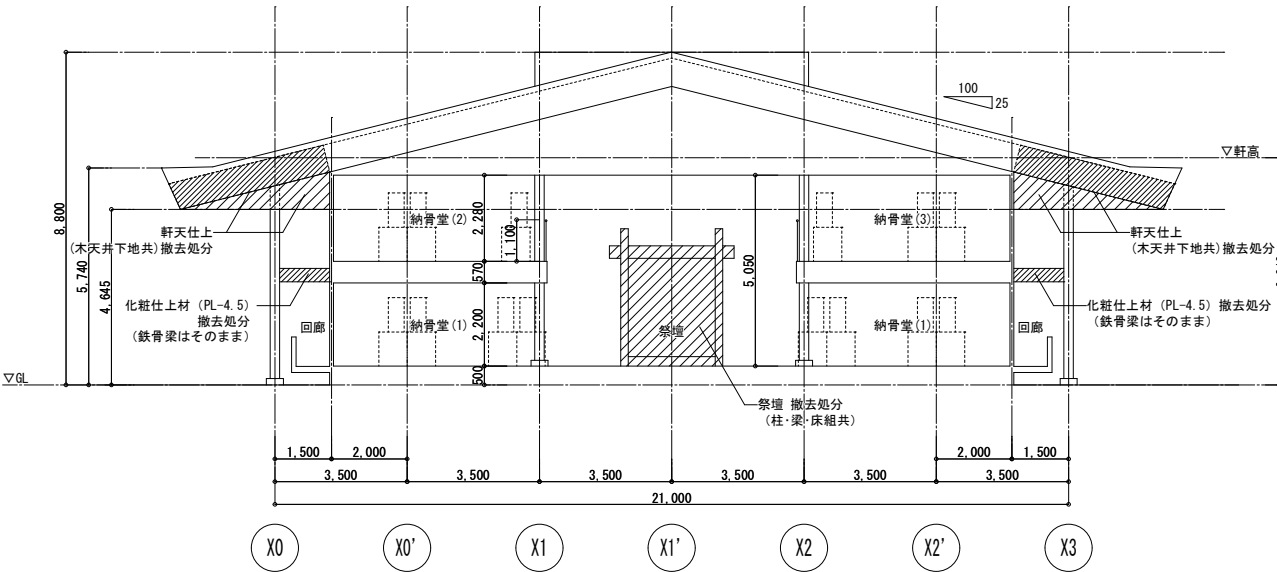
東立面図（改修前） S=1/100



北立面図（改修前） S=1/100



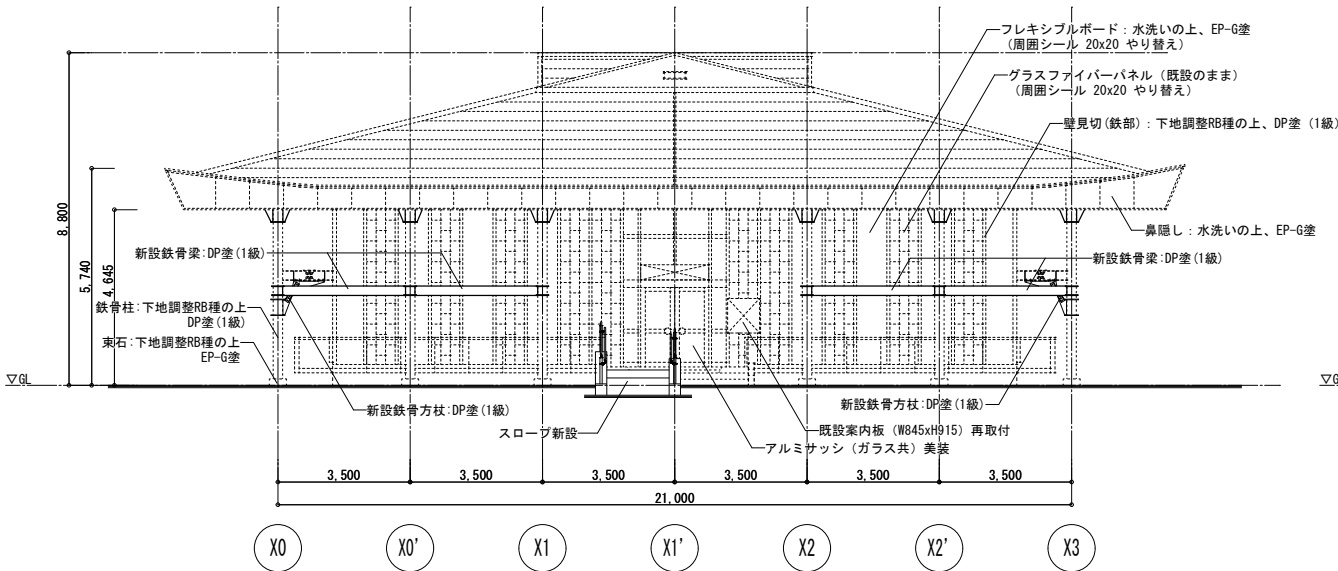
西立面図（改修前） S=1/100



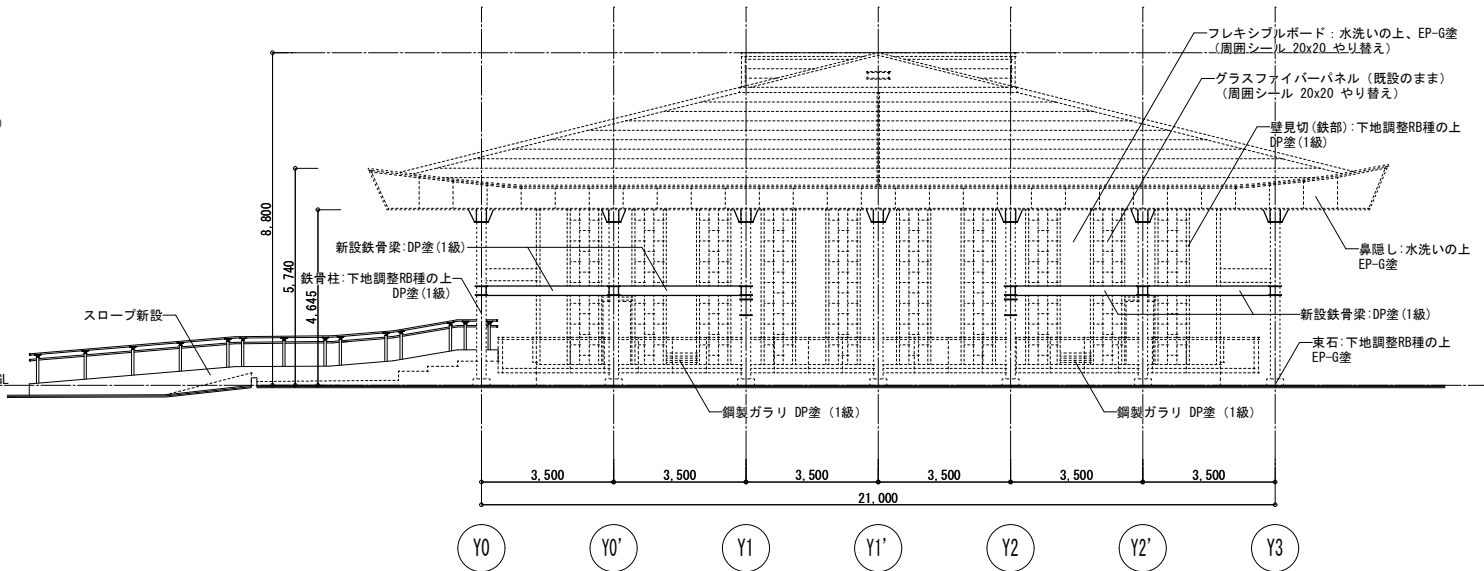
断面図（改修前） S=1/100

- 凡例
- 撤去範囲を示す
 - 取外し・再取付を示す

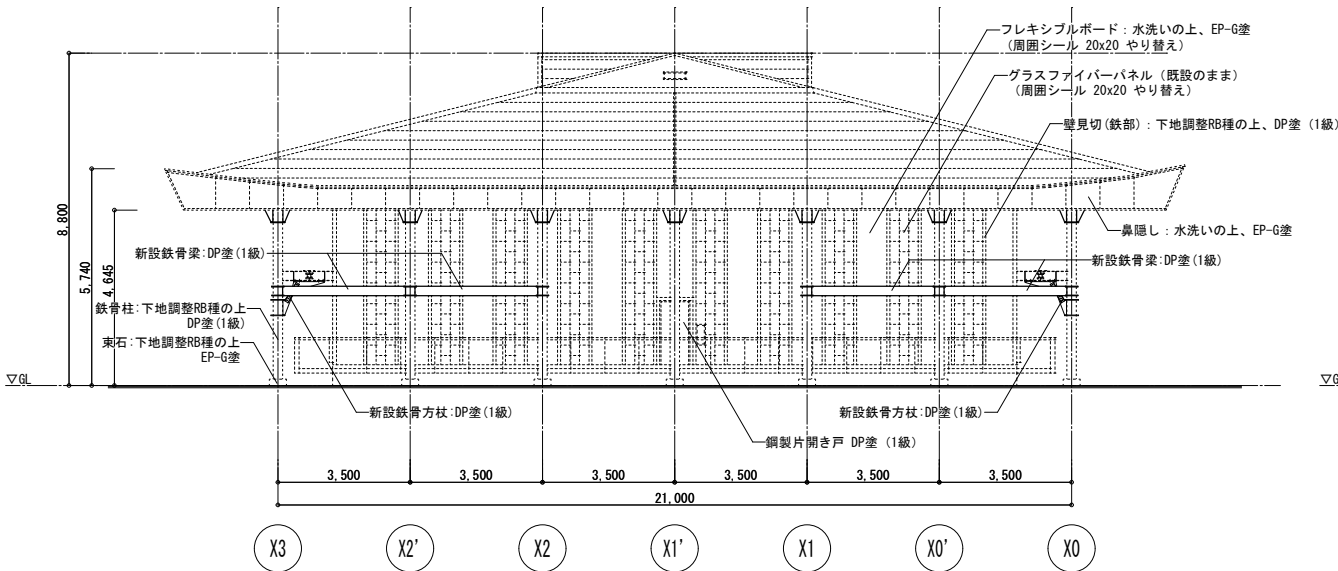
工事名	岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事				No. A-16 A-22	(株)ADO建築設計事務所 1級建築士事務所 (代表) 第1005号 1級建築士事務所 第1005号 大田 浩弘 〒760-0000 岡山県岡山市北区南瀬崎5番6号 TEL 086-244-0173		
図面名	立面図・断面図（改修前）	縮尺	(A1) 1/100 (A3) 1/200	令和6年12月				
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検印	製図	



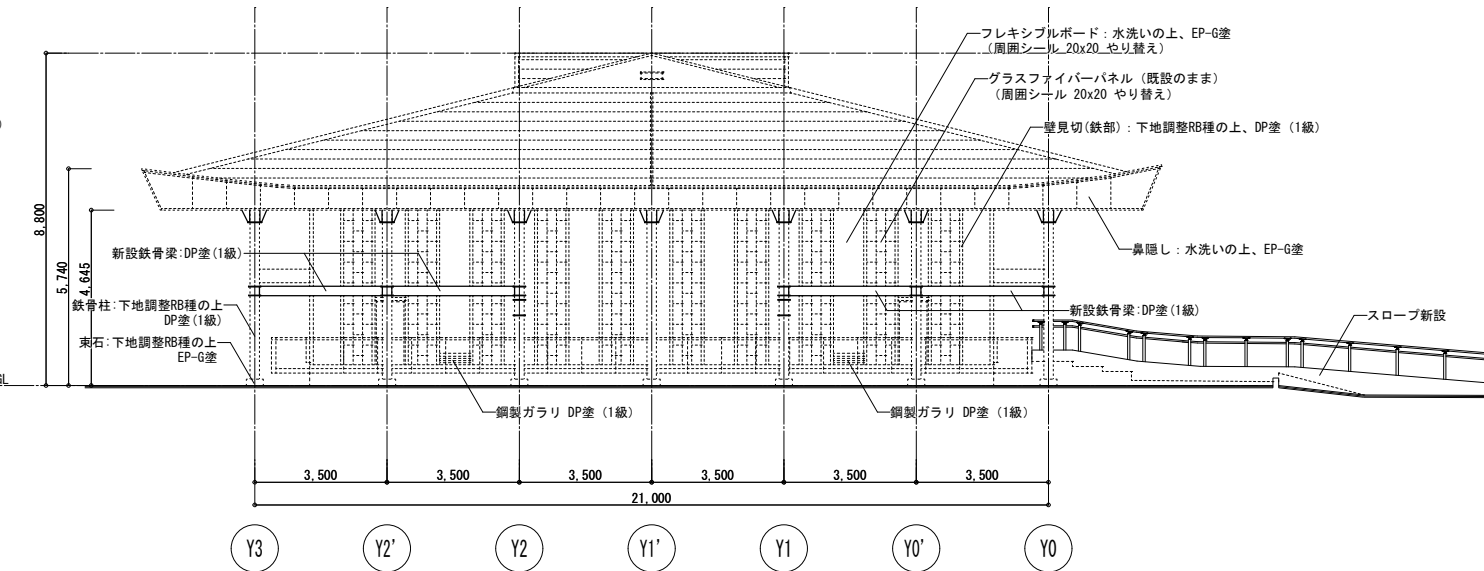
南立面図 (改修後) S=1/100



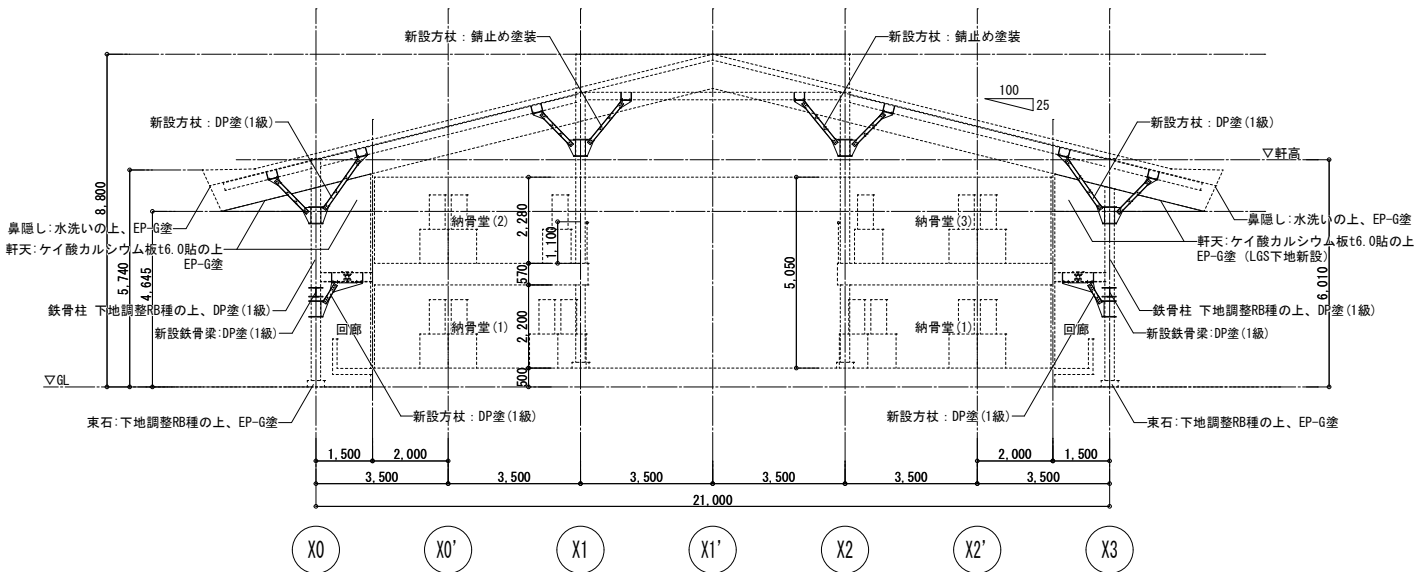
東立面図 (改修後) S=1/100



北立面図 (改修後) S=1/100

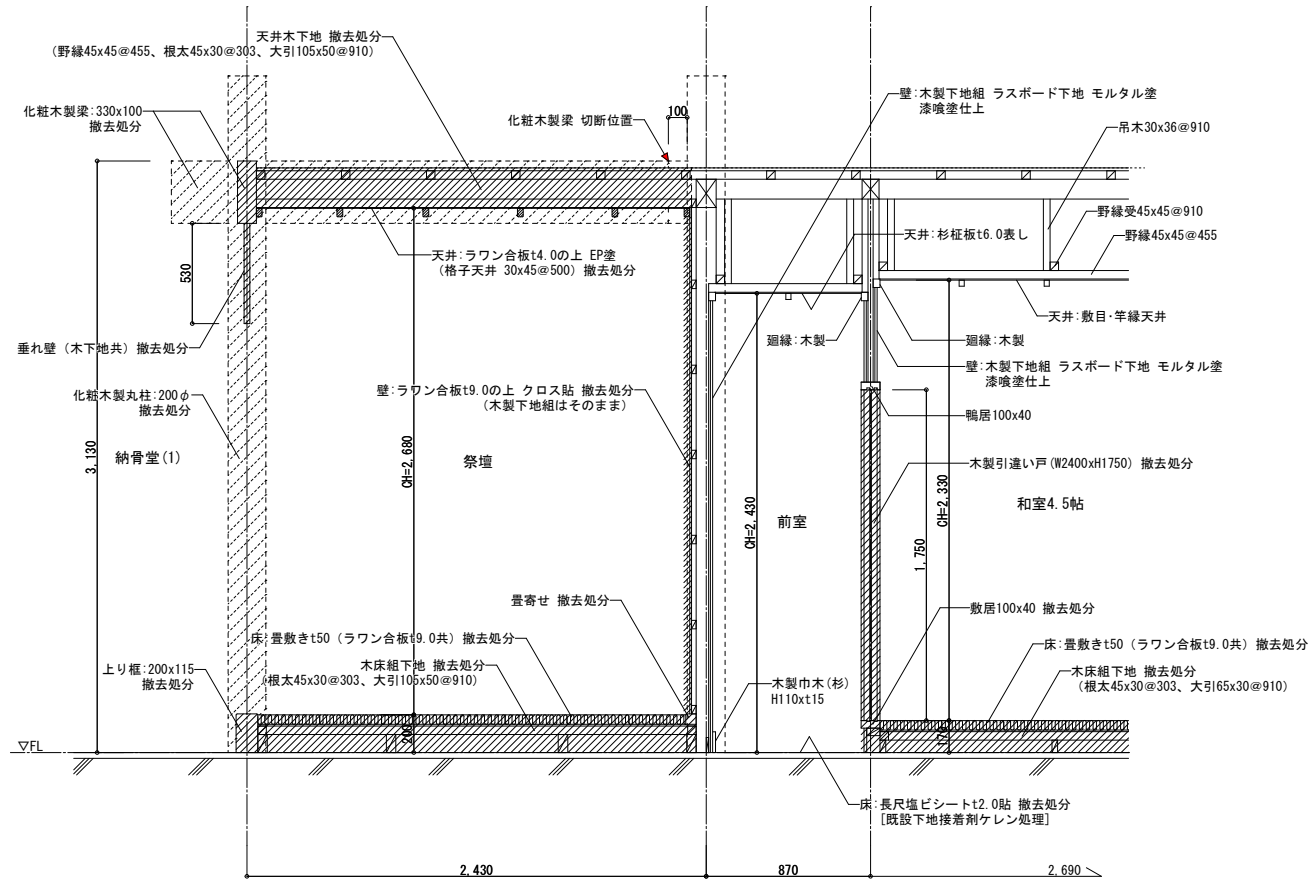


西立面図 (改修後) S=1/100

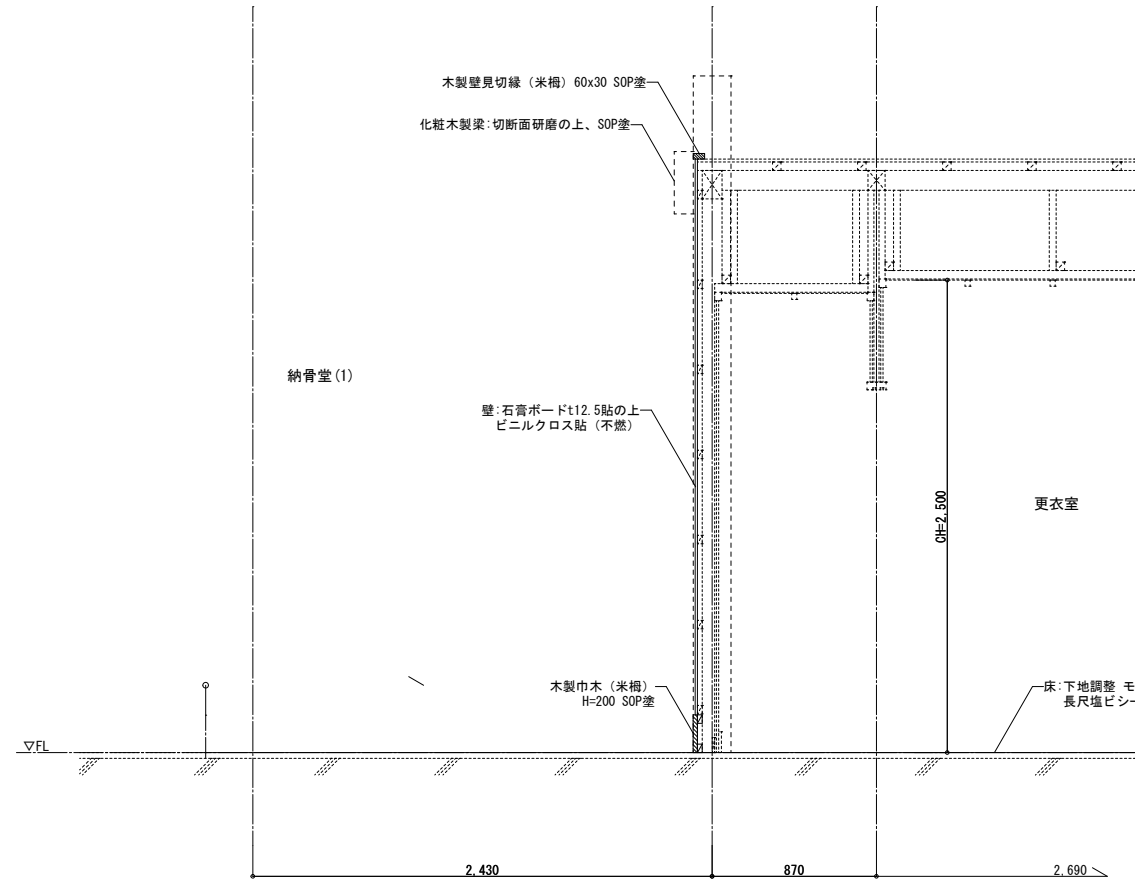


断面図 (改修後) S=1/100

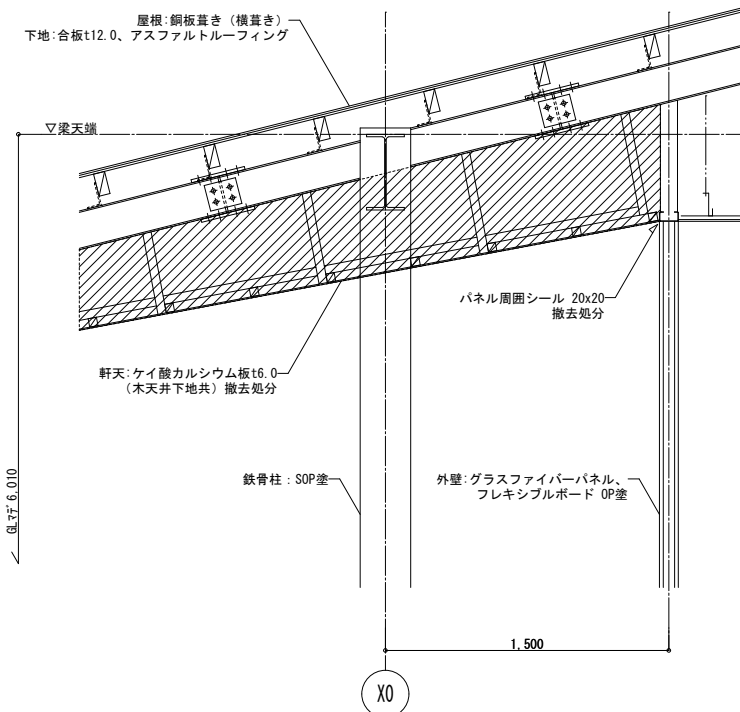
工事名		岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事				No.		(株) ADO建築設計事務所	
図面名		立面図・断面図 (改修後)				縮尺	(A1) 1/100 (A3) 1/200	A-17 A-22	
岡山市		都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和6年12月		1級建築士事務所 (角) 第12055号 1級建築士事務所 第118236号 大宅博弘 〒750-0505 岡山県北区内宮西町5番6号 TEL 086-244-0173	
	課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認		検印	製図



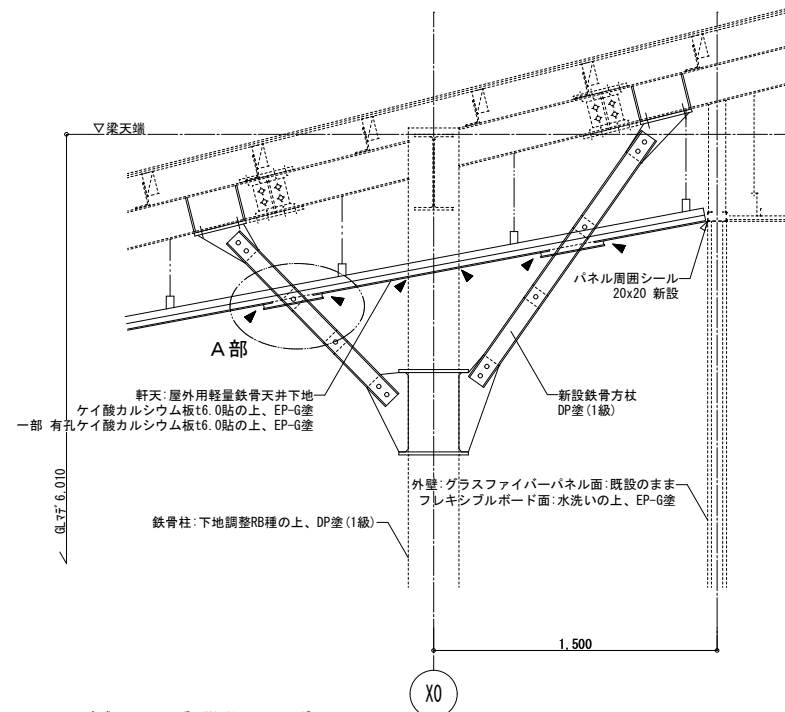
祭壇部詳細図 (改修前) S=1/20



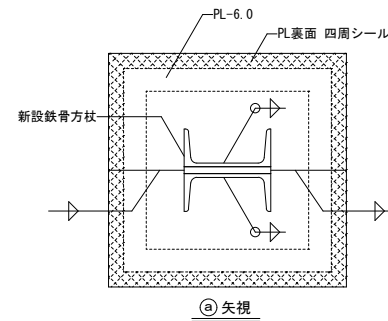
祭壇部詳細図 (改修後) S=1/20



屋外方杖補強部詳細図 (改修前) S=1/20

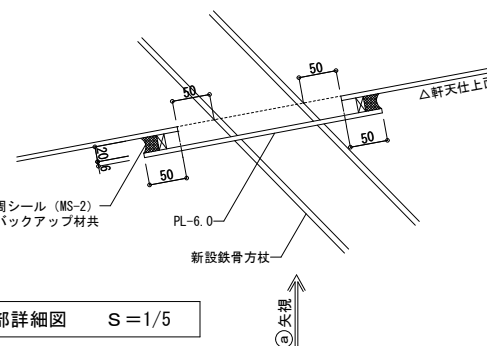


屋外方杖補強部詳細図 (改修後) S=1/20

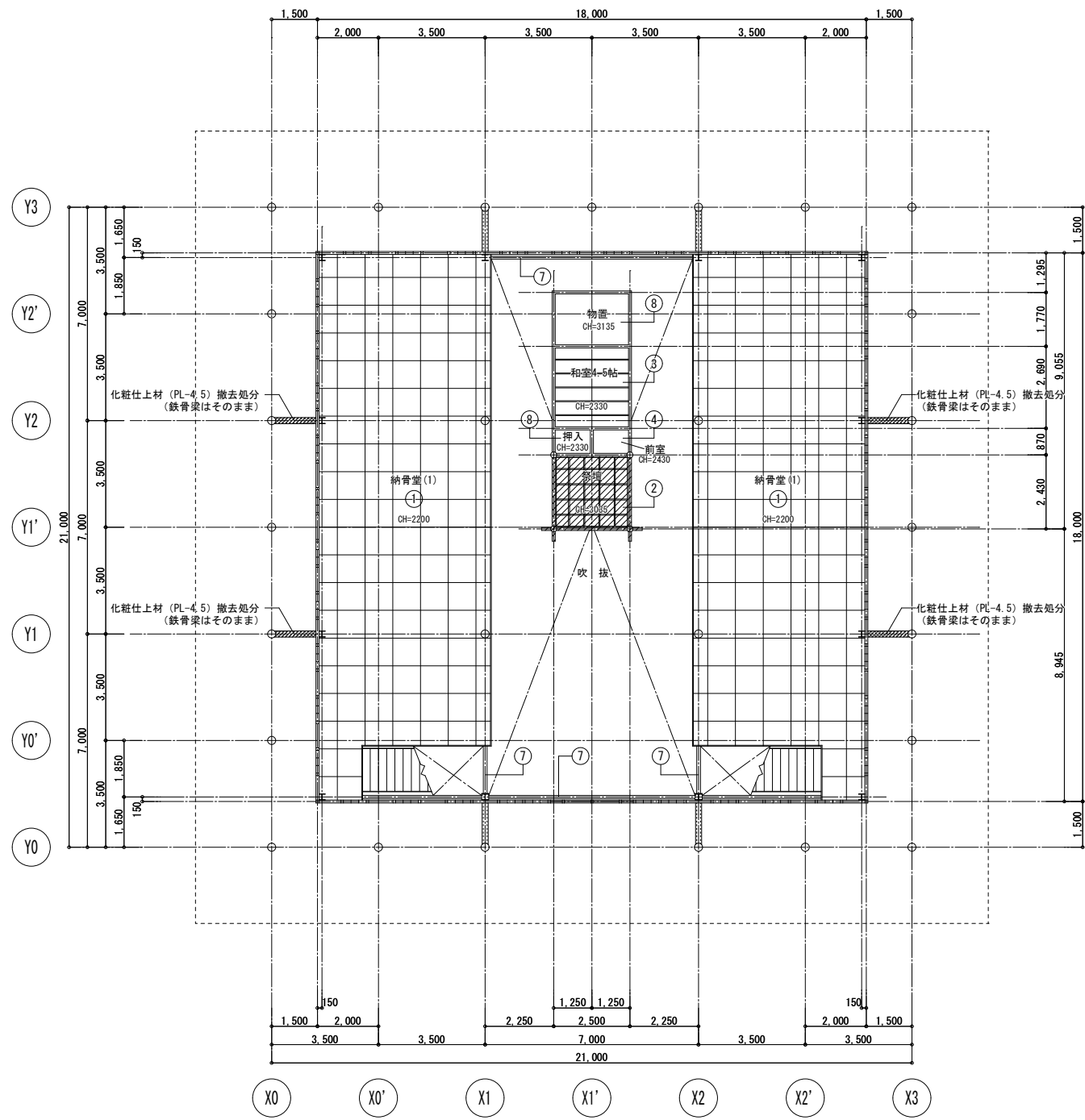


A部詳細図 S=1/5

※ 新設鉄部(見え掛り): DP塗 (1級)



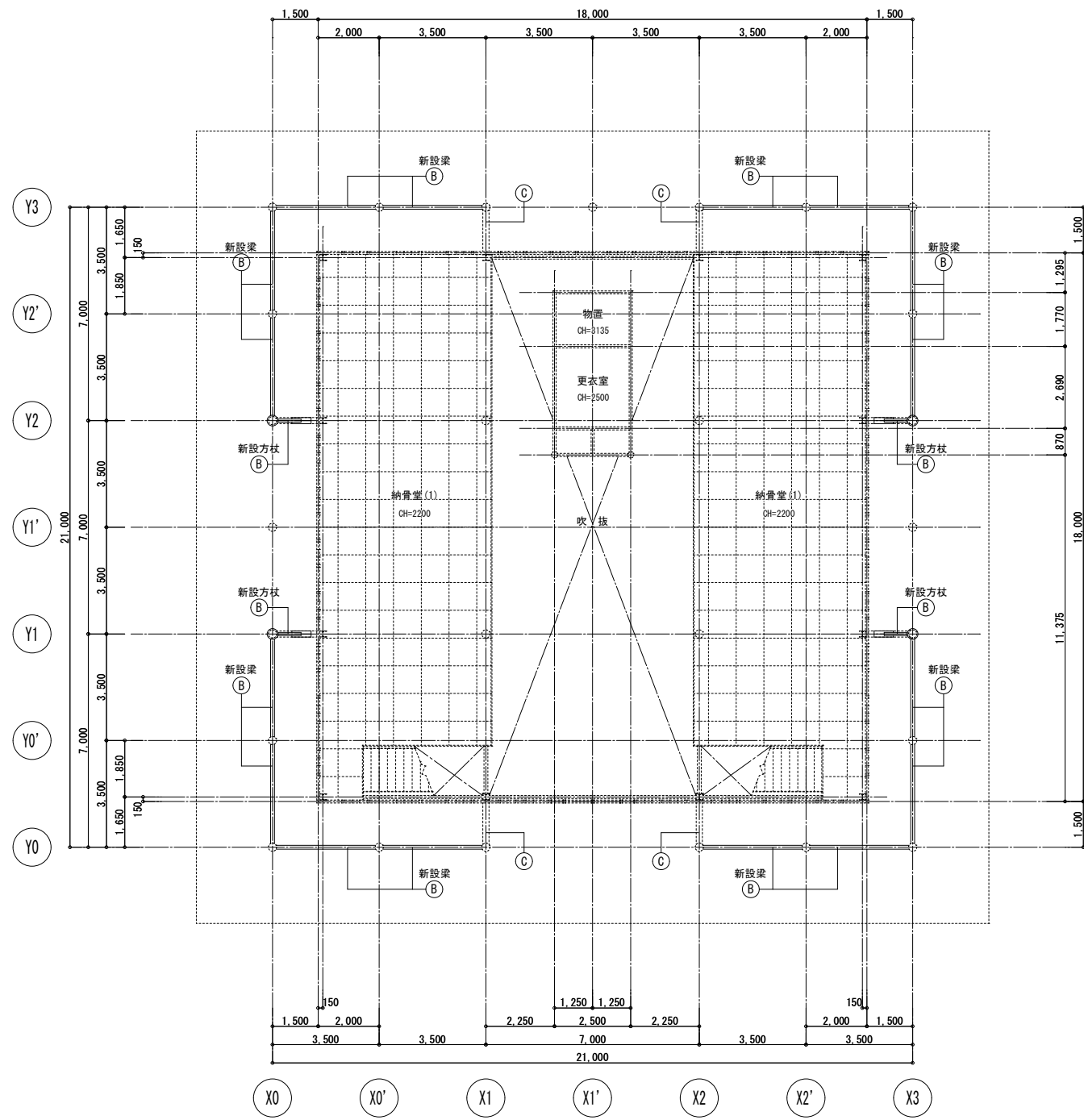
工事名	岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事					N o.	(株) ADO建築設計事務所		
図面名	部分詳細図					A-18	1級建築士事務所 (株) 第12055号 1級建築士事務所 第18228号 大宅博弘 〒750-0505 岡山市北区南河津町5番6号 TEL 086-244-0173		
図面	課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検印	製図	



1階天井伏図 (改修前) S=1/100

天井伏図仕上表 (既設)			
①	石膏ボードt9.5の上、EP塗	⑤	ケイ酸カルシウム板t6.0の上、OP塗
②	ラワン合板t4.0の上、EP塗 (格子天井 30x45@500)	⑥	有孔ケイ酸カルシウム板t6.0の上、OP塗
③	敷目・竿線天井	⑦	鉄部：OP塗
④	杉桎板t6.0 表し	⑧	ラワン合板t4.0 表し

凡例
：撤去範囲を示す

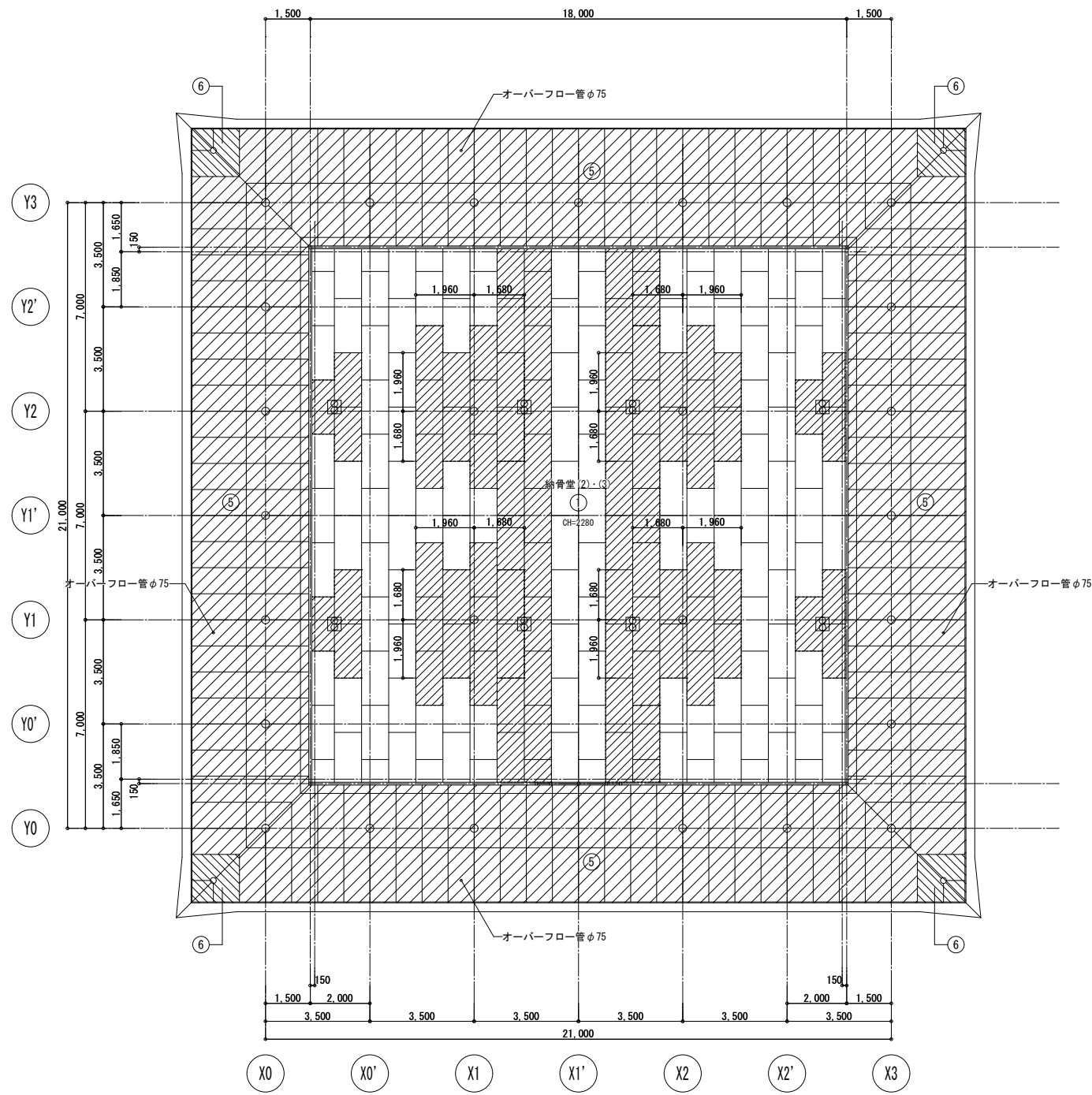


1階天井伏図 (改修後) S=1/100

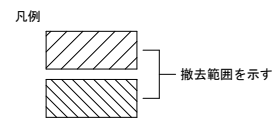
天井伏図仕上表 (新設)			
Ⓐ	石膏ボードt9.5貼 (不燃) の上、EP-G塗	Ⓓ	ケイ酸カルシウム板t6.0貼の上、EP-G塗
Ⓑ	鉄部 (新設)：DP塗 (1級)	Ⓔ	有孔ケイ酸カルシウム板t6.0貼の上、EP-G塗
Ⓒ	鉄部 (既設)：下地調整RB種の上、DP塗		

※鉄部は工場錆止め塗装 (JIS K 5674) とし、現地タッチアップ1回とする。

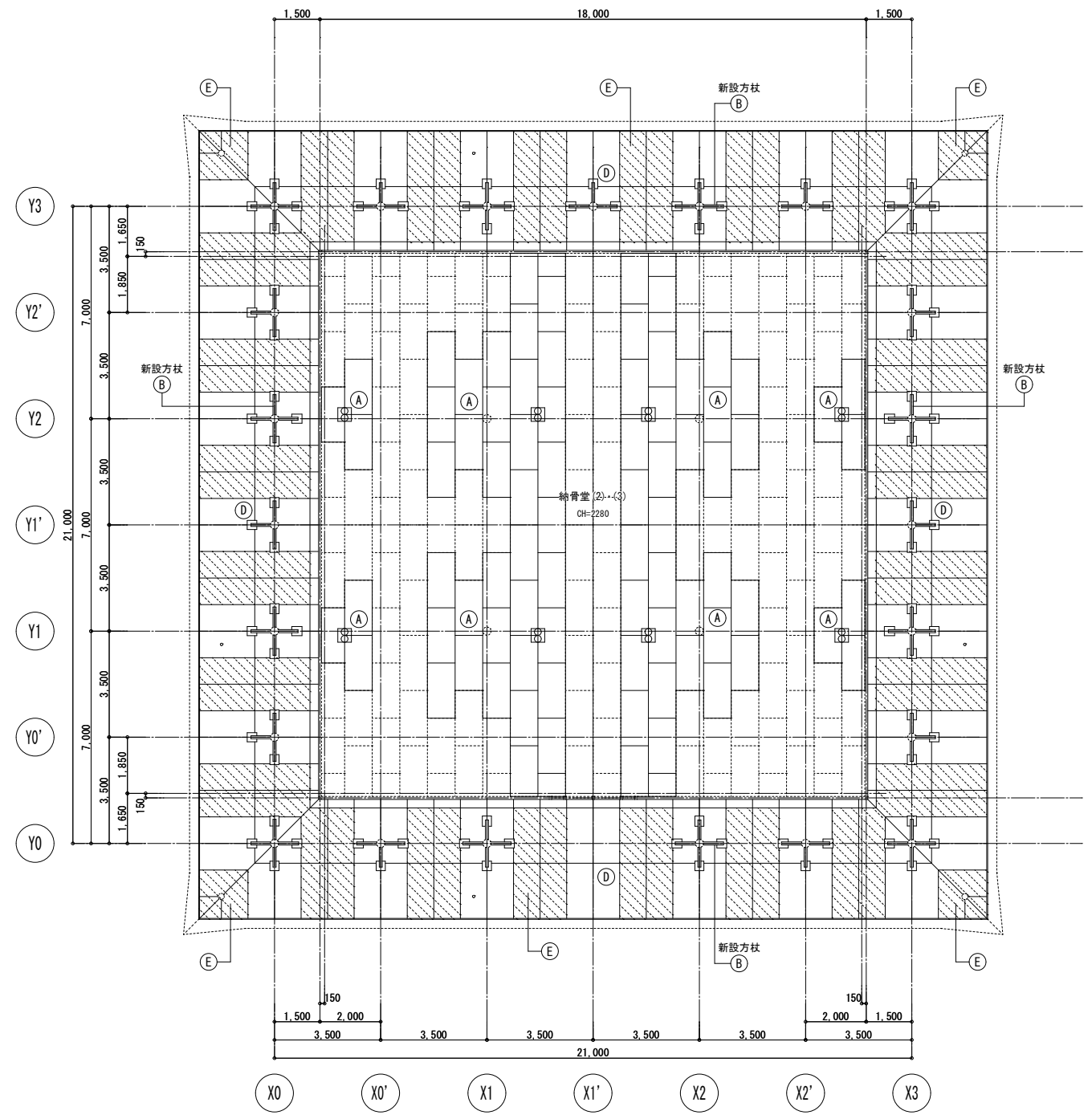
工事名	岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事				N o .	(株) ADO建築設計事務所		
図面名	1階天井伏図 (改修前、改修後)				A-19	1級建築士事務所 (県) 第12055号 1級建築士事務所 第18228号 大宅博弘 〒750-0505 岡山市北区南河原町5番6号 TEL. 086-244-0173		
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和6年12月	A-22			
課長	課長補佐	係長	課員	担当	承認	検印	製図	



2階天井伏図（改修前）S=1/100



天井伏図仕上表（既設）			
①	石膏ボードt9.5の上、EP塗	⑤	ケイ酸カルシウム板t6.0の上、OP塗
②	ラワン合板t4.0の上、EP塗 （格子天井 30x45@500）	⑥	有孔ケイ酸カルシウム板t6.0の上、OP塗
③	鉄部・平線天井	⑦	鉄部：OP塗
④	杉板t6.0 表し	⑧	ラワン合板t4.0 表し

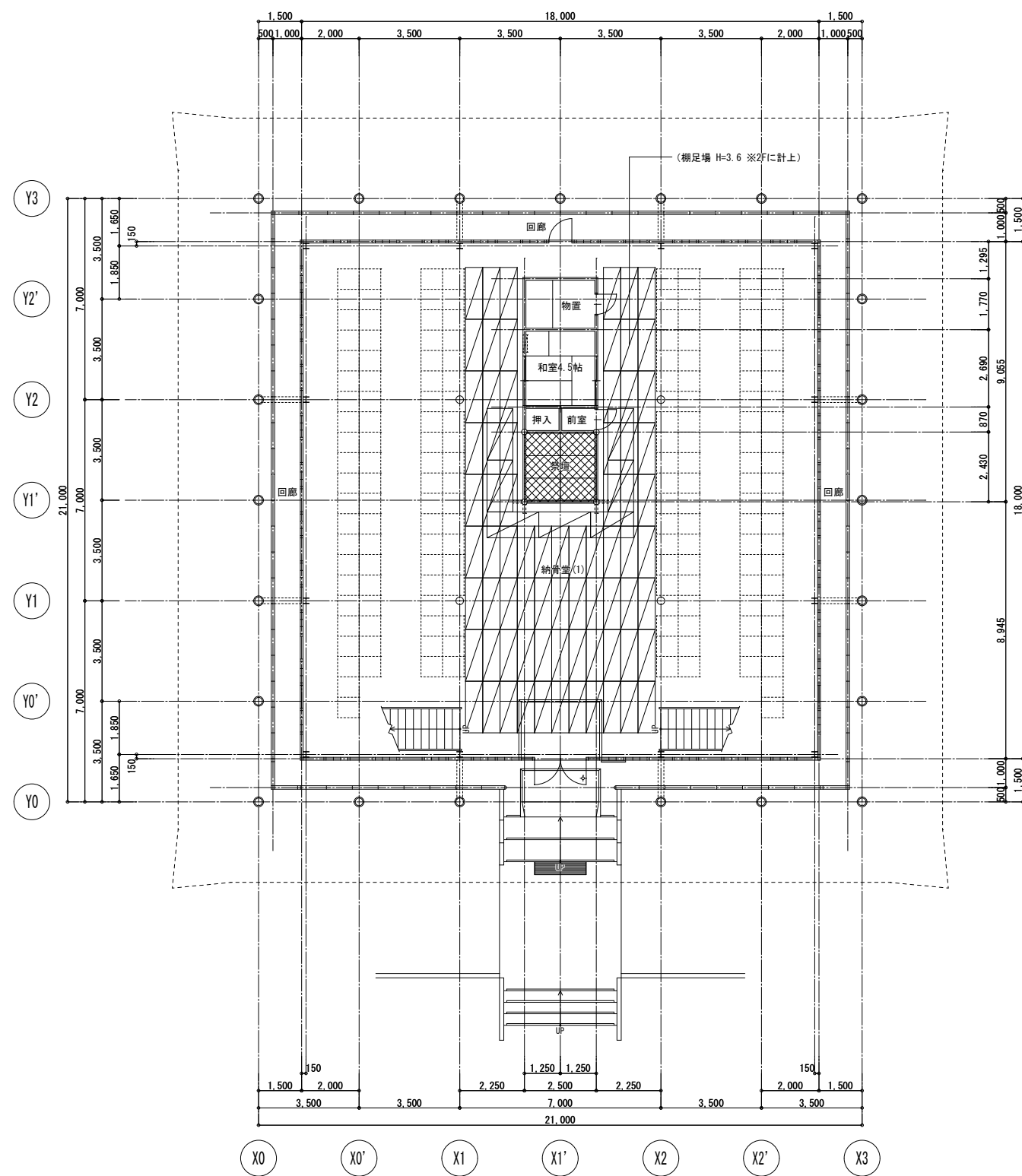


2階天井伏図（改修後）S=1/100

天井伏図仕上表（新設）			
Ⓐ	石膏ボードt9.5貼（不燃）の上、EP-G塗	Ⓓ	ケイ酸カルシウム板t6.0貼の上、EP-G塗
Ⓑ	鉄部（新設）：DP塗（1級）	Ⓔ	有孔ケイ酸カルシウム板t6.0貼の上、EP-G塗
Ⓒ	鉄部（既設）：下地調整R8種の上、DP塗		

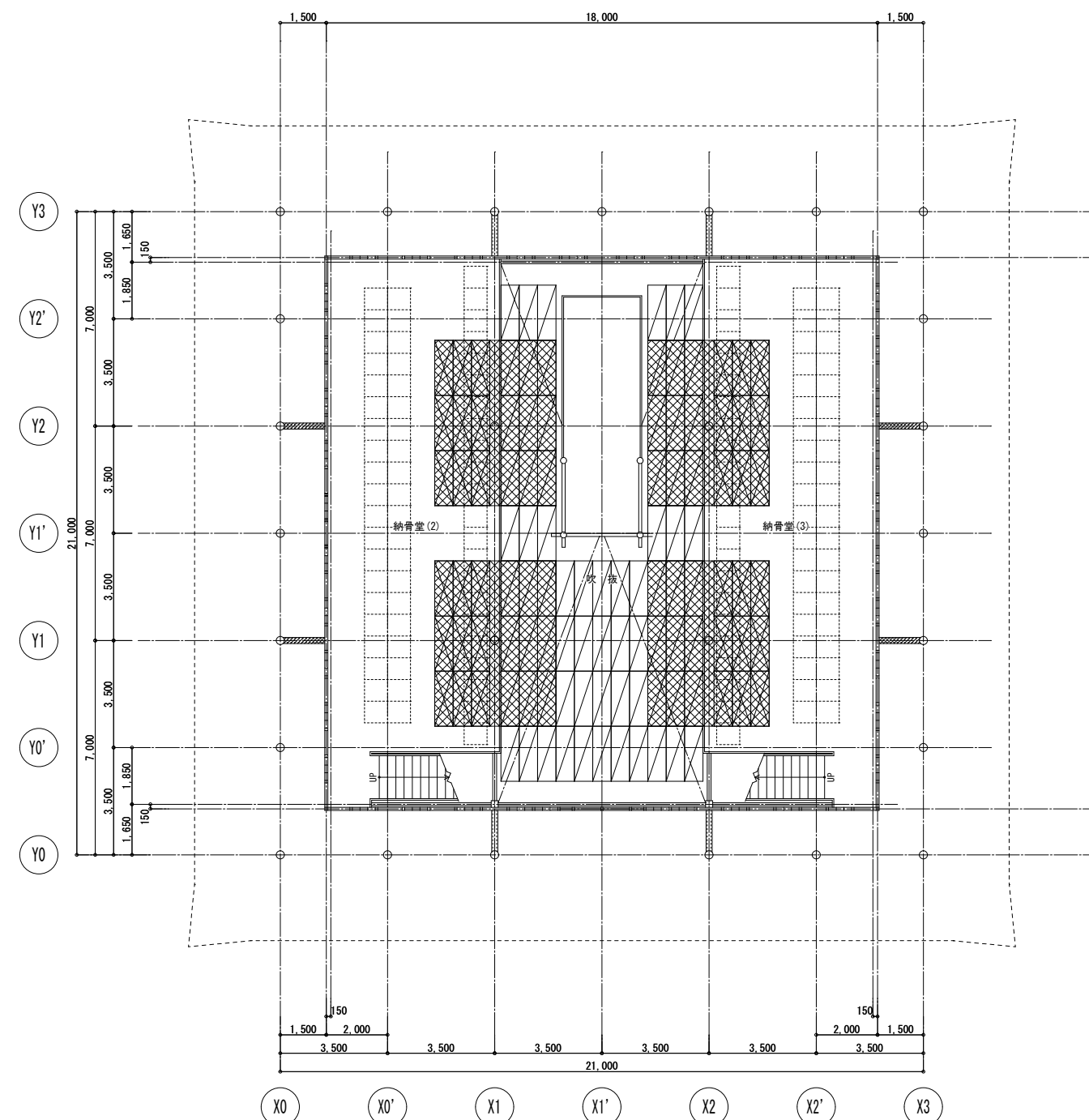
※鉄部は工場錆止め塗装（JIS K 5674）とし、現地タッチアップ1回とする。

工事名	岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事				N o .	(株) ADO建築設計事務所		
図面名	2階天井伏図（改修前、改修後）				A-20	1級建築士事務所（専）第12025号 1級建築士登録 第18228号 大宅博弘 〒750-0508 岡山市北区南宮西町5番6号 TEL. 086-244-0173		
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和6年12月	A-22			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検印	製図	



1階足場計画図 S=1/100

- 枠組本足場 W=900 (祭壇解体用)
脚立足場 並列 (祭壇解体用)



2階足場計画図 S=1/100

- 棚足場 H=1.8
棚足場 H=4.8
脚立足場 並列

※電気設備改修(照明器具)・機械設備工事(換気扇)は、
脚立を随時移動して行う一積算計上無し

工事名	岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事					No. A-22		(株)ADO建築設計事務所 1級建築士事務所 (株) 第12055号 1級建築士登録 第18228号 大石浩弘 〒750-0502 岡山県北北区南沢松西町5番6号 TEL 086-244-0173	
図面名	足場計画図 [参考図]					縮尺 (A1) 1/100 (A3) 1/200			
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課						令和6年12月	A-22		
	課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検印	製図	

既存建物耐震改修工事特記仕様書（２）

—§-4—柱補強工事要領—

4-1
共通事項
炭素繊維補強
は除く

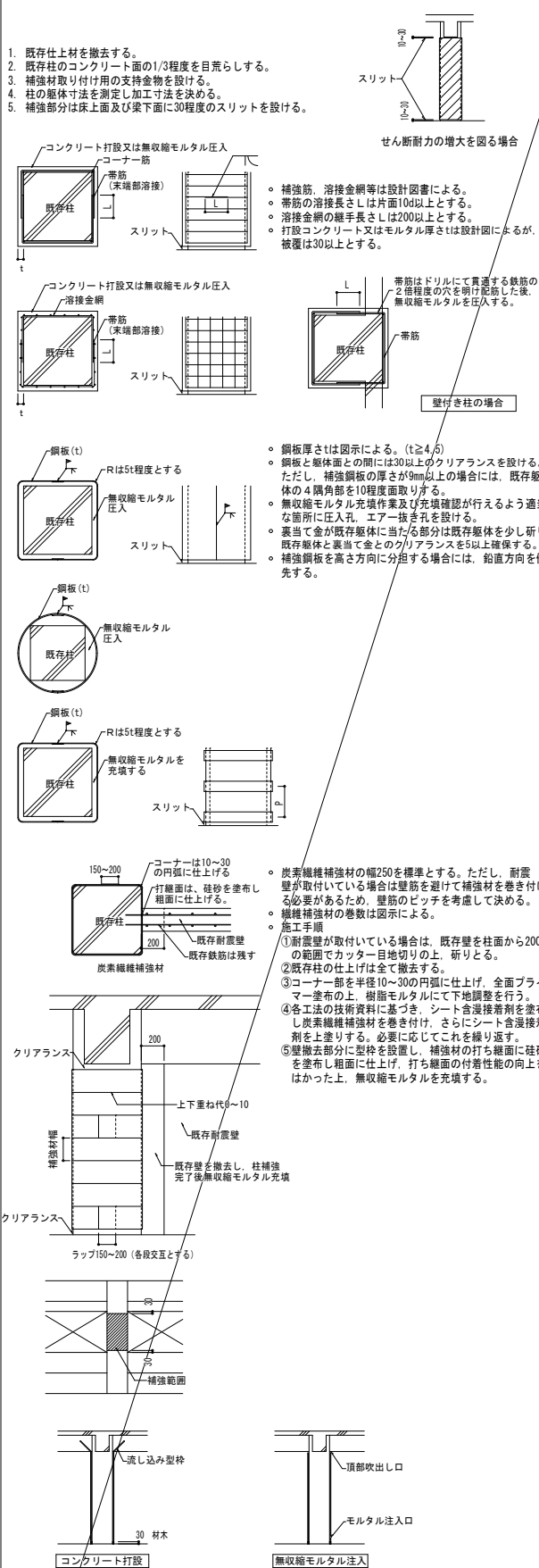
4-2
帶筋補強
溶接金網補強

4-3 鋼板補強

4-4 炭素纖維補強

4-5
腰壁,たれ壁

4-6
コンクリート打設
無収縮モルタル
注入



—§ 5—梁補強工事要領—

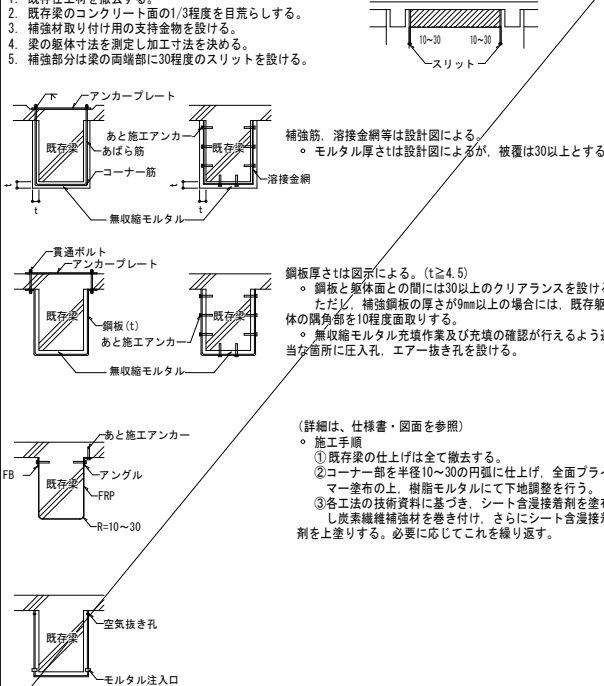
5-1
共通事項
(炭素繊維補強
は除く)

5-2
あばら筋補強
溶接金網補強

5-3 鋼板補強

5-4 炭素纖維補強

5-5
無収縮モルタル
注入



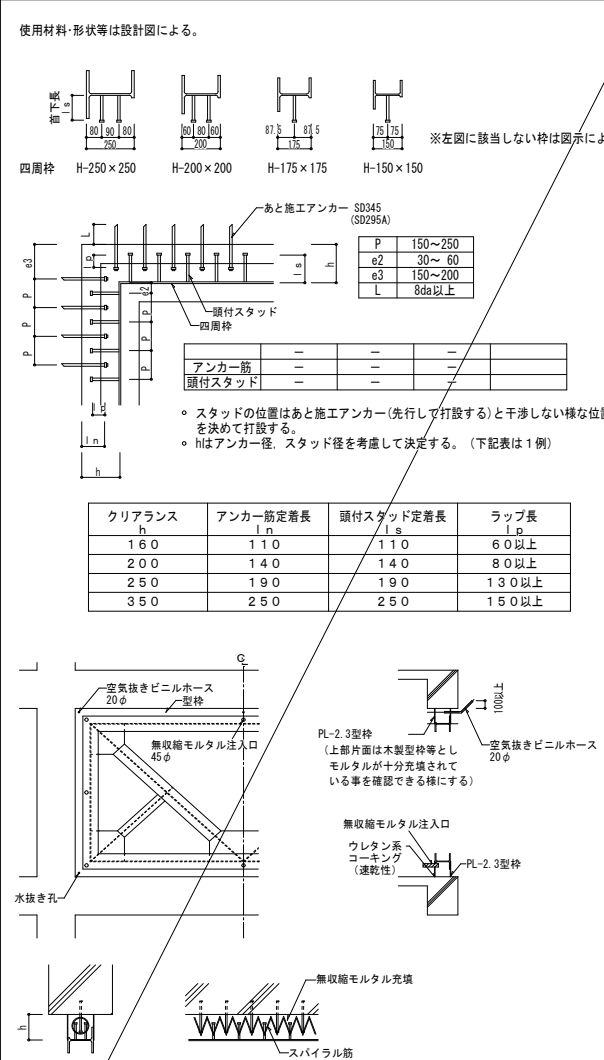
—§-6—鉄骨ブレース補強要領—

6-1
使用材料
形状

6-3
アンカー筋
頭付スタッド
ピッチ

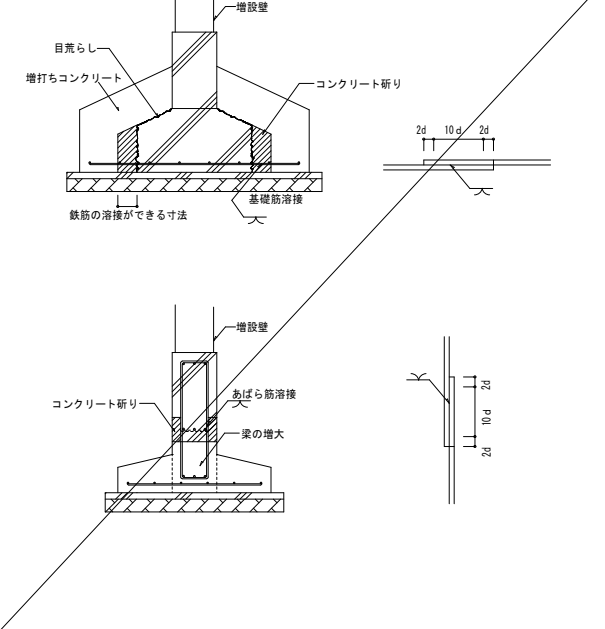
6-4
無収縮モルタル
注入

6-5 割裂補強



§ 7 基礎の補強

7-1 基礎底版の拡張



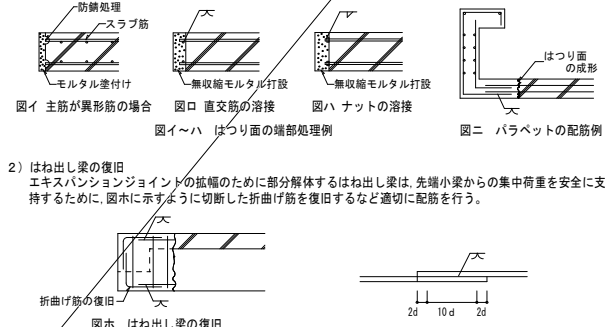
8-1 既存部分の撤去と事前処理

8-2 構造体の復旧

—§8—エキスパンションの拡幅補強—

- 1) 構造体の撤去
エキスパンションジョイントの脇施工に伴い構造体の一部を撤去する場合には、ブレーカー、電気ピック、圧碎機、コンクリートカッターを併用して、既設部に損傷を与えないよう慎重に行う。
残存させる既存施設には損傷を与えないよう、慎重に構造体の解体を行う。
- 2) 仕上材の撤去
構造体上面のプラスチック、モルタル、塗装等の仕上材を部分に除去する場合には、周辺の仕上材に損傷を与えないよう十分に注意する。望み仕上り又はこれに準じる仕上材を撤去する場合には、カッターで切込みを付けてから撤去することが望ましい。
- 3) 既存コンクリートの欠損部の処理
部分撤去に要する部分の既存コンクリート打根面は、十分に目視を行い、復旧部分の一体化を図る。
既存コンクリートに欠損した箇所が大きい場合には、手きき後コンクリート等の充填が可能となる状態に形成する。粉塵及び砂り等は圧搾空気、吸引機等で十分に清掃し、コンクリート打根前には十分水洗いをし、打打ちコンクリートの一体化に配慮する。

2) はね出し梁の復旧
エキスパンションジョイントの拡幅のために部分解体するはね出し梁は、先端小梁からの集中荷重を安全に支持するために、図木に示すように切断した折曲げ筋を復旧するなど適切に配筋を行う。



§ 9 鉄骨造補強

9-1
標準仕様

9-2
改修箇所
・印で示す

- | | |
|------------|---|
| 1 架構全体の改修 | |
| 1-1 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 軸組構面の改修 <ul style="list-style-type: none"> ・ 筋かいの新設 ・ 耐震間柱の新設 ○ その他（大梁の新設） 1-2 水平構面の改修 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水平筋かいの新設 ・ その他（） |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震フレームの新設 ○ 柱・梁接合部の方杖補強 |
| 2) 部材断面の改修 | |
| 2-1 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 柱の耐力増大 <ul style="list-style-type: none"> ・ コンクリートによる補強 ・ 日字形断面柱の補強 2-2 梁の耐力増大 <ul style="list-style-type: none"> ・ 梁フランジ溶接部の補強 ・ 梁ウェブの補強 2-3 トラス梁の耐力増大 <ul style="list-style-type: none"> ・ 部材断面の増大 ・ トラス構面の内産屈の補剛 ・ その他（） 2-4 筋かいの耐力増大 <ul style="list-style-type: none"> ・ 引張筋かいの部材交換 ・ ボルト接合部の補強 ・ その他（） |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ カバプレート、形鋼による補強 ・ その他（） ・ 梁フランジの補強 ・ その他（） ・ トラス構面の外産屈の補剛 ・ トラス端妻仕口補強 ・ 圧縮筋かいの部材交換 ・ ガセットプレートの補強 |
| 3) 柱脚の改修 | |
| 3-1 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 鋼板巻きによる補強 ・ 隅角部柱脚の補強 ・ その他（） |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 中央部柱脚の補強 |
| 3-2 | <ul style="list-style-type: none"> ・ R C根巻による補強 ・ 接合部アンカーによる補強 ・ その他（） |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存主筋と接合する補強 |
| 3-3 | <ul style="list-style-type: none"> ・ R C柱とS梁の接合部補強 ・ アンカーボルトの増設 ・ アンカーボルトのはしあき補強 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 貫通ボルトによる補強 ・ その他（） |
| 4) 柱頭の改修 | |
| 4-1 | <ul style="list-style-type: none"> ・ R C柱頂部のS柱・梁接合部補強 ・ その他（） |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ R C柱頂部とS梁の接合部の補強 |
| 5) その他 | |
| 5-1 | <ul style="list-style-type: none"> ・ エキスパンションジョイントの改修 ・ 受け材の設置 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ その他（） |

9-3 現場作業要領

9-4 現場溶接検査

- 2) 補強する部位は塗料、コンクリート、耐火被覆、その他異物を除去する。
 - 3) 高力ボルト接合
高力ボルトは高力六角ボルトまたはトラス形高力ボルトとする。
孔明けは電気ドリルを原則とするが、やむをえずガス加工による場合はリマ返しを行う。
摩擦面処理は、グラインダー掛けを原則とし、さび発生状態を標準とする。
 - 4) 溶接接合
溶接方法は被覆アーク溶接及びガスシールドアーク溶接とする。
完全溶込溶接の端部はエンドブレイクとする。すみ肉溶接の端部は回し溶接を行う。
溶接と高力ボルト接合が併用される場合は高力ボルト接合を先行する。
 - 4) 接合部の調査
高力ボルトの検査は J A S S 6 6 節による。
溶接部の検査は完全溶込溶接は全数を超音波探傷試験をする。
すみ肉溶接および部分溶接は全数目視検査とする。
 - 5) 上向き溶接技能者の資格要件は J I S Z 3801 被覆アーク溶接 N-2 0 技能検定合格者とする
- 1) 第三者による全数目視検査のうえ、全数浸透探傷試験を行うこと。

工事名	岡山市灘崎納骨堂耐震改修ほか工事				No.		(株)ADO建築設計事務所 1級建築士事務所 (機) 第1205号 1級建築士登録 第118234号 大石雅弘 〒700-0926 岡山県北區高倉町西野2番5号 TEL 086-244-0173
図面名	既存建物耐震改修工事設計仕様書 2				図次	S-02	
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和6年12月	S-11		
課長	課長補佐	係長	課員	担当書	承認	機関	
							製図

鉄骨構造工作標準図

1-1
使用材料1-2
鉄骨加工業者1-3
その他2-1
略号3-1
H T B3-2
H T Bのピッチ3-3
形鋼のゲージ

§ 1 一般事項

・使用材料は 構造図による。

・鉄骨加工業者は 社団法人全国鐵構工業協会（J S F A）加盟の大匠認定取得の工場とする。

延床面積	500㎡以下	3000㎡以下	制限なし	
グレード	Jグレード	Rグレード	Mグレード	Hグレード
種類	400N	490Nまで	490Nまで	520Nまで
板厚	16mm以下	25mm以下	40mm以下	60mm以下
通しダイヤフラム	490Nまで 22mm以下	32mm以下	50mm以下	70mm以下
ベースプレート	490Nまで 50mm以下	50mm以下	制限なし	制限なし

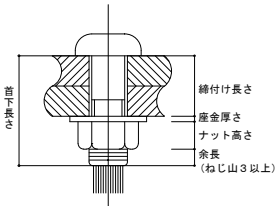
§ 2 共通事項

・A B	アンカーボルト	・B H	組立てH形鋼
・B R L	ベースプレート	・C H R L	チェッカープレート
・D F R L	ダイヤフラム	・F B	フラットバー
・F R L	フランジプレート	・G R L	ガセットプレート
・H T B	高力ボルト	・R L	リブプレート
・S R L	スプライスプレート	・T B	ターンバックル
・W R L	ウェブプレート	・W R L	溶接記号（§ 4参照）

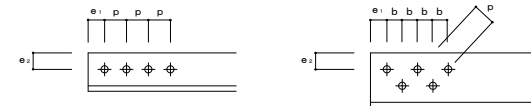
§ 3 ボルト接合

ボルトの所要長さ

ねじの呼び	締付け長さに加える長さ	
	F10 T	S10 T
M16	30mm	25mm
M20	35mm	30mm
M22	40mm	35mm
M24	45mm	40mm



- (a) 特記以外は全てF10T又はS10T（特殊高力ボルト、右図）とする。
- (b) 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない。
- (c) ボルトの接合面の処理は締付け摩擦面の母材においては平グラインダー掛け、スプライスプレートにおいてはショット掛けを行ない、黒皮を除去して一様に赤さびを生じさせる。又、締付けは一次締付け後マーキングを入れて本締めをする。



呼び径	M16	M20	M22	M24	
孔径	18	22	24	26	
ピッチ	標準	60	60	60	70
	最小	40	50	55	60
はしあき	e ₁	40	40 (50)	40 (55)	50 (60)
へりあき	e ₂	22	26	28	32

・（ ）内はボルトが応力方向に3本以上並ばない場合を示す。

手作業によるガス切断を行なう場合はへりあきeは上表の数値+5とする。

A		B		C		D	
A or B	g ₁	g ₂	最大軸径	B	g ₁	g ₂	最大軸径
* * 50	30		16	* * 100	60		16
60	35		16	125	75		16
65	35		20	150	90		22
70	40		20	175	105		22
75	40		22	200	120		24
80	45		22	250	150		24
90	50		24	* 300	150	40	24
100	55		24	350	140	70	24
125	50	35	24	400	140	90	24
130	50	40	24				
150	55	55	24				
175	60	70	24				
200	60	90	24				

・B = 300 は千鳥打ちとする。

・ * 印のgはgおよび最大軸径の値は強度上支障がないとき最小端部距離の規定にかかわらず用いることができる。

4-1
隅肉溶接4-2
完全溶込み溶接
(突合せ溶接)4-3
溶接部の検査

§ 4 溶接接合

記号 W ₁	t ₁	S	脚長 (S)	0 ≤ S' - S ≤ 3	S = 設計サイズ	S' = 実際サイズ														
余盛 (0.1S+1) 以下																				
<table><tr><th>t₁ : t₂ と t₂ の小さい方</th><td>6以下</td><td>9</td><td>12</td><td>14</td><td>16</td><td>19</td></tr><tr><th>S ≥ 0.7 t</th><td>t</td><td>7</td><td>9</td><td>10</td><td>12</td><td>14</td></tr></table>							t ₁ : t ₂ と t ₂ の小さい方	6以下	9	12	14	16	19	S ≥ 0.7 t	t	7	9	10	12	14
t ₁ : t ₂ と t ₂ の小さい方	6以下	9	12	14	16	19														
S ≥ 0.7 t	t	7	9	10	12	14														

- 1) 板厚の異なる場合
- 2) エンドタブ
- 両端に継手と同じ形状のエンドタブを取り付ける。
長さ (1) は3.5以上かつ薄い方の板厚の2倍以上とする。
- 3) 開先加工
- スカーラップの開先加工
- ノンスカーラップの開先加工

- ・スカーラップを設ける場合、スカーラップの内弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工する。
γ1は3.5mm程度、γ2は1.0mm程度とする。
なお複合円は滑らかに仕上げること。
- ・突き合わせ溶接部以外のスカーラップはγ=2.5程度とする。

記号	形状	適用板厚	寸法	
			手溶接	半自動溶接
W ₁ MC-BL-B1 GC-BL-B1		6 < t ≤ 12	g 7 +2 -2	g 6 +2 -2
		12 < t ≤ 40	α ₁ ≥ 45°	α ₁ ≥ 45°
W ₁ MC-BL-2 GC-BL-2		6 < t ≤ 19	g 0 +2 -0	g 0 +2 -0
		19 < t ≤ 40	α ₁ ≥ 45°	α ₁ ≥ 45°
W ₁ MC-BK-2 GC-BK-2		19 < t ≤ 40	g 0 +2 -0	g 0 +2 -0
		19 < t ≤ 40	α ₁ ≥ 45°	α ₁ ≥ 45°
W ₁ MC-B1-B1 GC-B1-B1		t ≤ 6	g 5 ± 1	t ± 1
		t ≤ 6	α ₁ ≥ 60°	α ₁ ≥ 60°

MC … は手溶接 GC … は半自動溶接の記号を示す。

耐震改修工事の場合

- 1 外観及び表面欠陥の検査は原則として目視により全ての溶接線に対して行うこと。
- 2 柱、梁のフランジ突き合わせ溶接部の内部欠陥の検査は原則として超音波探傷試験による。
- 3 検査規程及び合否判定は日本建築学会編「鋼構造建築接合部の超音波探傷検査基準」による。
- 4 工場溶接に対し第三者機関による検査箇所数は100%行う（社内検査も100%行うこと）。
- 5 現場溶接の場合は第三者機関による検査を100%行う。
- 6 不合格と判定された溶接部は全て修正をすること。

5-1
継手部5-2
小梁仕口

剛接合

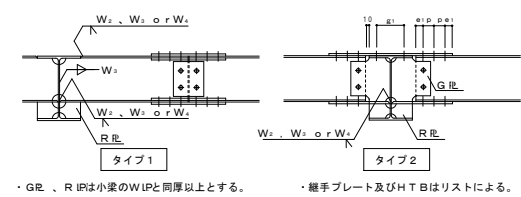
6-1
勾配屋根6-2
梁通し6-3
雑仕様6-4
柱通し6-5
現場溶接継手

§ 5 継手

フィラープレート

FRL、WRL面で段差が1をこえる場合は、フィラープレートを入れる。

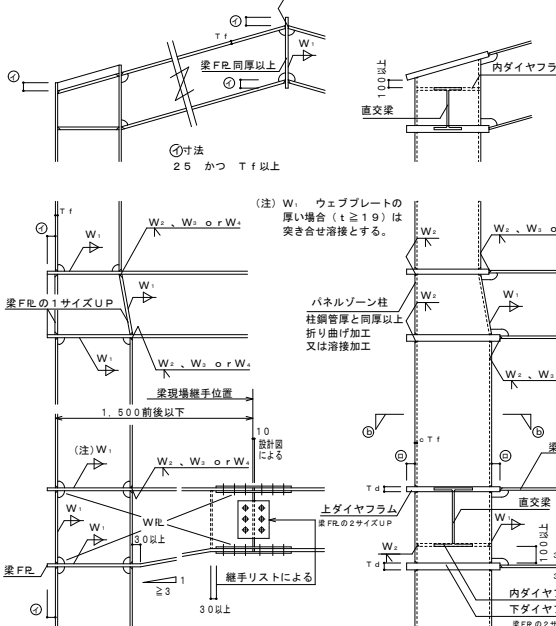
・ピン接合は小梁仕口リストによる。



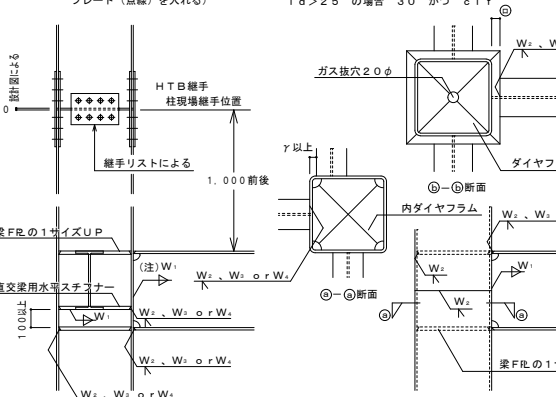
・GR、RLは小梁のWIPと同厚以上とする。・継手プレート及びH T Bはリストによる。

§ 6 柱梁接合部および継手

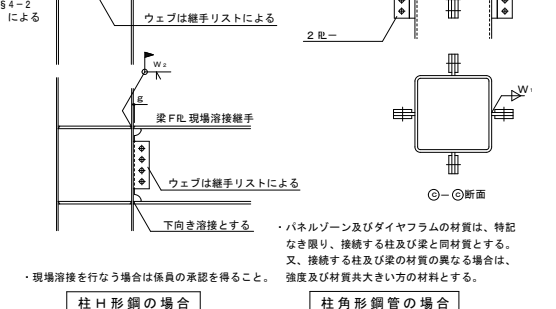
(溶接記号は4-1、4-2に対応)



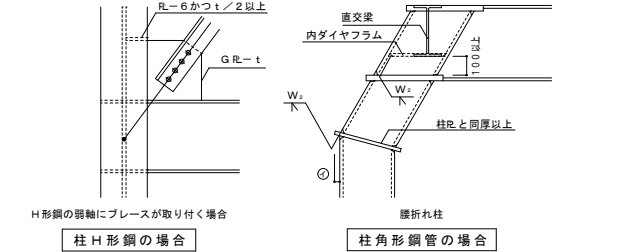
ハンチ部FRL折曲げ規定 (勾配が1/3をこえる場合は補強プレート(点線)を入れる)



MC … は手溶接 GC … は半自動溶接の記号を示す。

6-5
現場溶接継手

・パネルゾーン及びダイヤフラムの材質は、特記なき限り、接続する柱及び梁と同材質とする。又、接続する柱及び梁の材質の異なる場合は、強度及び材質共さい方の材料とする。

6-6
その他7-1
一般柱脚7-2
認定柱脚8-1
貫通補強8-2
デッキプレート8-3
スタッドジベル8-4
壁筋の溶接

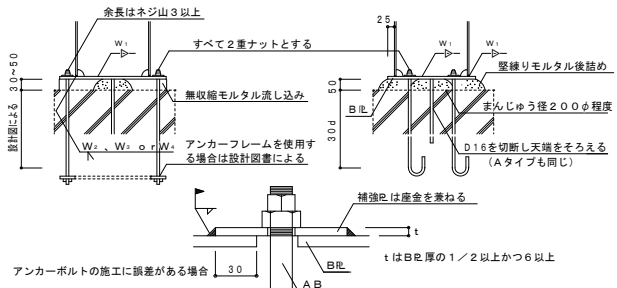
柱H形鋼の場合

柱角形鋼管の場合

§ 7 柱脚

Aタイプ (主柱)

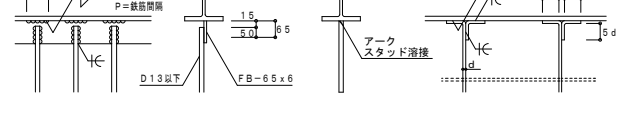
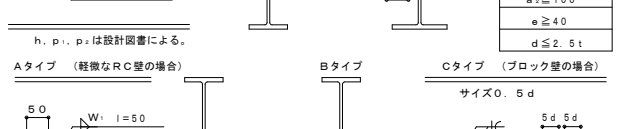
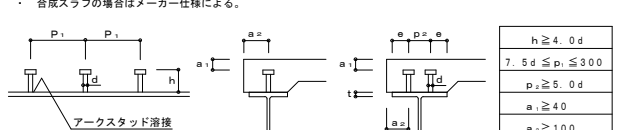
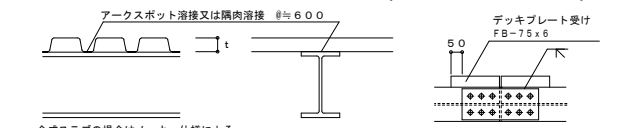
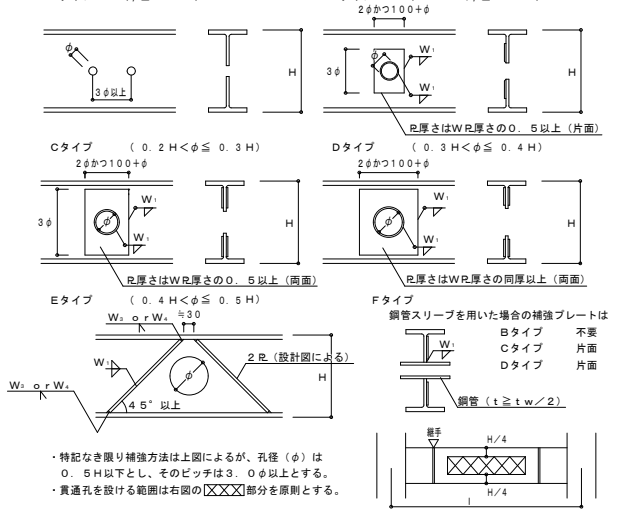
Bタイプ (間柱等二次部材)



§ 8 その他

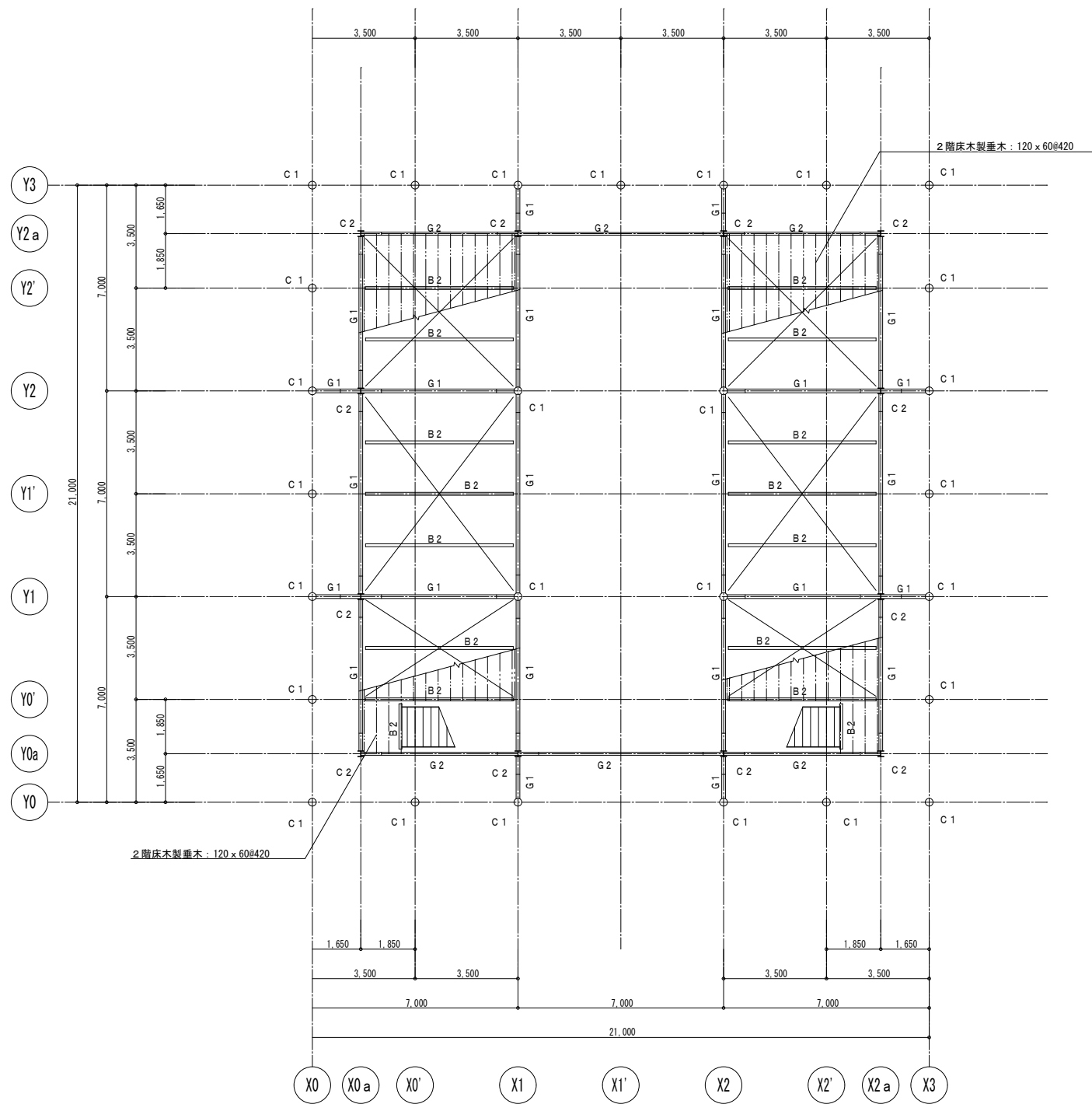
Aタイプ (φ ≤ 0.1 H)

Bタイプ (0.1 H < φ ≤ 0.2 H)



工事名	岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事	N o.	(株) ADO建築設計事務所
図面名	鉄骨構造工作標準図	S-03	1級建築士事務所 (株) 第12055号 1級建築士事務所 第182236号 大谷啓弘 〒760-0008 岡山市北区南河内松西町5番6号 TEL 089-244-0173
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和6年12月	S-11	
課長	課長補佐	係長	課員
			担当者
			承認
			検閲
			製図

現 況 図



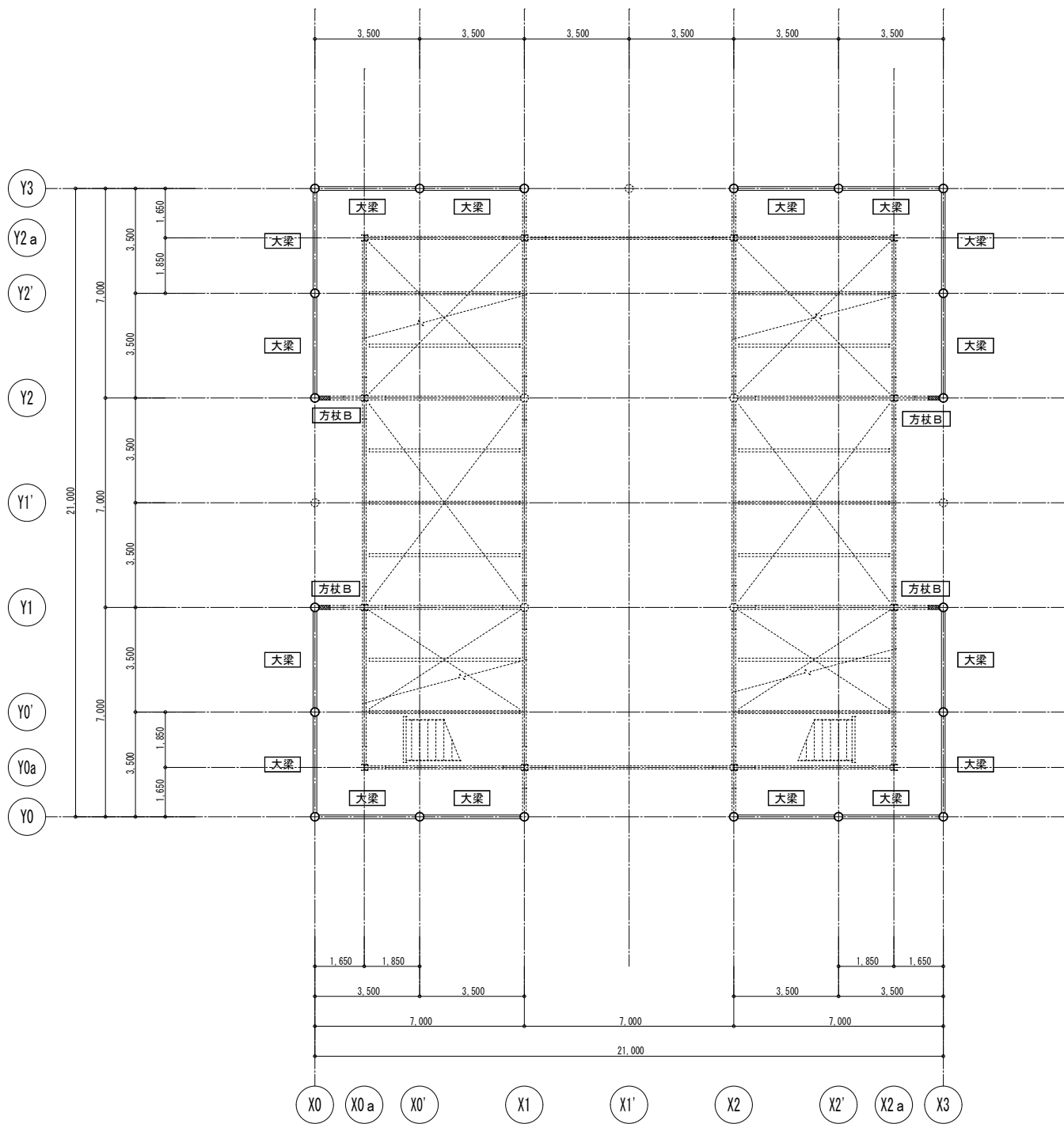
1階柱2階梁伏図 1/100

※ 特記なきブレースは、V2とする。

<既設鉄骨部材リスト>

C 1	φ 267.4 x t 6.0	B 1	H-300x150x6.5x 9
C 2	H-200x200x8x12	B 2	H-200x100x5.5x 8
		B 3	2C-100 x 50 x 20 x 3.2
G 1	H-250x125x 6x 9	V 1	L-50 x 50 x 6 (越屋根 ブレース)
G 2	H-200x100x5.5x 8	V 2	I-φ 16 (2・R階水平ブレース)
CG1	H-200x100x5.5x 8		

補 強 図

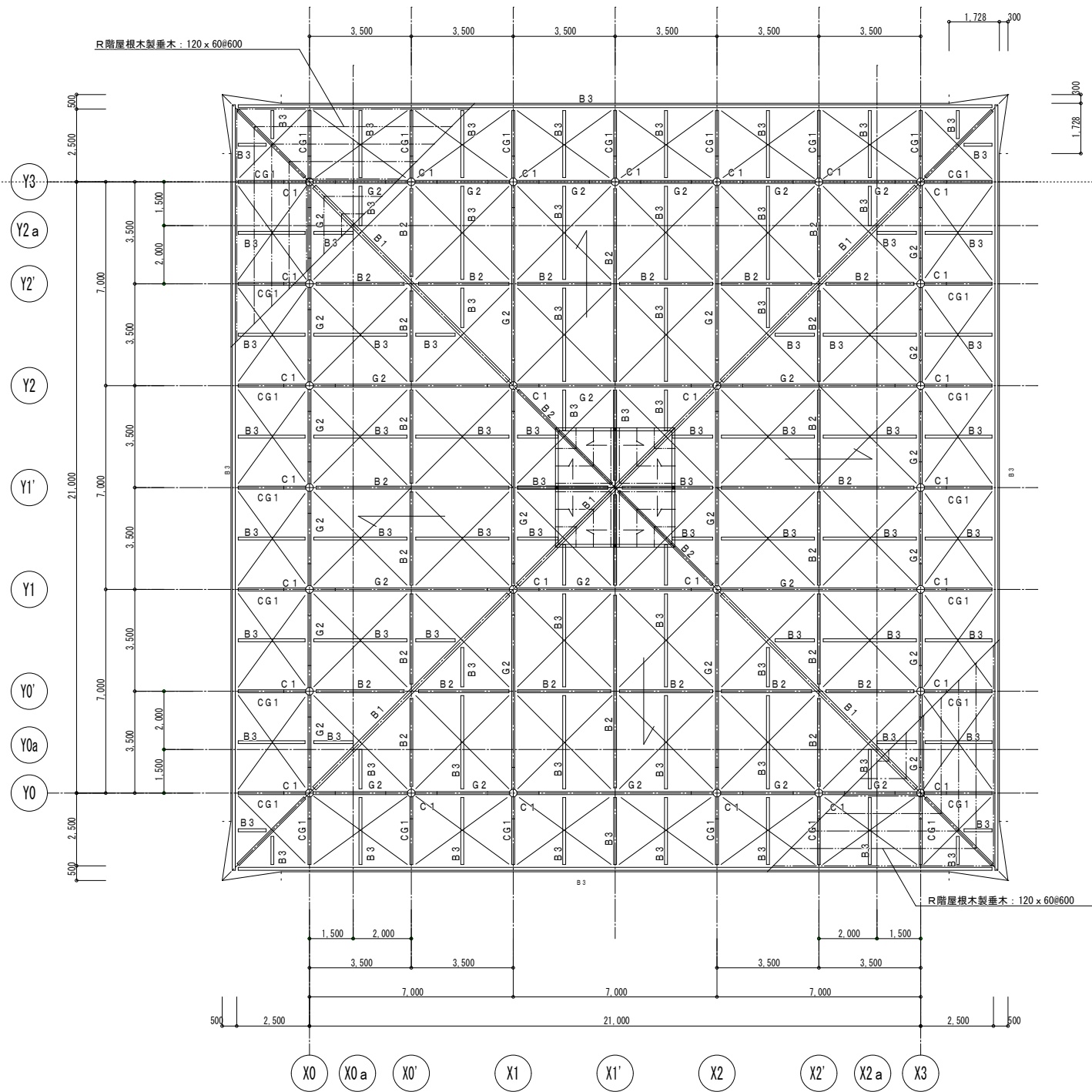


1階柱2階梁伏図 1/100

凡 例	合 計	内 容
大梁	16ヶ所	大梁新設 (剛接合) H-250x125x6x9
方柱B	4ヶ所	方柱補強 2[-100x50x5x7.5]

工事名	岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事					N o.	(株) ADO建築設計事務所		
図面名	補強位置図 1 (1階柱2階梁伏図)					S-04	1級建築士事務所 (株) ADO 第11005号 1級建築士事務所 第110236号 大分県 〒760-0000		
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和6年12月		S-11	岡山市北区南宮崎西町5番6号 TEL. 099-244-0173		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検印	製図		

現 況 図



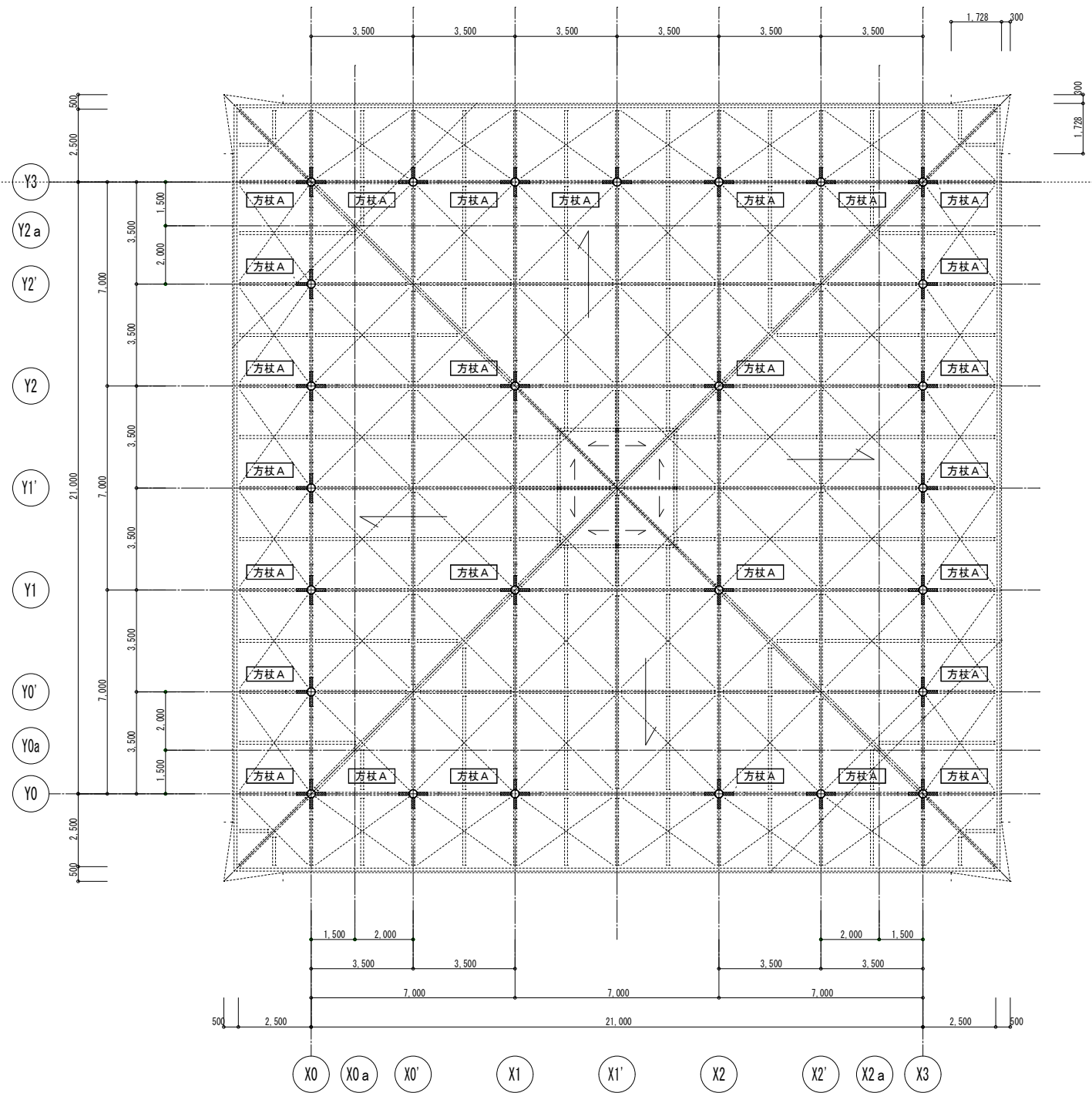
2階柱R階梁伏図 1/100

※ 特記なきブレースは、V2とする。

<既設鉄骨部材リスト>

C 1	φ 267.4 x t 6.0	B 1	H-300x150x6.5x 9
C 2	H-200x200x8x12	B 2	H-200x100x5.5x 8
		B 3	2C-100 x 50 x 20 x 3.2
G 1	H-250x125x 6x 9	V 1	L-50 x 50 x 6 (越屋根ブレース)
G 2	H-200x100x5.5x 8	V 2	I-φ 16 (2・R階水平ブレース)
CG1	H-200x100x5.5x 8		

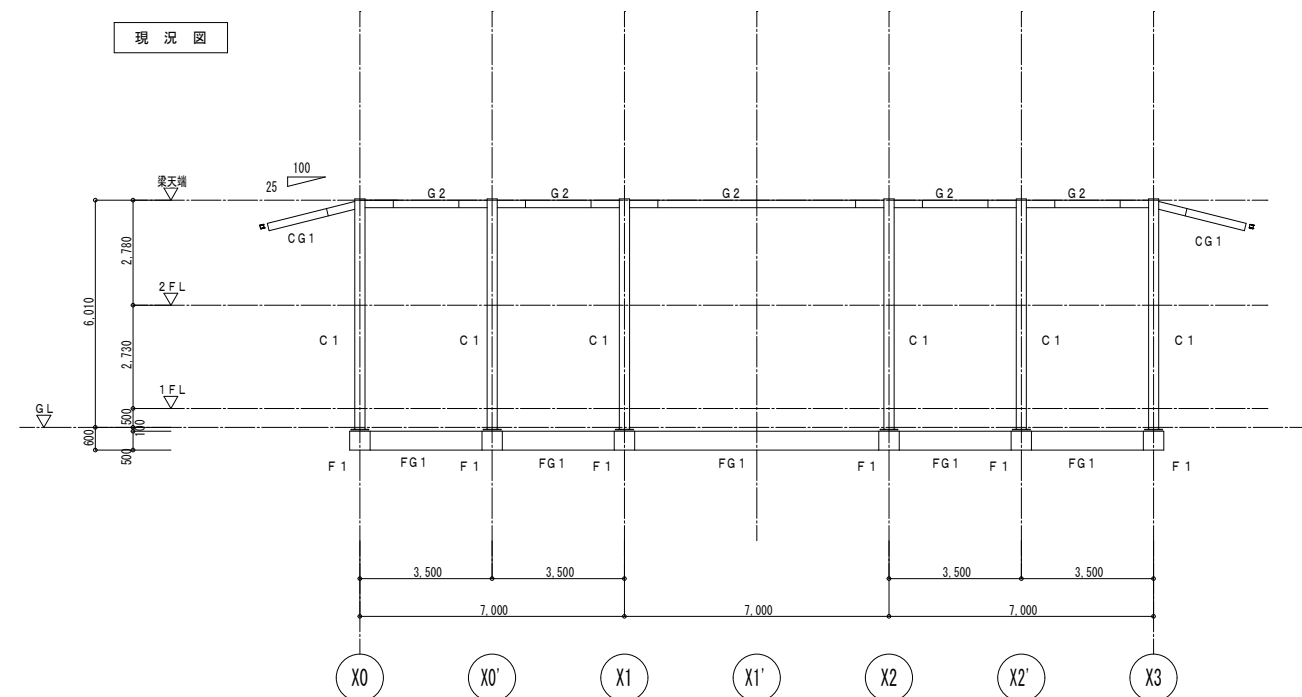
補 強 図



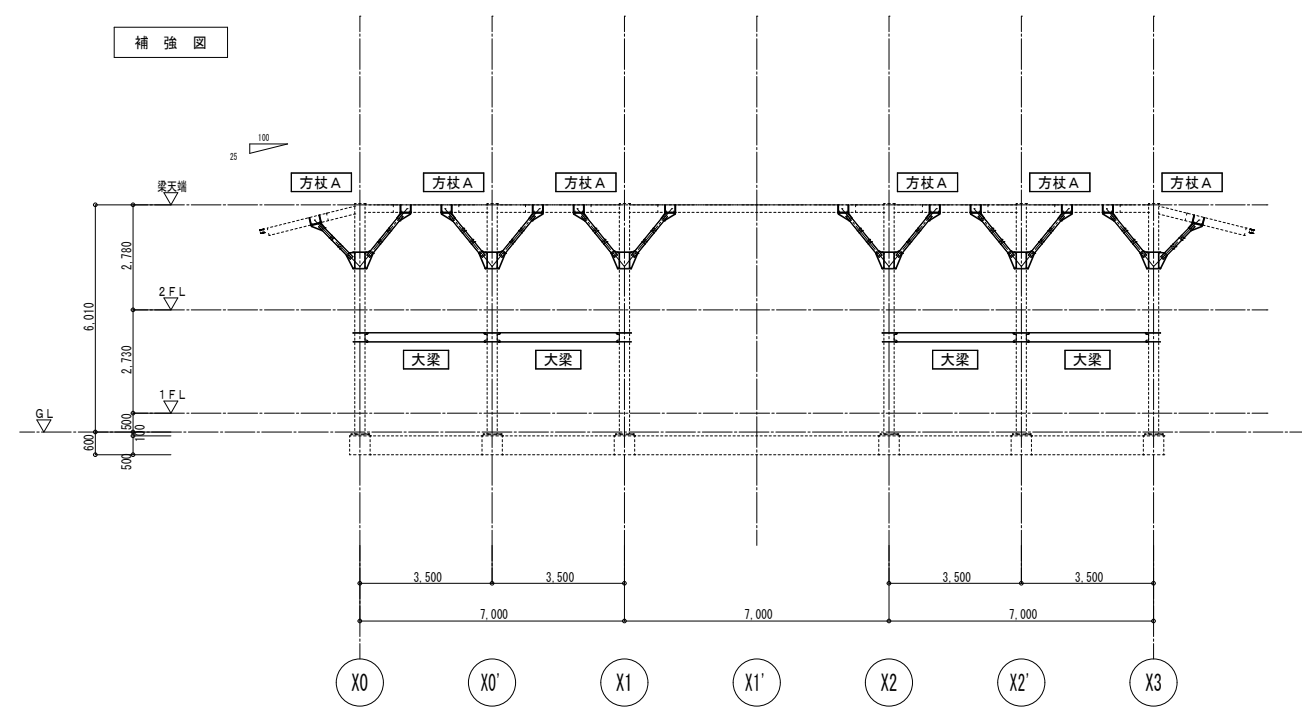
2階柱R階梁伏図 1/100

凡 例	合 計	内 容
方杖A	27ヶ所	方杖補強 2[-100x50x5x7.5]

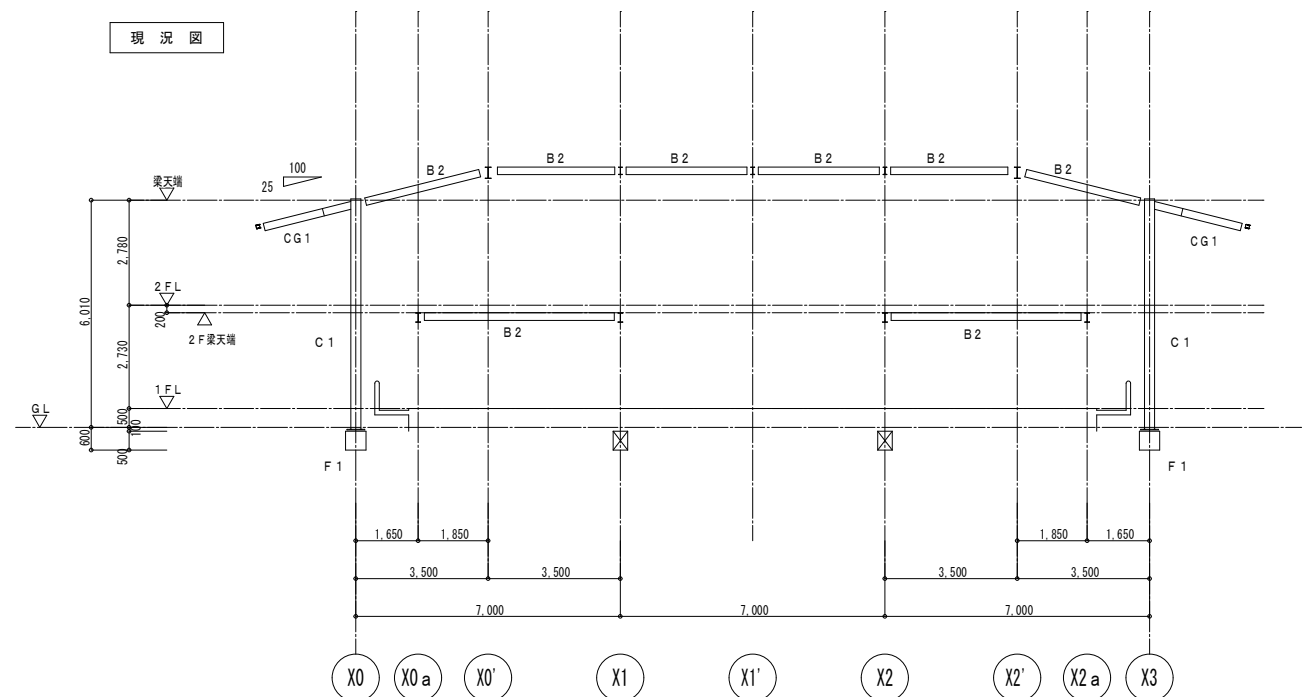
工事名	岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事					N o .	(株) ADO建築設計事務所		
図面名	補強位置図2 (2階柱R階梁伏図)					S-05	1級建築士事務所 (株) 第12025号 1級建築士事務所 第118226号 大宅博弘 〒760-0505 岡山市北区南宮西町5番6号 TEL. 086-244-0173		
岡山市	都市整備局	住宅・建設部	公共建築課	令和6年12月		S-11			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検印	製図		



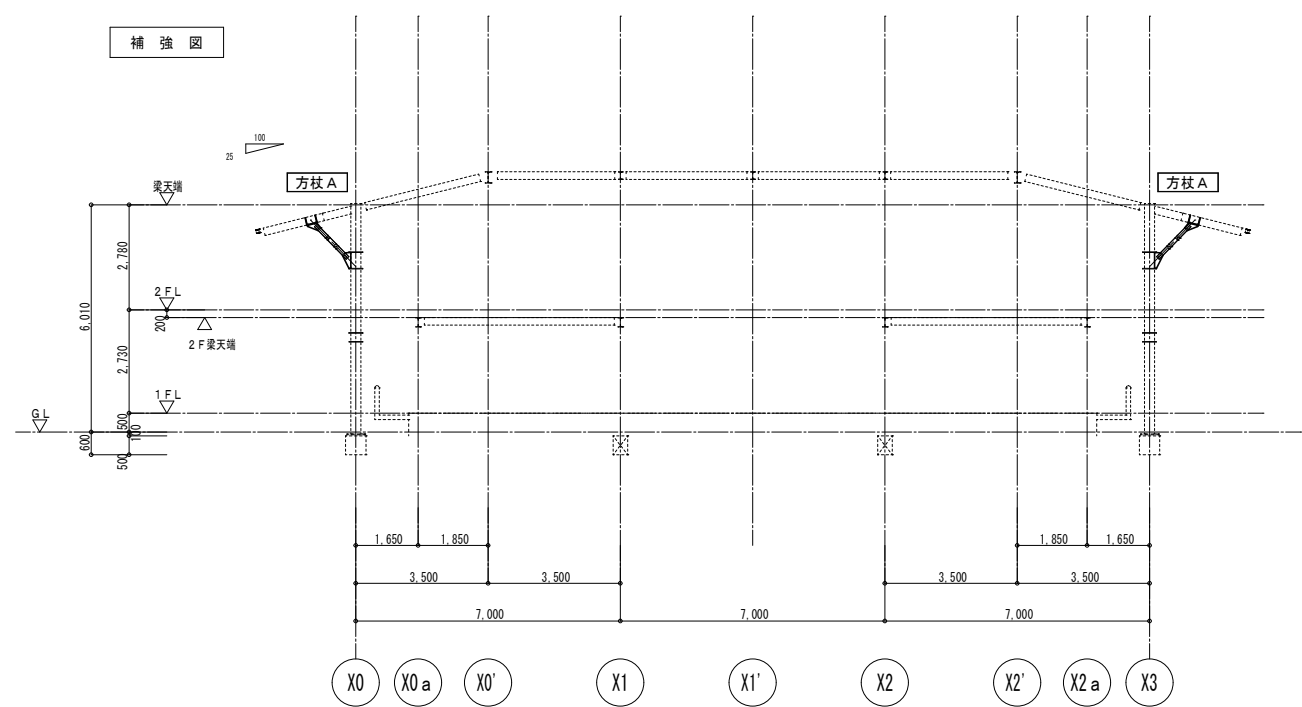
Y O 通り軸組図 1/100



Y O 通り軸組図 1/100

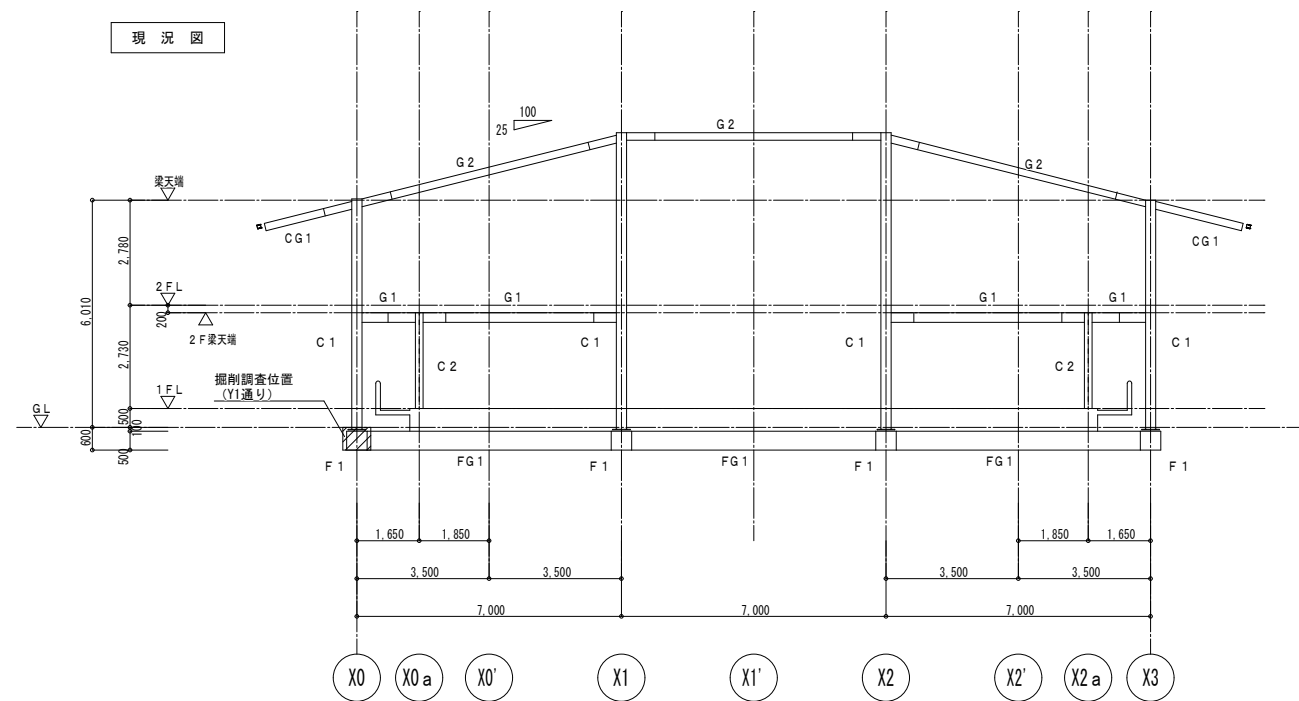


Y O'・Y 2' 通り軸組図 1/100

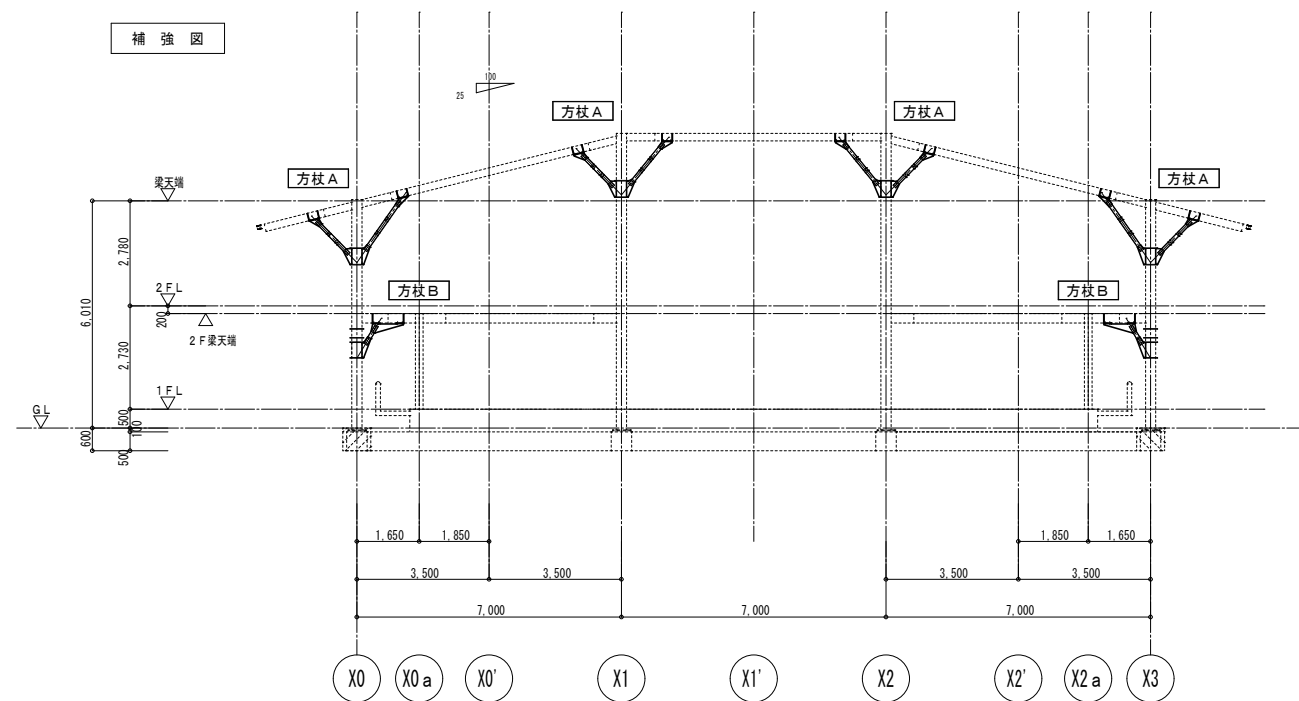


Y O'・Y 2' 通り軸組図 1/100

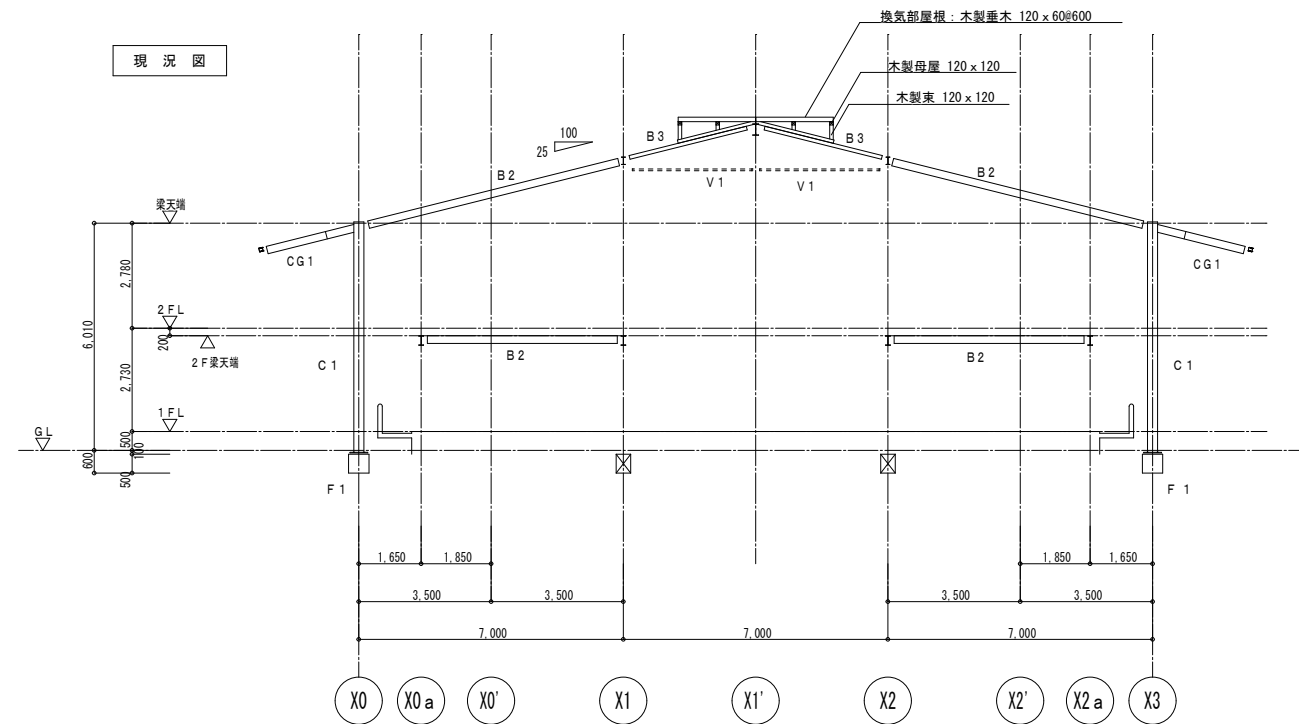
工事名					岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事		No.		(株) ADO 建築設計事務所		
図面名					補強位置図 3 (Y0・Y0'・Y2' 通り軸組図)		S-06		建築設計事務所 (株) 第12055号 建築設計士登録 第182236号 大石雅弘 〒760-0326 岡山県北条市北条南町5番6号 TEL 086-244-0173		
岡山市					都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和6年12月		S-11		
課長		課長補佐		係長		課員		担当書		承認	
										検印	
										製図	



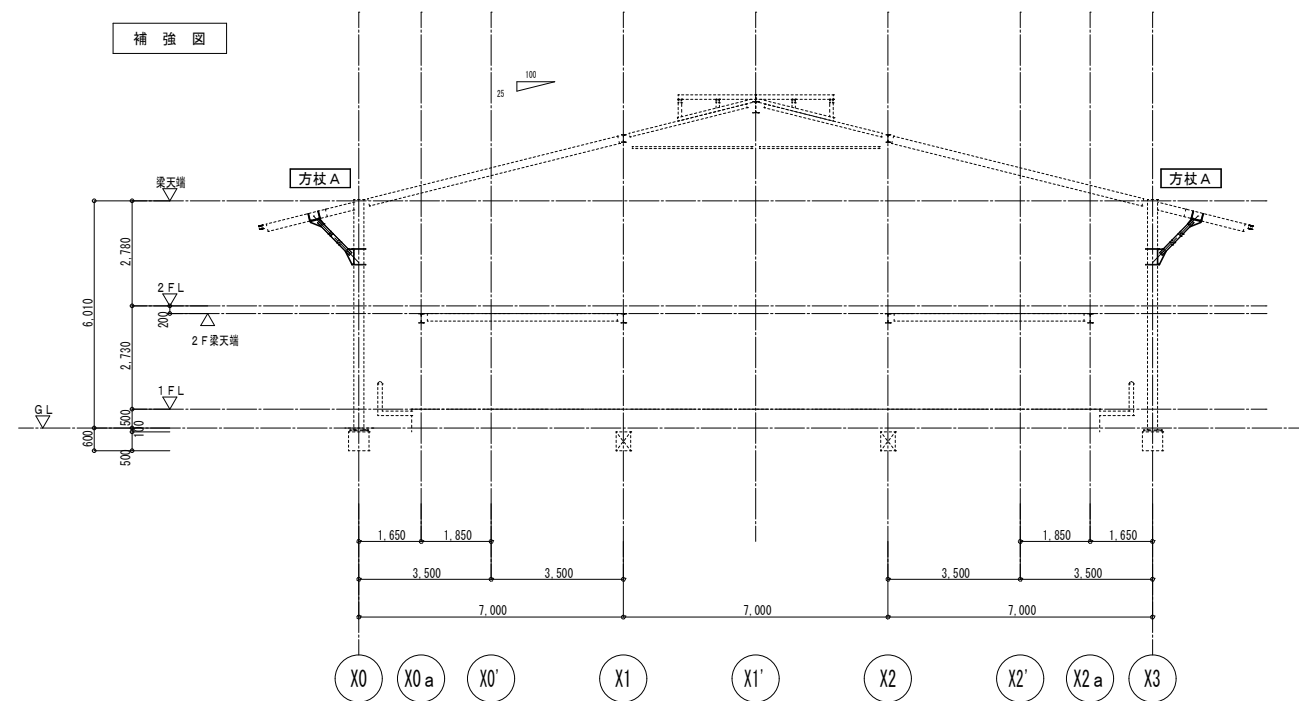
Y 1・Y 2 通り軸組図 1/100



Y 1・Y 2 通り軸組図 1/100

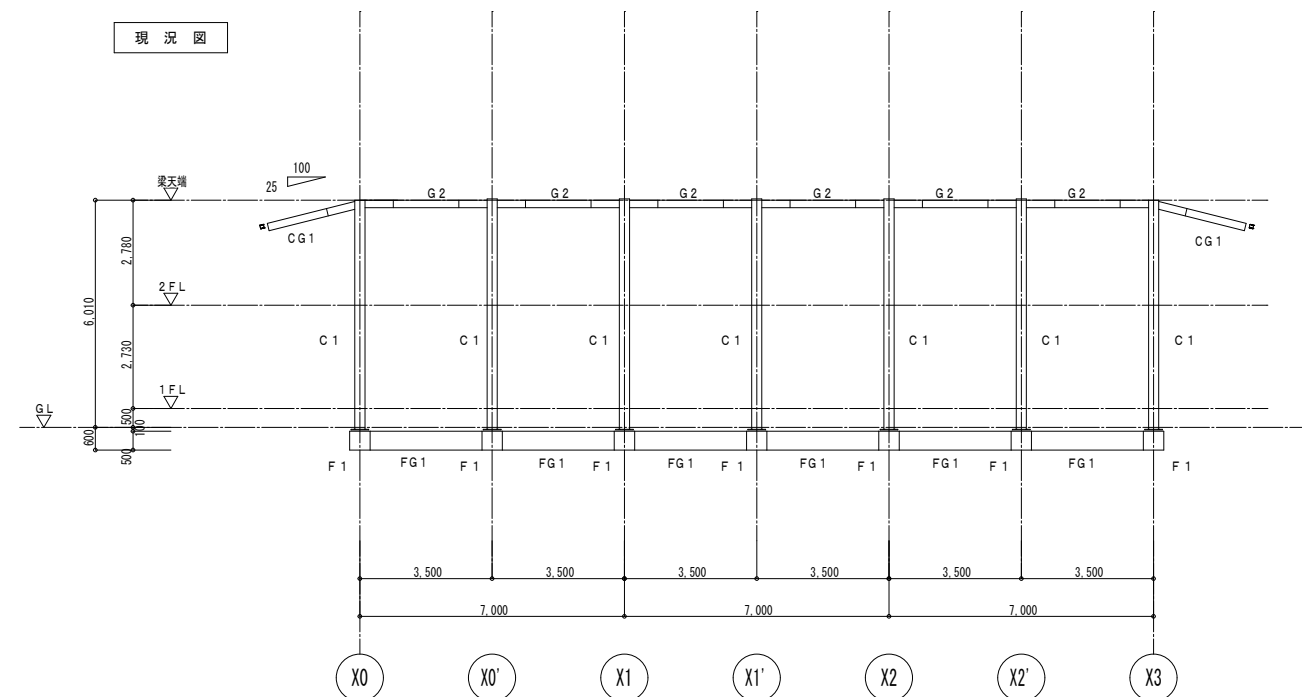


Y 1' 通り軸組図 1/100

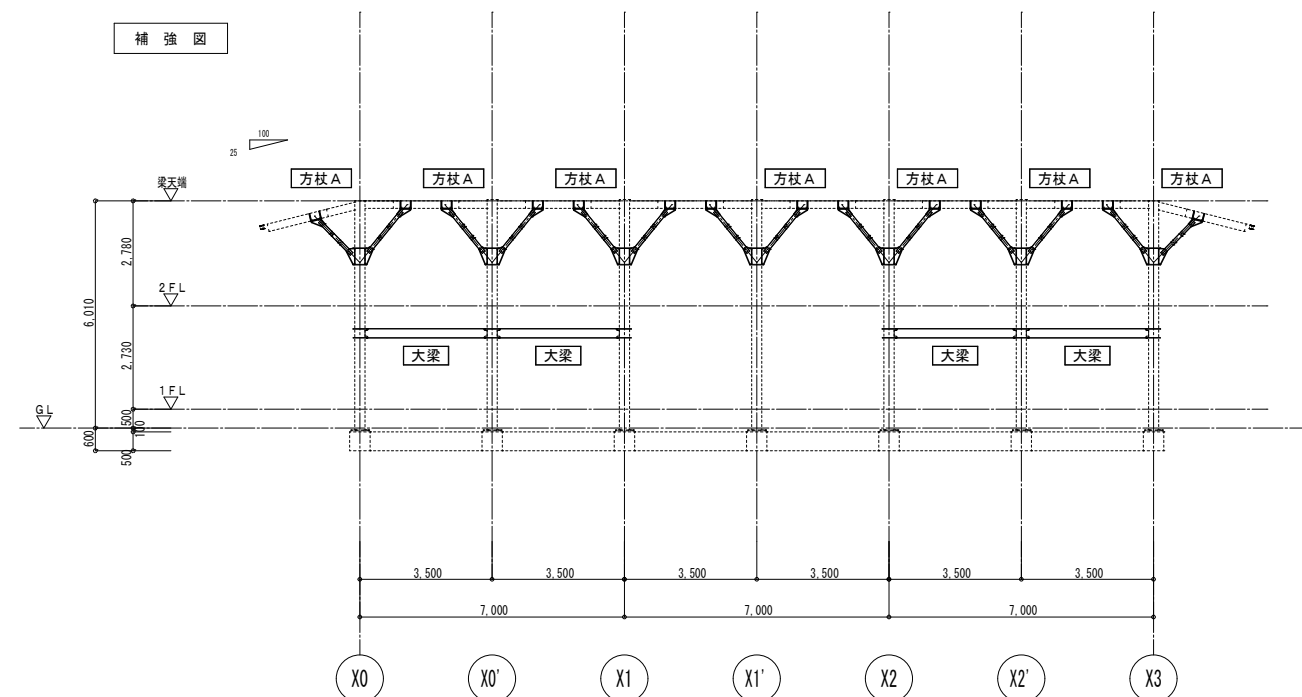


Y 1' 通り軸組図 1/100

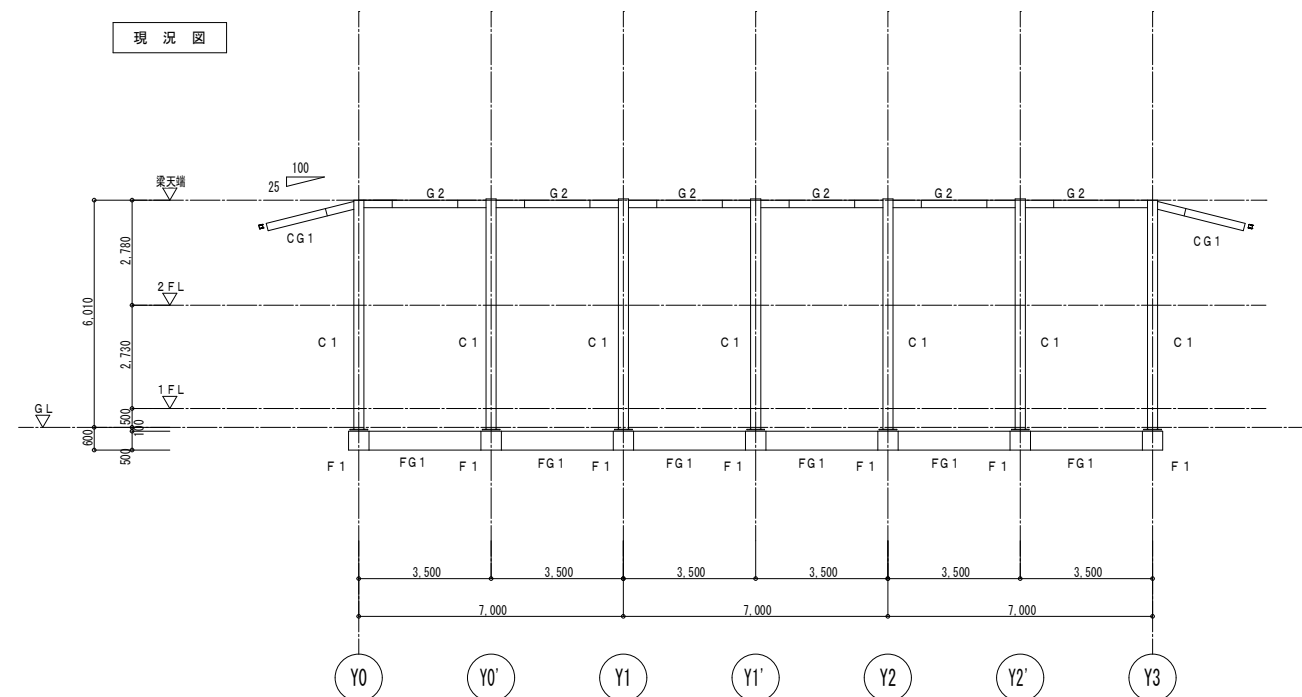
工事名					岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事		No.		(株)ADO建築設計事務所		
図面名					補強位置図4 (Y1・Y2・Y1' 通り軸組図)		S-07		1級建築士事務所 (角) 第12025号 1級建築士登録 第118226号 大石浩弘 〒750-0165 岡山市北区南河原町5番6号 TEL. 085-244-0173		
岡山市					都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和6年12月		S-11		
課長		課長補佐		係長		課員		担当者		承認	
										検印	
										製図	



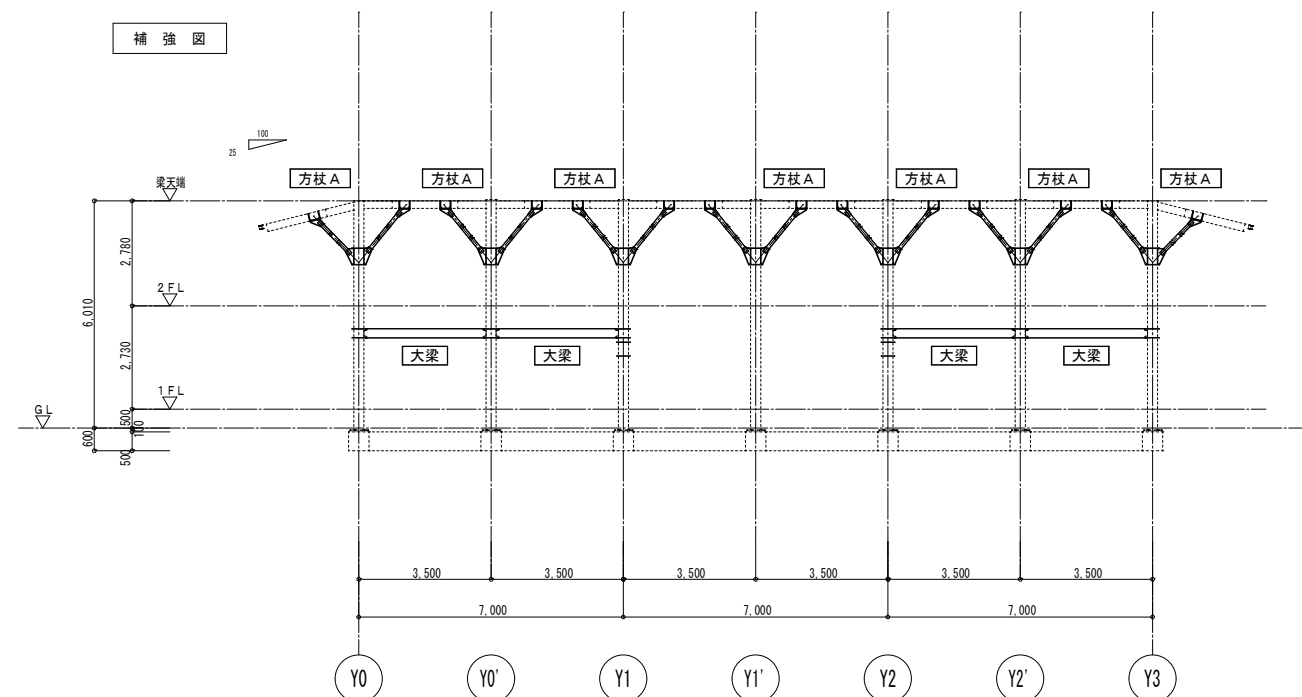
Y 3 通り軸組図 1/100



Y 3 通り軸組図 1/100

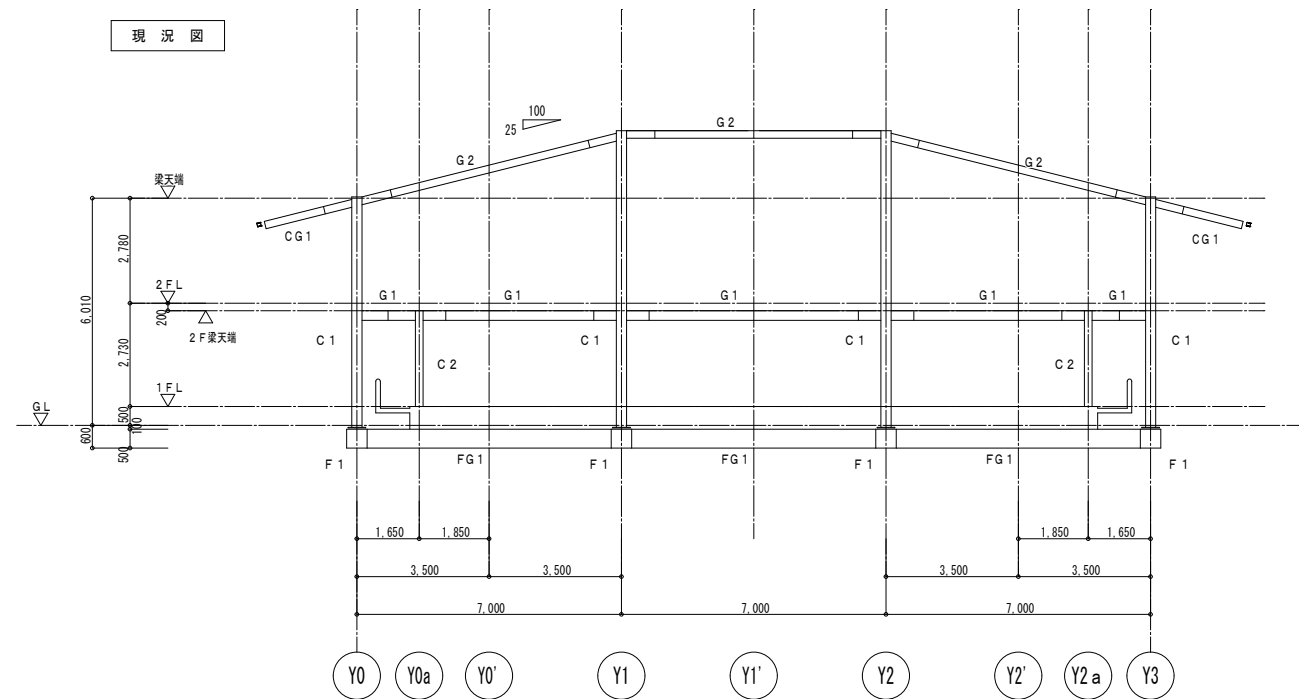


X 0 ・ X 3 通り軸組図 1/100

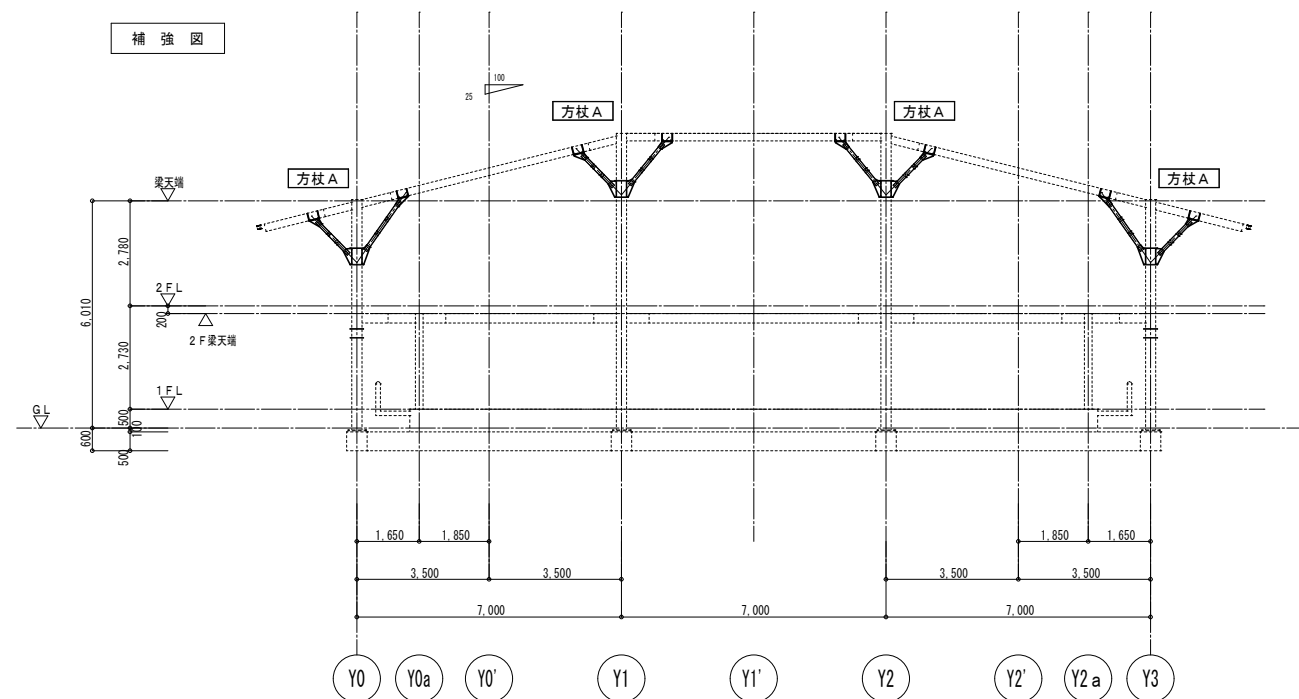


X 0 ・ X 3 通り軸組図 1/100

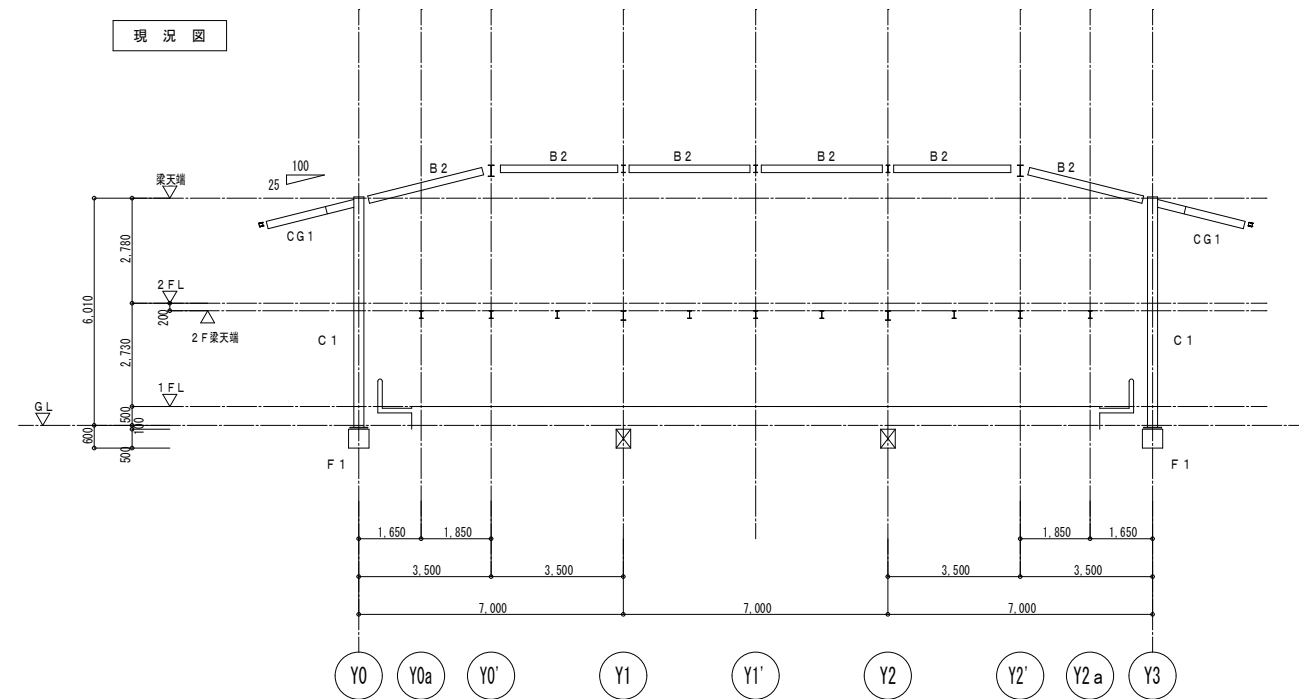
工事名					岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事		No.		(株)ADO建築設計事務所 1級建築士事務所 (株) 第12055号 1級建築士登録 第182236号 大石浩弘 〒750-0565 岡山市北区南沢松西町5番6号 TEL. 086-244-0173				
図面名					補強位置図 5 (Y3・X0・X3通り軸組図)		縮尺	(A1) 1/100 (A3) 1/200		S-08			
岡山市					都市整備局		住宅・建築部			公共建築課	令和6年12月	S-11	
課長		課長補佐		係長		課員		担当者		承認		検印	製図



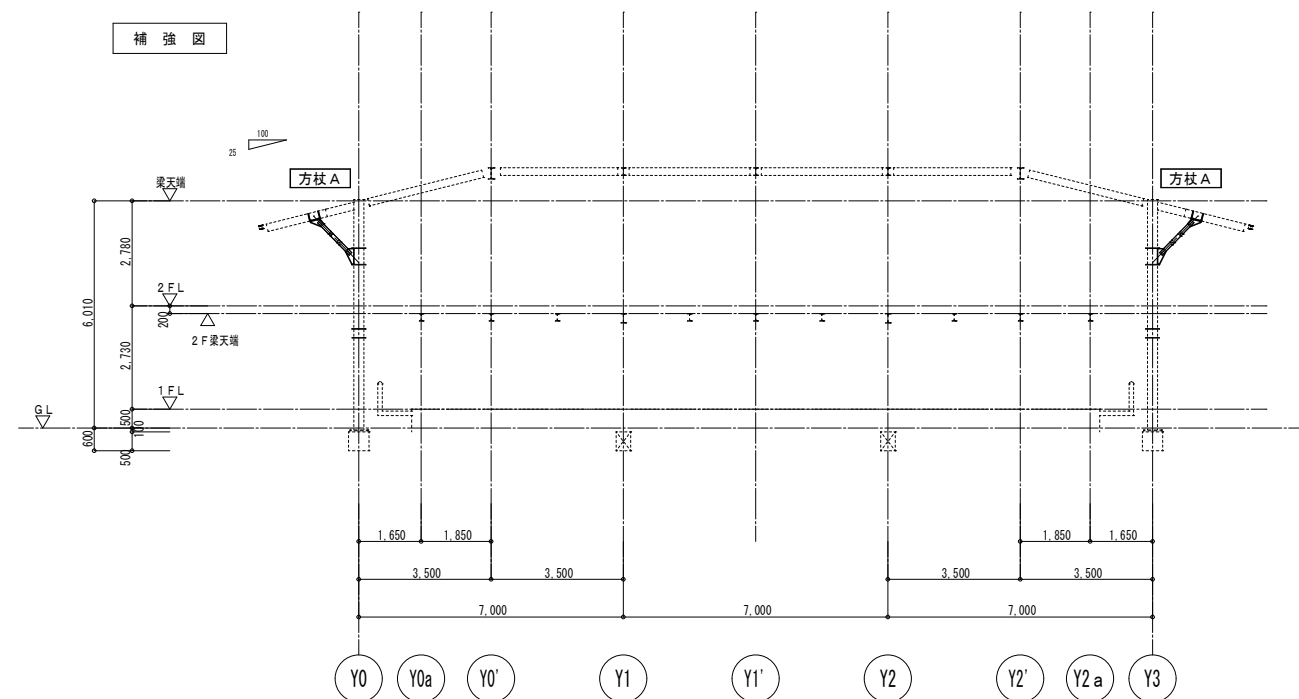
X 1・X 2 通り軸組図 1/100



X 1・X 2 通り軸組図 1/100

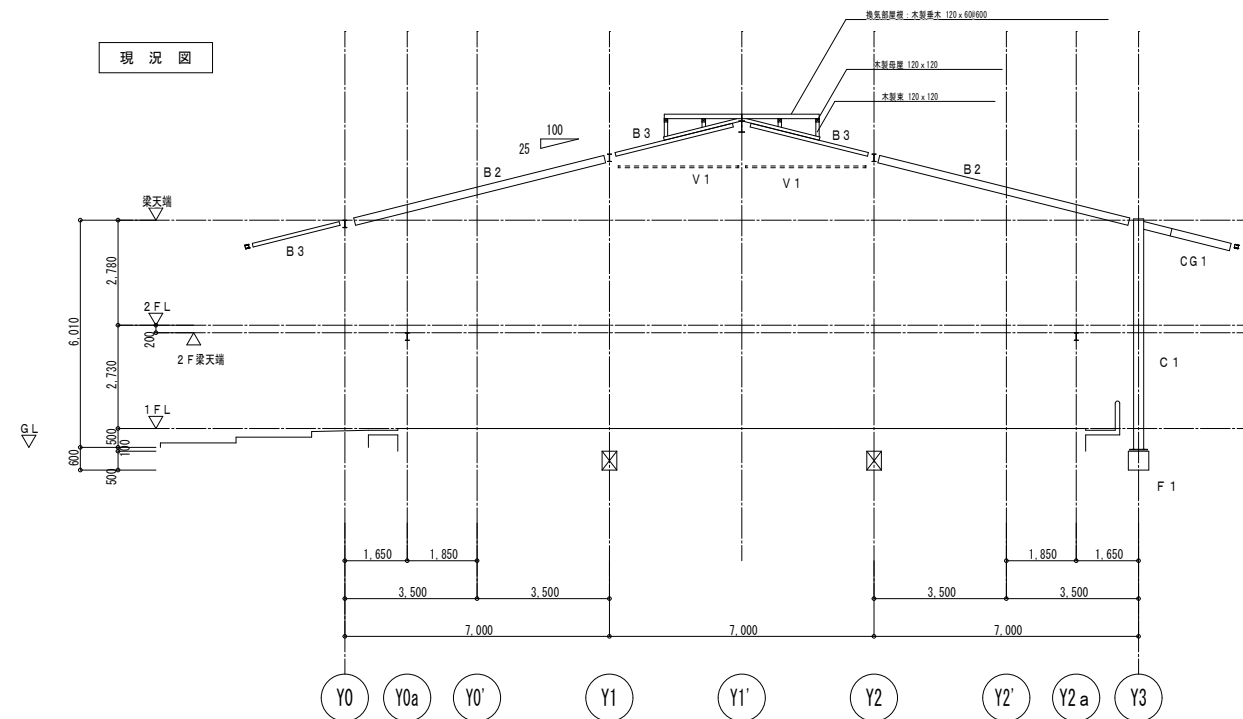


X 0'・X 2' 通り軸組図 1/100

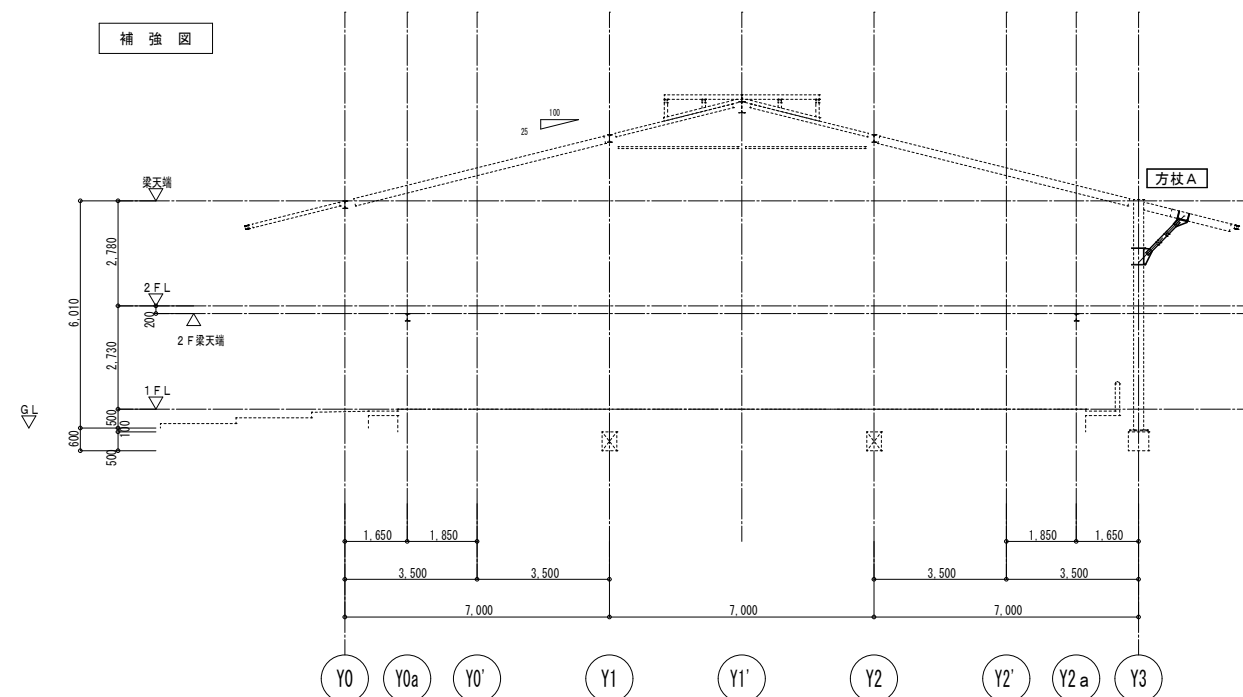


X 0'・X 2' 通り軸組図 1/100

工事名		岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事				No.		(株) ADO建築設計事務所	
図面名		補強位置図 6 (X1・X2・X0'・X2' 通り軸組図)				縮尺	(A1) 1/100 (A3) 1/200	S-09 S-11	1級建築士事務所 (第) 第12055号 1級建築士登録 第18228号 大石浩弘 〒750-0505 岡山県北区内河津町5番6号 TEL. 0856-244-0173
岡山市		都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和6年12月			
	課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認		検印	製図

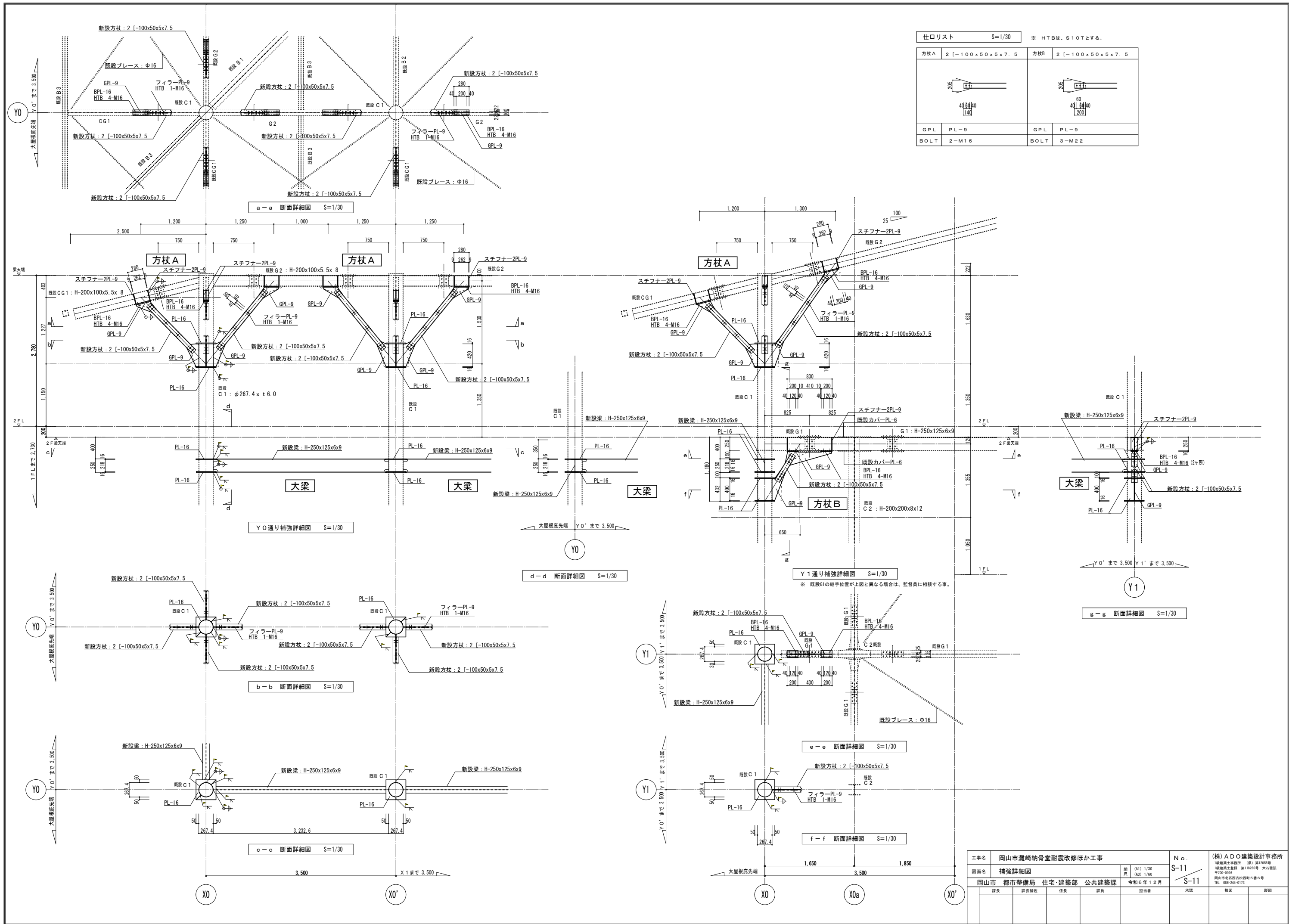


X 1' 通り軸組図 1/100



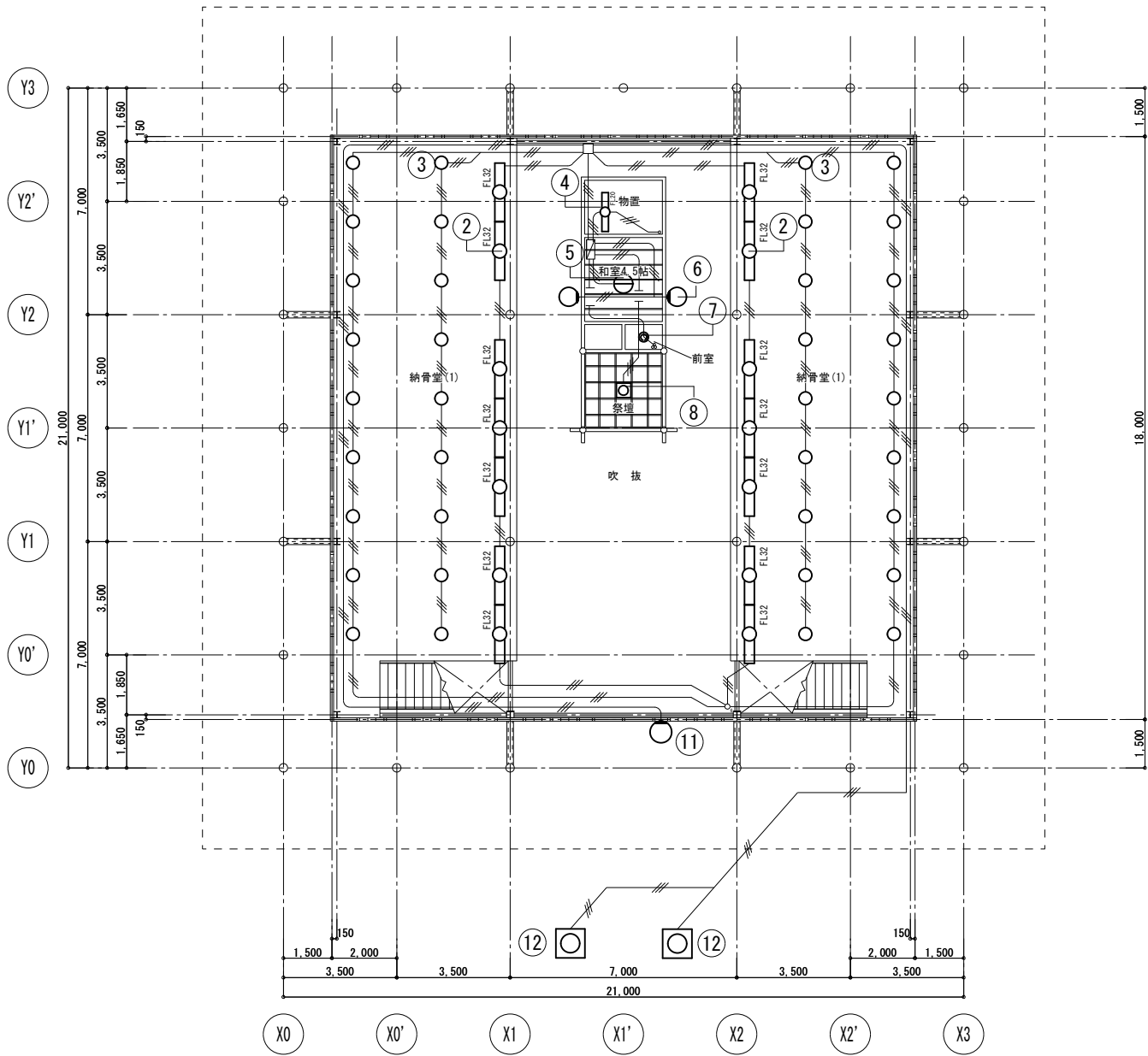
X 1' 通り軸組図 1/100

工事名	岡山市遡崎幹骨堂耐震改修ほか工事				No.		(株) A D O 建築設計事務所	
図面名	補強位置図 7 (X1' 通り軸組図)				尺 1/100 (A1) 1/100 (A3) 1/200	S-10	1級建築士事務所 (後) 第12055号 1級建築士事務所 第118238号 大石哲也 〒700-0926 岡山県土居郡吉野町5番6号 TEL: 086-244-0113	
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和6年12月	S-11			
	課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検印	製図

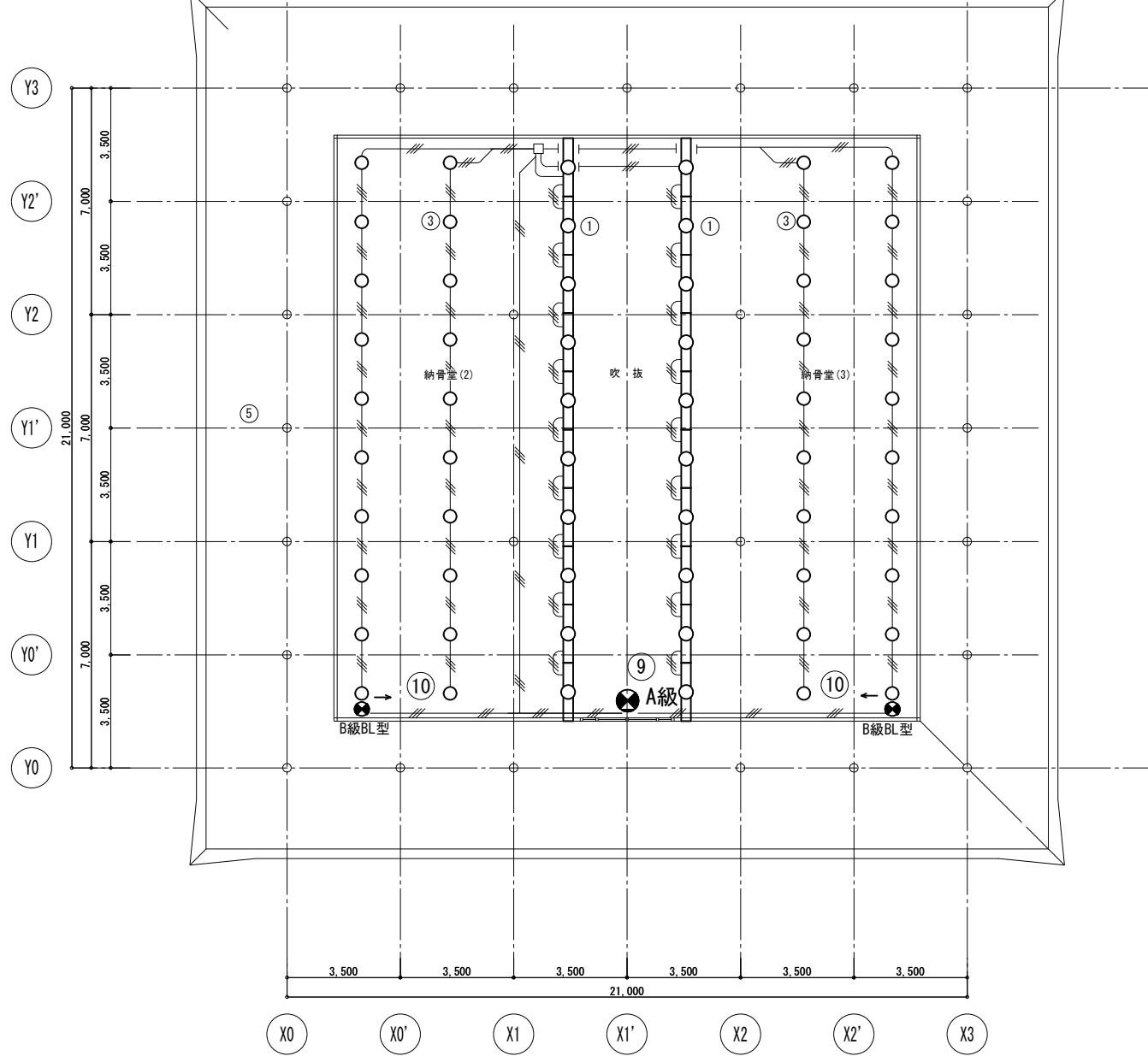


仕口リスト		S=1/30	※ HTBは、S10Tとする。	
方杖A	2 [-100x50x5x7.5	方杖B	2 [-100x50x5x7.5	
GPL	PL-9	GPL	PL-9	
BOLT	2-M16	BOLT	3-M22	

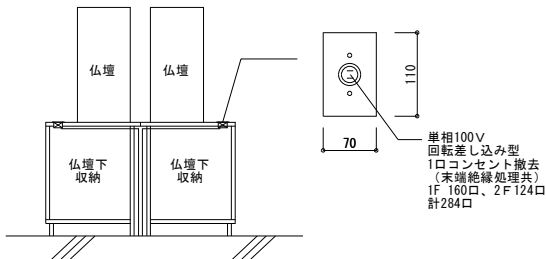
工 事 名					岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事		No.		(株) ADO 建築設計事務所	
図 面 名					補強詳細図		縮尺		(A1) 1/30 (A3) 1/60	
岡山市					都市整備局		住宅・建築部		公共建築課	
					令和6年12月		S-11		1級建築士事務所 (株) ADO 〒760-0002 岡山県岡山市東区大倉町1205号 TEL 086-244-0173	
					課長		課長補佐		係長	
					課員		担当部署		承認	
					検印		検印		製図	



1階電灯設備平面図（改修前）1/100



2階電灯設備平面図（改修前）1/100



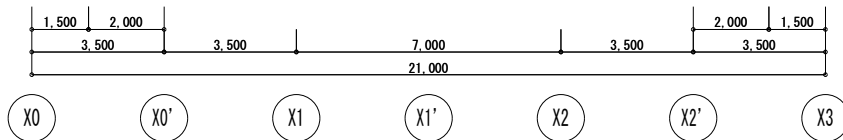
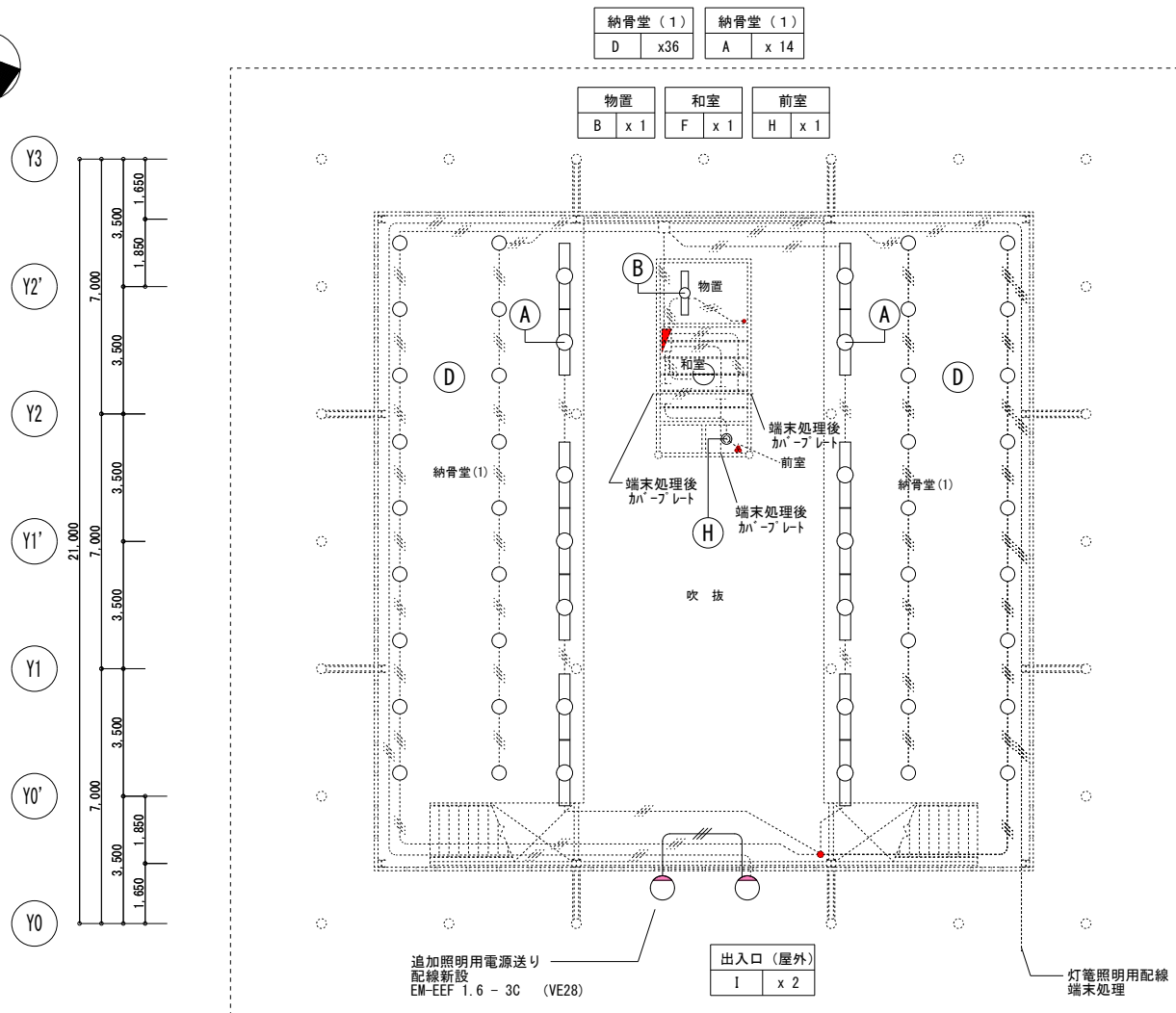
仏壇下収納部 露出コンセント 1/30

電灯設備 撤去リスト															
符号	灯具種類	電球種別	安定器有無	製造年	メーカー名	台数	改修計画	符号	灯具種類	電球種別	安定器有無	製造年	メーカー名	台数	改修計画
①	カバー付き埋込ベースライト	蛍光灯	有	不明	不明	20台	LED照明に更新（位置は現状のまま）	⑦	シーリングライト	白熱球	無	1969年	東京芝浦電	1台	LED照明に更新（位置は現状のまま）
②	露出形ベースライト	蛍光灯	有	2012年	Panasonic	14台	LED照明に更新（位置は現状のまま）	⑧	カバー付きスクエア照明	蛍光灯	有	不明	松下電工	1台	灯具撤去のみ、末端処理
③	ダウンライト	白熱球	無	不明	松下電工	76台	LED照明に更新（位置は現状のまま）	⑨	誘導灯（A級）	LED	無	2012年	Panasonic	1台	灯具更新（位置は現状のまま）
④	露出形ベースライト	蛍光灯	有	不明	松下電工	1台	LED照明に更新（位置は現状のまま）	⑩	誘導灯（B級）	LED	無	2012年	Panasonic	2台	灯具更新（位置は現状のまま）
⑤	ペンダント	蛍光灯	有	不明	松下電工	1台	LED照明に更新（位置は現状のまま）	⑪	人感センサーブラケット照明	蛍光灯	有	2009年	Panasonic	1台	灯具更新、1灯追加
⑥	白熱球ブラケット	白熱球	無	不明	不明	2台	灯具撤去のみ配線末端処理、カバープレート施工	⑫	灯電	蛍光灯	有	2008年	Panasonic	2台	灯具撤去のみ

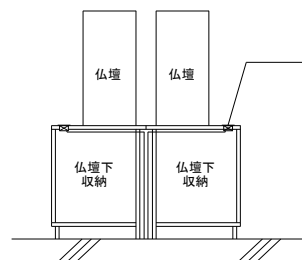
PCBに関する特記事項

- 撤去又は取外した照明器具の安定器等については、PCB使用の有無を調査すること。
- PCBの有無調査後にリスト及び型番等が分かる写真撮影整理し報告書として提出すること。
- 報告書を提出後監督員の承諾を得て引き渡し又は、処分すること。
尚、電路から取り外したPCB使用機器は特別管理産業廃棄物に該当するため、法律に従いPCB
廃棄物の飛散・流出・地下浸透・悪臭発生の防止措置を講じ『PCB汚染物』の標示を行うこと。
- PCB使用機器の保管場所については監督員の指示に従うこと。

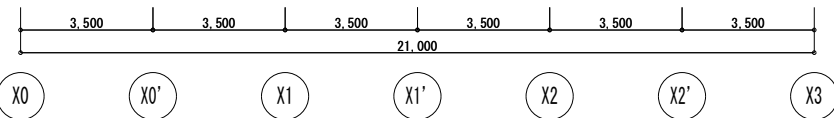
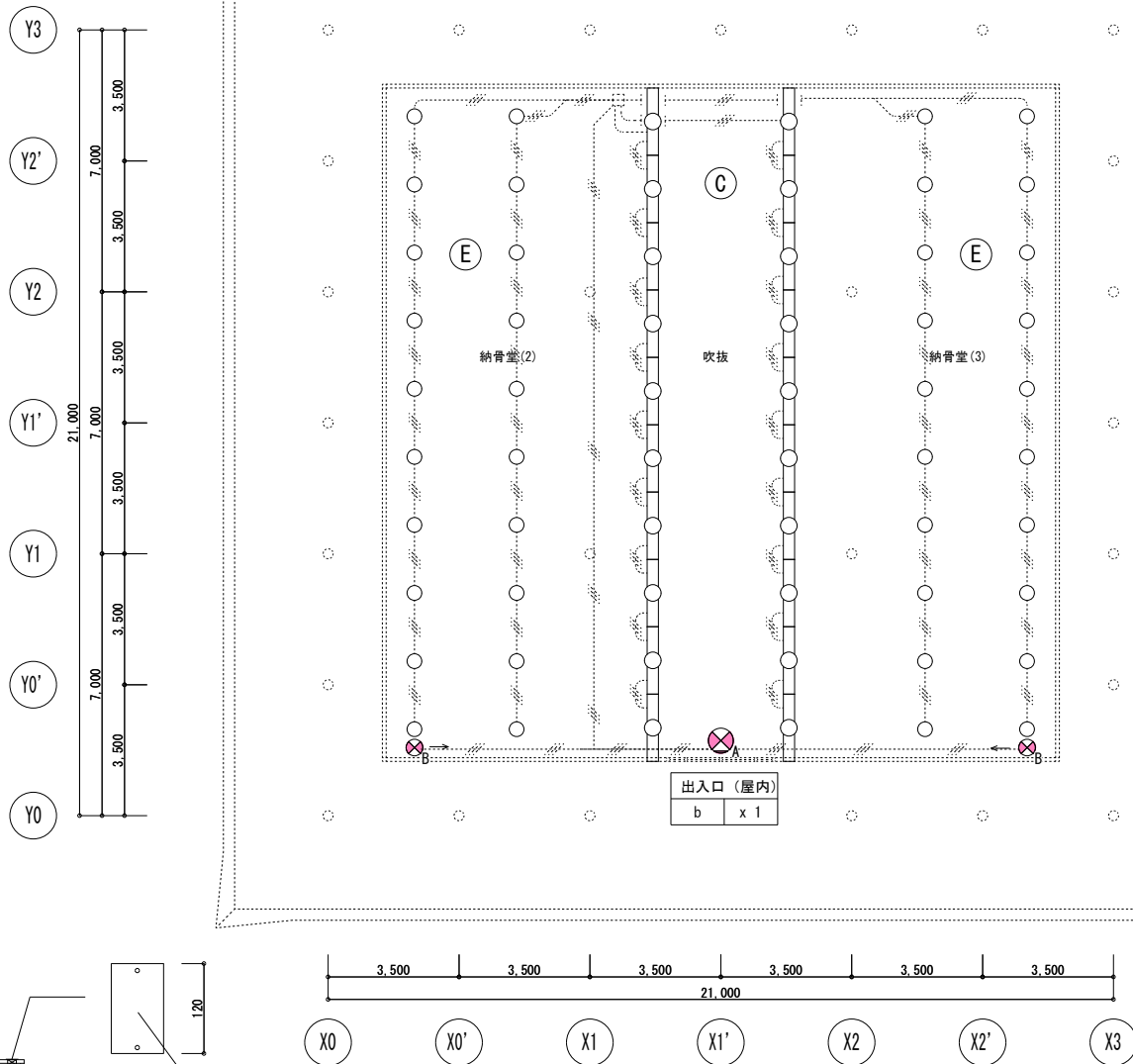
工事名 岡山市灘崎納骨堂耐震改修ほか工事					No.		(株)ADO建築設計事務所 1級建築士事務所（代表）第12055号 1級建築士登録 第118236号 大石雅弘 〒730-0805 岡山市北区南吉松西町5番6号 TEL 086-244-0173		
図面名 電灯設備平面図（改修前）				縮尺 (A1) 1/100、1/30 (A3) 1/200、1/60	E-02				
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課 令和6年12月					E-03				
課長		課長補佐		係長	課員	担当者	承認	機関	製図



1階電灯設備平面図（改修後）1/100



仏壇下収納部 露出コンセント 1/30

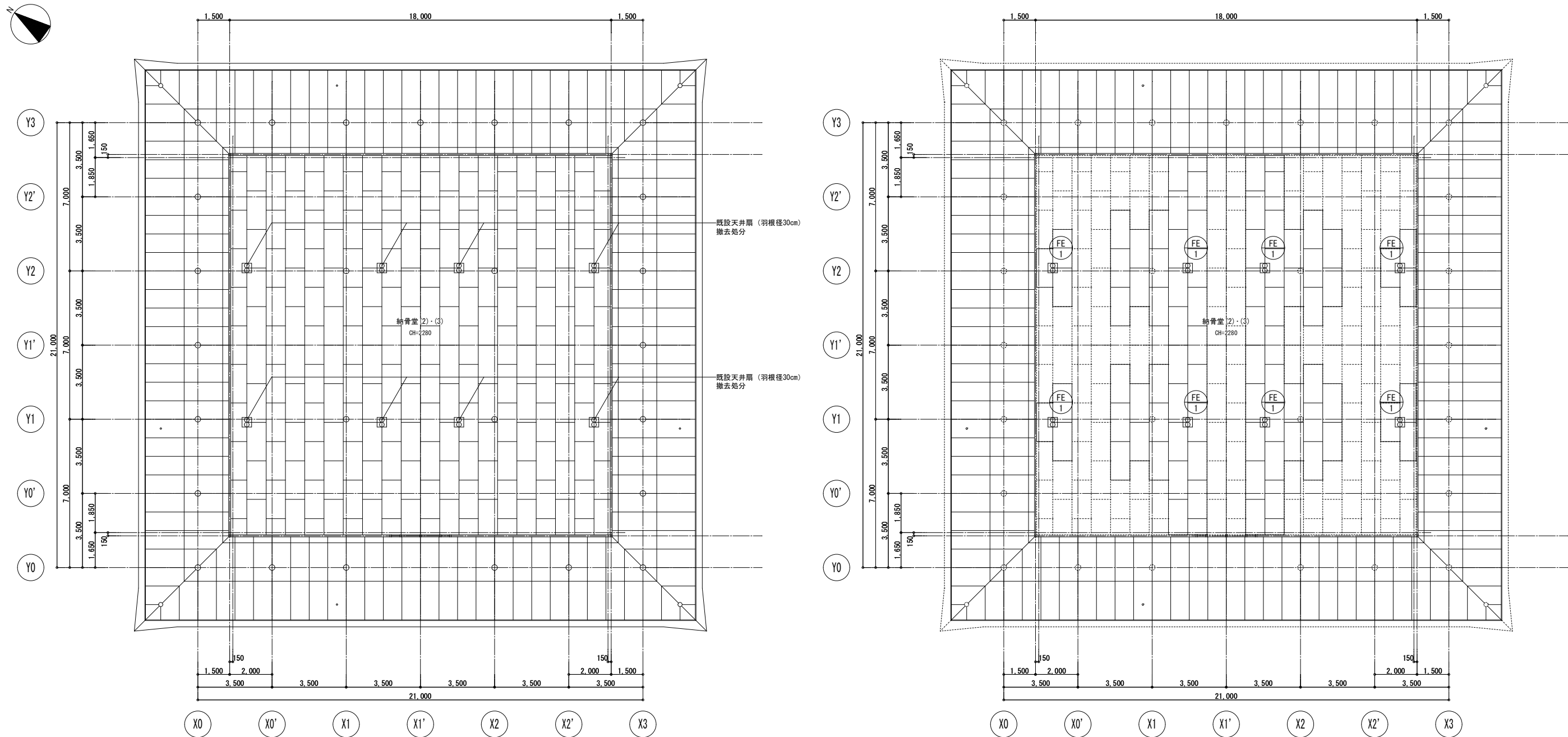


2階電灯設備平面図（改修後）1/100

照明器具参考姿図（形状、型番等は参考とする）

A	LED 直付40型 W150 昼光色 (5,000K・Ra83) LSS9-4-30 (公共型番) 器具光束3,200lm、消費電力20.6W、電圧100V 本体：白色粉体塗装鋼板 カバー：ポリカーボネート（乳白）	B	LED 直付20型 W150 昼光色 (5,000K・Ra83) 器具光束800lm、消費電力6.0W、電圧100V 本体：白色粉体塗装鋼板 カバー：ポリカーボネート（乳白） XLX200AENCLE9同等品	C	LED 埋込型40型 下面開放型 W300 昼光色 (5,000K・Ra83) LRS20-4-48 (公共型番) 器具光束5200lm、消費電力31.9W、電圧100V 本体：亜鉛鋼板、反射板：高反射白色粉体塗装鋼板 カバー：ポリカーボネート（乳白）	D	LED ダウンライト 60型（拡散型）昼光色 (3,000K・Ra85) 器具光束580lm、消費電力4.2W、電圧100V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：鋼板（銀色鏡面仕上） XND0669SLLE9+NNN80006K同等品	E	LED ダウンライト100型（拡散型）昼光色 (5,000K・Ra85) LRS1-08 (公共型番) 器具光束1,045lm、消費電力7.0W、電圧100V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：鋼板（銀色鏡面仕上）	F	LED ペンダント 昼光色 (6,200K・Ra83) 器具光束3,329lm、消費電力28.1W、電圧100V 引掛シーリング方式、プルスイッチ付 セード：プラスチック（乳白シート張り） LGB11626LE1同等品
H	LED 小型シーリングライト 40型 電球色 (2,700K・Ra84) 電球1灯相当、器具光束451lm、消費電力4.4W、電圧100V シーリング方式、セード：アクリル（乳白） LGB58004U同等品	I	LED 棒状ライト40型 電球色 (2,700K・Ra80) 電球1灯相当、器具光束178lm、消費電力5.1W、電圧100V 防雨型、壁直付型、明るさセンサ付、点灯照度調整機能付 本体：アルミダイカスト（材ブラック）カバー：アクリル（乳白） LGC85221B同等品	a	LED B級・BL形 避難口誘導灯（片面型） SH1-FBF20-BL (20分) (公共型番) 型式認定番号：IAM111-3209 リモコン自己点灯機能付 電池内蔵型・充電モーター付	b	LED A級 避難口誘導灯（片面型） SH1-FBF20-A (20分) (公共型番) 型式認定番号：IAK131-3657 リモコン自己点灯機能付 電池内蔵型・充電モーター付				

工事名	岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事				N o.	(株) ADO建築設計事務所			
図面名	電灯設備平面図（改修後）				E-03	1級建築士事務所（専）第12055号 1級建築士事務所 第118236号 大谷博弘 〒750-0505 岡山市北区南宮西町5番6号 TEL 086-244-0173			
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和6年12月	担当者	承認	検印	製図	
	課長	課長補佐	係長	課員					



2階換気平面図（改修前）S=1/100

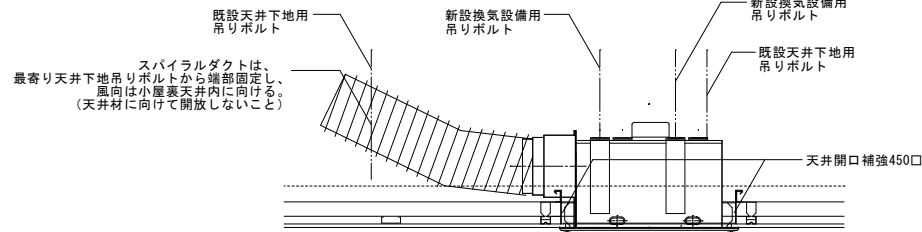
2階換気平面図（改修後）S=1/100

換気 機器表

記号	機器名称	数量	仕様	電動機		設置場所	備考
				種別	相-電圧 Φ - V 消費電力 (W)		
FE-1	一般換気扇	8	型式：ダクト用換気扇(天井埋込形) 処理風量：700 m3/h (0 Pa) 付属品：なし	送風機	1Φ-100V 125	2階 納骨堂(2)・(3)	参考型番：VD-23ZPH13

換気量計算

階	室名	面積 [m2]	天井高 [m]	室容積 [m3]	人員による（居室）建基令20条の2			換気回数による			シックハウス対策		必要換気量 （設計） Q2 又は Q1+Q4 の大きな方 [m3/h]	ファン風量 （設計） [m3/h]	換気種別	排気機器		排気機器		機器種類					番手 ダクト径 羽根径	風量		換気判定	シックハウス風量		シックハウス判定	参考型番
					単位人員 [m2/人]	人員 [人]	単位換気量 [m3/h・人]	換気量（Q1） [m3/h]	換気回数 [回/h]	換気量（Q2） [m3/h]	換気回数 [回/h]	換気量（Q4） [m3/h]				給排気機器	24時間換気	有圧換気扇	天井扇	換気扇	パイプ用換気扇	中間取付換気扇	（採用）	m3/h		（採用）	m3/h					
2階	納骨堂（2）・（3）	324.00	5.05	1,636.20				-	3.0	4,908		-	4,908	3	FE-1	8					○			15cm	700							VD-23ZPH13
																								計	5,600	>4,908	OK!	-				



天井換気扇取付部詳細図（改修後）S=1/10

工事名	岡山市瀬崎納骨堂耐震改修ほか工事				N o.	(株)ADO建築設計事務所		
図面名	2階換気平面図（改修前、改修後）				M-02	1級建築士事務所 (株) 第12055号 1級建築士登録 第118236号 大石雄弘 〒750-0505 岡山市北区南河原町5番6号 TEL. 085-244-0173		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和6年12月			M-02			
課長	課長補佐	係長	課員	担当	承認	検印	製図	